

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号
特許第6536926号
(P6536926)

(45) 発行日 令和1年7月3日(2019.7.3)

(24) 登録日 令和1年6月14日(2019.6.14)

(51) Int.Cl.
A 6 3 F 7/02 (2006.01)

F 1
A 6 3 F 7/02 3 2 0

請求項の数 1 (全 85 頁)

(21) 出願番号	特願2014-129315 (P2014-129315)	(73) 特許権者	391010943
(22) 出願日	平成26年6月24日 (2014.6.24)		株式会社藤商事
(65) 公開番号	特開2016-7326 (P2016-7326A)		大阪府大阪市中央区内本町一丁目1番4号
(43) 公開日	平成28年1月18日 (2016.1.18)	(74) 代理人	100087701
審査請求日	平成29年4月27日 (2017.4.27)		弁理士 稲岡 耕作
		(74) 代理人	100101328
			弁理士 川崎 実夫
		(74) 代理人	100137062
			弁理士 五郎丸 正巳
		(72) 発明者	三品 智一
			大阪府大阪市中央区内本町一丁目1番4号
			株式会社藤商事内
		審査官	三田村 陽平

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の条件の成立に基づいて、始動情報を取得する始動情報取得手段と、
所定の上限数を限度に、前記始動情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段と、
前記保留記憶手段に記憶された前記始動情報に基づき、遊技者にとって有利な特定遊技状態とするか否かの抽選を行う抽選手段と、
所定の開始条件が成立したに基づいて、識別情報の可変表示を開始する識別情報表示手段と、
前記識別情報の可変表示が開始されてから表示結果が表示されるまでに、該可変表示を一旦仮停止させた後に、再度、該可変表示を実行する再可変表示を1回または複数回実行する再可変表示実行手段と、
前記開始条件の成立に先立って、前記始動情報を判定する先読み判定手段と、
前記保留記憶手段に記憶された前記始動情報に基づく保留表示を表示可能な保留表示手段と、
前記先読み判定手段による判定結果に基づいて、前記開始条件の成立前に前記保留表示を、通常保留表示態様または該通常保留表示態様とは異なる特別保留表示態様で表示することにより、前記特定遊技状態となる可能性を予告する保留変化予告を実行する保留変化予告制御手段と、
前記識別情報表示手段により前記識別情報の可変表示が開始される場合に、該可変表示に対応する前記保留表示を特定表示として所定領域に表示可能な特定表示手段と、

10

20

前記抽選手段および／または前記先読み判定手段による判定結果に基づいて、前記特定表示を、それまでの表示態様から、通常表示態様とは異なる特別表示態様に变化させることにより、前記特定遊技状態となる可能性を予告する特定表示予告を実行する特定表示予告制御手段とを備えた遊技機であって、

前記特別表示態様は、第１特別表示態様と、該第１特別表示態様よりも前記特定遊技状態となる可能性が高いことを示唆する第２特別表示態様とを含み、

前記特定表示予告制御手段は、前記特定表示予告の対象となっている前記始動情報に対応する変動パターンが前記再可変表示及び該再可変表示よりも後のタイミングで行われるリーチ演出表示を含む場合に、該特定表示予告を該再可変表示中及び前記リーチ演出表示中に実行可能であり、

10

前記再可変表示を複数回実行する場合の方が、該再可変表示を１回実行する場合よりも、前記リーチ演出表示中に前記特定表示が前記第２特定表示態様に变化する可能性が高いことを特徴とする、遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

この発明は、保留変化予告および特定表示予告を実行可能な遊技機に関する。

【背景技術】

【０００２】

下記特許文献１には、現在変動中の始動記憶がある旨を示す当該保留アイコンを用いていわゆる当該変動保留変化予告を行う遊技機が記載されている。当該変動保留変化予告では、当該保留アイコンが通常と異なる特別な保留表示態様で表示されることにより、その当該保留アイコンに対応する変動動作の大当り信頼度の高い旨が予告される。

20

【０００３】

また、特許文献１の遊技機には、当該変動保留変化予告だけでなく、先読み保留変化予告も搭載されている。先読み保留変化予告では、始動記憶の情報を図柄変動の開始前に先読み判定しておき、その判定結果に基づいて、その保留記憶に対応する保留表示の保留表示態様を、通常と異なる特別な保留表示態様に变化させる。現存する保留記憶は一の図柄遊技の変動表示動作の実行が完了することで順次消化され、これに伴い保留記憶位置および保留表示位置が繰り上げシフト移行され表示個数が減じられるが、前記した通常と異なる保留表示態様の保留記憶は、この間も保留表示位置を変えながら連続的に表示され続ける。また、シフト移行時に、保留表示態様の保留記憶がさらに変化することもある。

30

【０００４】

換言すると、特許文献１の遊技機は、先読み保留変化予告および当該変動保留変化予告という、保留表示の保留表示態様を変化させる２種類の予告を備えている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【０００５】

【特許文献１】特開２０１３－２５２４５６号公報

【発明の概要】

40

【発明が解決しようとする課題】

【０００６】

しかしながら、特許文献１において開示されている予告は、保留変化予告（先読み保留変化予告）と特定表示予告（当該変動保留変化予告）とを単に組み合わせたに過ぎず、個々の予告の演出のバリエーションを、大幅に増大させるには至っていない。

この発明は、このような背景の下でなされたものであり、保留変化予告および特定表示予告の演出効果の向上を図ることができ、これにより、遊技の興趣の高い遊技機を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００７】

50

前記の目的を達成するための請求項 1 に記載の発明は、所定の条件の成立に基づいて、始動情報を取得する始動情報取得手段（40A）と、所定の上限数を限度に、前記始動情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段（61, 62）と、前記保留記憶手段に記憶された前記始動情報に基づき、遊技者にとって有利な特定遊技状態とするか否かの抽選を行う抽選手段（40A）と、所定の開始条件が成立したことに基いて、識別情報の可変表示を開始する識別情報表示手段（35, 36）と、前記識別情報の可変表示が開始されてから表示結果が表示されるまでに、該可変表示を一旦仮停止させた後に、再度、該可変表示を実行する再可変表示を 1 回または複数回実行する再可変表示実行手段（41A）と、前記開始条件の成立に先立って、前記始動情報を判定する先読み判定手段（40A）と、前記保留記憶手段に記憶された前記始動情報に基づく保留表示（102）を表示可能な保留表示手段（101, 121）と、前記先読み判定手段による判定結果に基づいて、前記開始条件の成立前に前記保留表示を、通常保留表示態様または該通常保留表示態様とは異なる特別保留表示態様で表示することにより、前記特定遊技状態となる可能性を予告する保留変化予告を実行する保留変化予告制御手段（41A）と、前記識別情報表示手段により前記識別情報の可変表示が開始される場合に、該可変表示に対応する前記保留表示を特定表示（104）として所定領域に表示可能な特定表示手段（103）と、前記抽選手段および/または前記先読み判定手段による判定結果に基づいて、前記特定表示を、それまでの表示態様から、通常表示態様とは異なる特別表示態様に变化させることにより、前記特定遊技状態となる可能性を予告する特定表示予告を実行する特定表示予告制御手段（41A）とを備えた遊技機（1）であって、前記特別表示態様は、第 1 特別表示態様と、該第 1 特別表示態様よりも前記特定遊技状態となる可能性が高いことを示唆する第 2 特別表示態様と、を含み、前記特定表示予告制御手段は、前記特定表示予告の対象となっている前記始動情報に対応する変動パターンが前記再可変表示及び該再可変表示よりも後のタイミングで行われるリーチ演出表示を含む場合に、該特定表示予告を該再可変表示中及び前記リーチ演出表示中に実行可能であり、前記再可変表示を複数回実行する場合の方が、該再可変表示を 1 回実行する場合よりも、前記リーチ演出表示中に前記特定表示が前記第 2 特定表示態様に变化する可能性が高いことを特徴とする、遊技機を提供する。

【0008】

なお、括弧内の英数字は、後述の実施形態における対応構成要素の参照符号を表すものであるが、これらの参照符号により特許請求の範囲を実施形態に限定する趣旨ではない。

【発明の効果】

【0009】

本発明によれば、保留変化予告および特定表示予告の演出効果の向上を図ることができ、これにより、遊技の興趣の高い遊技機を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図 1】本発明の第 1 実施形態に係る遊技機が適用されたパチンコ機の斜視図である。

【図 2】図 1 に示すパチンコ機の遊技盤の概略正面図である。

【図 3】液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

【図 4】液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

【図 5】パチンコ機の電氣的構成を示すブロック図である。

【図 6】主制御基板の電氣的構成を示すブロック図である。

【図 7】演出制御基板の電氣的構成を示すブロック図である。

【図 8】第 1 および第 2 の保留メモリの構成を説明する図である。

【図 9】演出制御基板に送信される変動パターンコマンドを説明する図である。

【図 10】演出制御基板に送信される保留加算コマンドを説明する図である。

【図 11】演出制御基板に送信される保留加算コマンドを説明する図である。

【図 12A - 12B】先読み保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図 12C - 12D】先読み保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図 13A - 13B】当該変動保留表示の保留表示態様が「白」である場合における、当

10

20

30

40

50

該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図13C - 13D】当該変動保留表示の保留表示態様が「白」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図14A - 14B】当該変動保留表示の保留表示態様が「白点滅」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図14C - 14D】当該変動保留表示の保留表示態様が「白点滅」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図15A - 15B】当該変動保留表示の保留表示態様が「青」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図15C】当該変動保留表示の保留表示態様が「青」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

10

【図16A - 16B】当該変動保留表示の保留表示態様が「緑」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図16C】当該変動保留表示の保留表示態様が「緑」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図17A - 17B】当該変動保留表示の保留表示態様が「赤」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図18】当該変動保留表示の保留表示態様が「デンジャー」である場合における、当該変動保留変化予告用の抽選表の一例を示す図である。

【図19】主制御基板におけるタイマ割込処理の流れを示すフローチャートである。

20

【図20】図19に示す第1（第2）特別図柄管理処理の流れを示すフローチャートである。

【図21】図20に示す第1（第2）特別図柄始動口チェック処理の流れを示すフローチャートである。

【図22】図19に示す特別電動役物管理処理の流れを示すフローチャートである。

【図23】液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

【図24】液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

【図25】液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

【図26】液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

【図27】保留加算コマンドの受信時における演出制御基板の処理の流れを示すフローチャートである。

30

【図28】図27に示す先読み保留変化予告抽選処理の内容を示すフローチャートである。

【図29】図27に示す先読みカード予告抽選処理の内容を示すフローチャートである。

【図30】変動パターンコマンドの受信時における演出制御基板の処理の流れを示すフローチャートである。

【図31】図30に示す当該変動保留変化予告抽選処理の流れを示すフローチャートである。

【図32】図30に示すカード予告抽選処理の流れを示すフローチャートである。

【図33】カード予告時における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

40

【図34A - 34D】本発明の第1実施形態の第1の変形例の抽選表の一例を示す図である。

【図35A - 35D】本発明の第1実施形態の第2の変形例の抽選表の一例を示す図である。

【図36】本発明の第2実施形態に係る演出制御基板の電氣的構成を示すブロック図である。

【図37】本発明の第2実施形態に係る、先読み保留変化予告の保留態様変化パターンの一例を示す図である。

【図38】本発明の第2実施形態に係る、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その1）。

50

【図 3 9】本発明の第 2 実施形態に係る、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 2）。

【図 4 0】本発明の第 2 実施形態に係る、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 3）。

【図 4 1】本発明の第 2 実施形態に係る、保留加算コマンドの受信時における演出制御基板の処理の流れを示すフローチャートである。

【図 4 2】図 4 1 に示す保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

【図 4 3】本発明の第 2 実施形態に係る、ボタン保留表示演出中における処理の流れを示すフローチャートである。

【図 4 4】本発明の第 2 実施形態に係る、変動パターンコマンドの受信時における演出制御基板の処理の流れを示すフローチャートである。

【図 4 5】図 4 4 に示す当該変動保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

【図 4 6】本発明の第 2 実施形態に係る、ランクアップ演出時における処理の流れを示すフローチャートである。

【図 4 7】先読み保留変化予告から当該変動保留変化予告へのシフト移行時における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

【図 4 8】本発明の第 2 実施形態に係るボタン保留表示演出中における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 1）。

【図 4 9】本発明の第 2 実施形態に係るボタン保留表示演出中における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 2）。

【図 5 0】本発明の第 2 実施形態の第 1 の変形例に係る、当該変動保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

【図 5 1】本発明の第 2 実施形態の第 1 の変形例に係るボタン保留表示演出中における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 1）。

【図 5 2】本発明の第 2 実施形態の第 1 の変形例に係るボタン保留表示演出中における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 2）。

【図 5 3】本発明の第 2 実施形態の第 2 の変形例に係る、当該変動保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

【図 5 4】本発明の第 2 実施形態の第 2 の変形例に係る、ランクアップ演出時における処理の流れを示すフローチャートである。

【図 5 5】本発明の第 2 実施形態の第 2 の変形例に係るボタン保留表示演出中における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

【図 5 6】本発明の第 2 実施形態の第 3 の変形例に係る操作時保留態様抽選用の抽選表の一例を示す図である。

【図 5 7】本発明の第 2 実施形態の第 3 の変形例に係るボタン保留表示演出中における処理の流れを示すフローチャートである。

【図 5 8】本発明の第 2 実施形態の第 4 の変形例に係るボタン保留表示演出中における処理の流れを示すフローチャートである。

【図 5 9】本発明の第 2 実施形態の第 4 の変形例に係る操作時保留態様抽選用の抽選表の一例を示す図である。

【図 6 0】本発明の第 3 実施形態に係る演出制御基板の電氣的構成を示すブロック図である。

【図 6 1】本発明の第 3 実施形態に係る、保留加算コマンドの受信時における演出制御基板の処理の流れを示すフローチャートである。

【図 6 2】図 6 1 に示す先読み保留変化予告実行待機処理の内容を示すフローチャートである。

【図 6 3 A】図 6 1 に示す保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

【図 6 3 B】本発明の第 3 実施形態に係る、S P リーチの変動動作中の処理の流れを示すフローチャートである。

【図 6 4】本発明の第 3 実施形態に係る、S P リーチ（ハズレ）中における液晶表示ユニ

10

20

30

40

50

ット 2 4 の表示内容の一例を示す図である（その 1）。

【図 6 5】本発明の第 3 実施形態に係る、S P リーチ（ハズレ）中における液晶表示ユニット 2 4 の表示内容の一例を示す図である（その 2）。

【図 6 6】本発明の第 3 実施形態に係る、S P リーチ（ハズレ）中における液晶表示ユニット 2 4 の表示内容の一例を示す図である（その 3）。

【図 6 7】本発明の第 3 実施形態の変形例に係る、S P リーチの変動動作中の処理の流れを示すフローチャートである。

【図 6 8】本発明の第 3 実施形態の変形例に係る、S P リーチ（ハズレ）中における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 1）。

【図 6 9】本発明の第 3 実施形態に係る、S P リーチ（ハズレ）中における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 2）。

【図 7 0】本発明の他の実施形態に係る、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 1）。

【図 7 1】本発明の他の実施形態に係る、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 2）。

【図 7 2】本発明の他の実施形態に係る、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である（その 3）。

【図 7 3】本発明の他の実施形態に係る、停止した演出図柄の組合せの一の態様を示す図である。

【図 7 4】本発明の他の実施形態に係る、停止した演出図柄の組合せの他の態様を示す図である。

【図 7 5】本発明の他の実施形態に係る、停止した演出図柄の組合せの他の態様を示す図である。

【図 7 6】本発明の他の実施形態に係る、液晶表示ユニットの表示内容の他の例を示す図である（その 1）。

【図 7 7】本発明の他の実施形態に係る、液晶表示ユニットの表示内容の他の例を示す図である（その 2）。

【図 7 8】保留表示の保留表示態様の一の変形例を示す図である。

【図 7 9】保留表示の保留表示態様の他の変形例を示す図である。

【図 8 0】保留表示の保留表示態様の他の変形例を示す図である。

【図 8 1】当該変動保留表示の保留表示態様の一の変形例を示す図である。

【図 8 2】当該変動保留表示の保留表示態様の他の変形例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0011】

以下では、この発明の実施の形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。図 1 A は、本発明の一実施形態に係る遊技機が適用されるパチンコ機 1 の斜視図である。以下、パチンコ機 1 を例に挙げて説明するが、この発明はパチンコ機に限られず、パチスロ機に代表される回胴式遊技機などの他の遊技機にも適用することができる。

パチンコ機 1 は、遊技店内に配列された遊技島への取付け（設置）のための略四角枠状の外枠 2 と、外枠 2 に対し片開き可能に取り付けられた内枠 3 とを備えている。外枠 2 の左右一方、たとえば左側部にヒンジ 4 が取り付けられており、内枠 3 はヒンジ 4 の回動軸まわりに回動可能に保持されている。

【0012】

内枠 3 の上部分には、遊技盤 5（図 2 参照）が収容保持されている。内枠 3 の下部分には、発射装置（図示しない）が収容保持されている。内枠 3 における遊技盤 5 の下方には、セーフ球回収部（図示しない）が配置されている。内枠 3 の手前側には、前扉 6 が開閉可能に設けられている。また、内枠 3 の手前側には、前扉 6 の下方に、下部開閉板 7 が開閉可能に設けられている。前扉 6 には、遊技盤 5 に対向する位置に略円形の開口 8 が形成されている。この開口 8 には、ガラス板などの透明板 9 が嵌められていて、前扉 6 を閉じた状態で、その透明板 9 を介して、透明板 9 の奥側の遊技盤 5 を視認することができるよ

10

20

30

40

50

うになっている。前扉 6 の上部には、左右一対のスピーカ 9 0 が配置されている。また、前扉 6 の下部には、左右一対の遊技ランプ 9 1 が配置されている。

【 0 0 1 3 】

下部開閉板 7 には、遊技に使用する遊技球を貯留しておくための上皿 1 0 と、上皿 1 0 からオーバーフロー路（図示しない）を通して溢れた遊技球を受け止める下皿 1 1 とが上下に並んで設けられている。上皿 1 0 の上面中央部には、遊技者が押操作可能な押ボタンタイプの第 1 演出操作ボタン（操作手段）1 3 が配置されている。上皿 1 0 の上面左隅には、遊技者が押操作可能な押ボタンタイプの第 2 演出操作ボタン 1 2 が配置されている。また、下皿 1 1 の右側には、遊技球を遊技盤 5 に打ち出す際に操作されるハンドル 1 4 が配置されている。遊技者が、ハンドル 1 4 を把持して回転操作することにより、発射装置から遊技盤 5 の盤面に向けて遊技球を発射することができ、また、ハンドル 1 4 の回転角度を調整することにより、遊技盤 5 の盤面に向けて発射される遊技球の勢いを調節することができる。

10

【 0 0 1 4 】

図 2 は、遊技盤 5 の概略正面図である。遊技盤 5 の盤面には、中央部に略円形の遊技領域 S が設定されている。遊技領域 S の周縁には、発射装置（図示しない）から発射された遊技球を、遊技盤 5 の上方（左側上部）に導くためのガイドレール 2 3 が配置されている。遊技領域 S には、多数本の障害釘 2 5（図 2 には、一部のみ図示）が植設されている。遊技領域 S の左側上部からガイドレール 2 3 に沿って右斜め上方に向けて放たれた遊技球は、遊技盤 5 の盤面に沿って多数本の障害釘 2 5 の間を流下していく。

20

【 0 0 1 5 】

遊技領域 S の中央部には、液晶表示ユニット 2 4 が配置されている。液晶表示ユニット 2 4 は、パチンコ機 1 の遊技中に、停止または変動中の演出図柄や所定のメッセージなどを表示する。

液晶表示ユニット 2 4 の下方には、第 1 特別図柄始動口 2 6 および第 2 特別図柄始動口 2 7 が上下に並べて配置されている。第 1 および第 2 特別図柄始動口 2 6 , 2 7 は、それぞれ、遊技盤 5 の盤面に沿って流下する遊技球を入球可能に設けている。第 2 特別図柄始動口 2 7 が電動チューリップ役物 2 8 を有しているのに対し、第 1 特別図柄始動口 2 6 は開閉手段等を有しない非作動式の入賞口である。

【 0 0 1 6 】

30

電動チューリップ役物 2 8 は、通常、各羽根の先端部が互いに接近した状態（狭窄状態）に窄められている。電動チューリップ役物 2 8 の狭窄状態では、遊技盤 5 の盤面に沿って流下する遊技球の第 2 特別図柄始動口 2 7 への入球が、第 1 特別図柄始動口 2 6 の入球役物と電動チューリップ役物 2 8 の一対の羽根とにより阻止されている。その結果、第 2 特別図柄始動口 2 7 が閉塞される。そして、電動チューリップ役物 2 8 が拡開された状態では、電動チューリップ役物 2 8 の各羽根が拡開されることにより、第 2 特別図柄始動口 2 7 に遊技球が入球可能になって、第 2 特別図柄始動口 2 7 が開放される。

【 0 0 1 7 】

なお、電動チューリップ役物 2 8 の構成はこれに限定されるものではなく、次いで述べる可変入賞装置 2 9 と同様に、前後方向に出退する構成であってもよいし、たとえば、左右方向に延びる回転軸を中心として手前側に傾倒する構成であってもよい。

40

第 1 特別図柄始動口 2 6 または第 2 特別図柄始動口 2 7 に遊技球が入ると（入賞すると）、予め定める個数（第 1 特別図柄始動口 2 6 への遊技球入球に対してはたとえば 5 球、および第 2 特別図柄始動口 2 7 への遊技球入球に対してはたとえば 3 球）の賞球が、賞球払出装置 5 6（図 4 参照）から払い出される。また、第 1 特別図柄始動口 2 6 または第 2 特別図柄始動口 2 7 への遊技球の入球（所定の始動条件）に伴って、特別遊技状態を発生させる大当りであるか否かを決定するための大当り抽選（当り遊技を発生させるか否かの抽選）が実行される。

【 0 0 1 8 】

遊技領域 S には、遊技盤 5 の右下部に可変入賞装置 2 9 が配置されている。可変入賞装

50

置 29 は第 1 および第 2 特別図柄始動口 26, 27 の右方に配置されている。可変入賞装置 29 は、遊技領域 S の右下部に形成された、左右に長い平面視長形状をなす大入賞口 30 と、大入賞口 30 を開閉可能な大入賞口開閉役物 31 とを備える。大入賞口 30 は、左右方向に関して、複数個（たとえば 3~4 球）の遊技球が同時に入球可能なサイズに形成されている。大入賞口開閉役物 31 は、遊技盤 5 の盤面に沿った状態で大入賞口 30 を閉塞して、大入賞口 30 に遊技球が入るのを阻止することができる一方、この状態から後方に退避することにより、大入賞口 30 を開放して、大入賞口 30 上に流下してくる遊技球を大入賞口 30 内に導き入れることができる。なお、可変入賞装置 29 の構成はこれに限定されるものではなく、たとえば大入賞口 30 の下端縁に沿って配置された回動軸を中心に手前側に傾倒する構成であってもよいし、また、電動チューリップ役物 28 と同様に一対の羽根を有し、各羽根が狭窄状態と拡開状態との間で姿勢変更可能な構成であってもよい。

10

【0019】

遊技領域 S には、液晶表示ユニット 24 の右方（遊技領域 S の右部）に、遊技盤 5 の盤面に沿って流下する遊技球が通過可能な普通図柄ゲート 34 が配置されている。

普通図柄ゲート 34 を遊技球が通過すると、第 2 特別図柄始動口 27 を開放するか否か（電動チューリップ役物 28 を拡開状態にするか否か）を決定するための普通図柄抽選が実行される。普通図柄抽選により第 2 特別図柄始動口 27 を開放すると決定される確率（普通図柄抽選の当選確率）は、後述する確率変動モード（確率変動遊技の実行時でかつサポート遊技の実行時）の非実行時ではたとえば 1/100、確率変動モード中ではたとえば 1/1

20

【0020】

また、パチンコ機 1 には、特別遊技状態とは別の開放遊技である小当り遊技が用意されている。小当り遊技では、所定の開放時間（たとえば 0.1(sec)）だけ大入賞口 30 を 1 回開放させ、かつその後所定のインターバル（たとえば 1.0(sec)）を挟んで、所定の開放時間（たとえば 0.1(sec)）だけ大入賞口 30 を 1 回開放させる。

遊技盤 5 の盤面におけるガイドレール 23 の外側領域の右上隅部には、第 1 特別図柄表示手段（識別情報表示手段）35、第 2 特別図柄表示手段（識別情報表示手段）36 および普通図柄表示手段 37 が配置されている。

【0021】

30

第 1 特別図柄表示手段 35 は、一または複数の特別図柄を変動動作可能な 7 セグメント式表示器等により構成されている。第 1 特別図柄表示手段 35 は、第 1 特別図柄始動口 26 に遊技球が入球することを条件に第 1 特別図柄が所定時間変動動作して、第 1 特別図柄始動口 26 への入球時に取得された大当り判定用乱数が、予め定められた大当り数値と一致する場合には所定の大当り用の第 1 特別図柄（特定表示結果）で、それ以外の場合にはハズレ用の第 1 特別図柄で停止する。大当り用の第 1 特別図柄として、確率変動遊技付きの大当りを示す確率変動図柄と、確率変動遊技が付かない大当りを示す非確率変動図柄とが用意されている。

【0022】

第 2 特別図柄表示手段 36 は、一または複数の特別図柄を変動動作可能な 7 セグメント式表示器等により構成されている。第 2 特別図柄表示手段 36 は、第 2 特別図柄始動口 27 に遊技球が入球することを条件に第 2 特別図柄が所定時間変動動作して、第 2 特別図柄始動口 27 への入球時に取得された大当り判定用乱数が、予め定められた大当り数値と一致する場合には所定の大当り用の第 2 特別図柄（特定表示結果）で、それ以外の場合にはハズレ用の第 2 特別図柄で停止する。大当り用の第 2 特別図柄として、確率変動遊技付きの大当りを示す確率変動図柄と、確率変動遊技が付かない大当りを示す非確率変動図柄とが用意されている。

40

【0023】

なお、第 1 および第 2 特別図柄表示手段 35, 36 に、第 1 特別図柄の保留球数および第 2 特別図柄の保留球数をそれぞれ表示するための特別図柄用保留表示手段（図示しない

50

）が設けられていてもよい。

普通図柄表示手段 37 は、普通図柄を変動動作するためのものであり、7 セグメント表示器等を用いてなるべく目立たないように小さく設けられており、普通図柄ゲート 34 に遊技球が通過することを条件に普通図柄が所定時間変動動作して、普通図柄ゲート 34 に対する遊技球の通過時に取得された当り判定用乱数が予め定められた当り数値と一致する場合には所定の当り態様で、一致しない場合には所定のハズレ態様で停止させるようになっている。この普通図柄は、遊技者がその種類この普通図柄は、遊技者がその種類を容易に区別できないように特別な意味を持たない図柄が割り当てられることが望ましい。

【0024】

大当り抽選の結果は、前述のように第 1 特別図柄表示手段 35, 36 に表示されるが、特別図柄表示手段 35, 36 だけでなく、液晶表示ユニット 24 にも表示される。

特別遊技状態（特定遊技状態）中は、大入賞口開閉役物 31 の揺動により大入賞口 30 が開放される。パチンコ機 1 には、第 1 および第 2 特別遊技状態の合計 2 種類の特別遊技状態が用意されている。

第 1 特別遊技状態では、所定の時間（たとえば 30(sec)）が経過するまで、または大入賞口 30 に予め定める最大個数（たとえば 10 球）の遊技球が入球するまで、大入賞口 30 を開放するといった開放動作を 1 つのラウンドとして、このような開放動作がインターバル（たとえば 1.0(sec)）を挟んで所定の多数ラウンド（たとえば 16 ラウンド）行われる。1 回の第 1 特別遊技状態において、遊技者が獲得可能な賞球は、たとえば約 1600 個（10（個/球）× 10（球/ラウンド遊技）× 16（ラウンド））である。

【0025】

第 2 特別遊技状態では、所定の時間（たとえば 30(sec)）が経過するまで、または大入賞口 30 に予め定める最大個数の遊技球が入球するまで、大入賞口 30 を開放するといった開放動作を 1 つのラウンドとして、このような開放動作がインターバル（たとえば 1.0(sec)）を挟んで、複数ラウンド（たとえば 2 ラウンド）行われる。

なお、特別遊技状態は、2 種類の態様に限られず、1 種類であってもよいし、3 種類以上であってもよい。また、各特別遊技状態の態様は、前述の態様に限られない。

【0026】

また、パチンコ機 1 には、特別遊技状態とは別の開放遊技である小当り遊技が用意されている。小当り遊技では、所定時間（たとえば 0.5(sec)）大入賞口 30 を開放するといった小当り開放動作を、インターバル（たとえば 1.0(sec)）を挟んで所定の少数回数（たとえば 2 回）行われる。

遊技者のハンドル操作により、発射装置（図示しない）から適度の勢いで発射された遊技球は、遊技領域 S の左上部分から右斜め上方に向けて放たれる。ハンドル操作により、遊技球の発射の狙い先を、遊技領域 S の左側上部と遊技領域 S の右側上部との間で打ち分けることができる。遊技領域 S の左上部分から放たれた遊技球は、遊技領域 S に植設された障害釘 25 の間を流下する。遊技盤 5 の盤面に沿って流下する遊技球のうち、第 1 もしくは第 2 特別図柄始動口 26, 27、大入賞口 30、およびその他の入賞口（図示しない）のいずれにも入球しなかった遊技球（アウト球）は、遊技領域 S の下部に形成されたアウト口 38 から機内に入り、球回収部（図示しない）に回収される。

【0027】

遊技領域 S における左上部分を狙って適度な速度で遊技球が発射されると、遊技領域 S の左上部分へと達した遊技球は、遊技領域 S の左半分（左上部分、左部分および左下部分）に植設された障害釘 25 によって、第 1 特別図柄始動口 26 付近に導かれる。つまり、発射位置を遊技領域 S の左側上部とすることにより、第 1 特別図柄始動口 26 に遊技球を入球させることができる。

【0028】

また、パチンコ機 1 では、特別遊技状態中において、遊技者によりいわゆる右打ち遊技（遊技領域 S の右側上部を狙って遊技球を発射させる遊技）が行われる。パチンコ機 1 は、いわゆる右打ち遊技を行えるように構成されている。ハンドル 14 の回転角度を最大角

度とすると非常に強い勢いで遊技球が発射され、ガイドレール 23 に沿って遊技領域 S における左上部分から右斜め上方に向けて、遊技球が勢い良く放たれる。放たれた遊技球は、液晶表示ユニット 24 の上方を通して、遊技領域 S の盤面の右部分へと達し、遊技領域 S の右上部分に植設された障害釘 25 によって、可変入賞装置 29 の周囲に導かれる。そのため、開放動作中の可変入賞装置 29 の大入賞口 30 に遊技球を入球させ易い。

【0029】

また、遊技領域 S の盤面の右部分へと達した遊技球は、遊技領域 S の右部分に植設された障害釘 25 によって、普通図柄ゲート 34 の周囲にも導かれる。そのため、普通図柄ゲート 34 への遊技球の通過頻度を高めることができる。また、普通図柄ゲート 34 を通過した遊技球は、遊技領域 S の右部分に植設された障害釘 25 によって第 1 特別図柄始動口 26 の周囲または第 2 特別図柄始動口 27 の周囲に導かれる。確率変動遊技中は、サポート遊技が併せて実行され、かつ普通図柄ゲート 34 への遊技球の通過頻度が高いために、第 2 特別図柄始動口 27 が頻繁に開放されている。したがって、確率変動遊技の実行時には、大入賞口 30 に遊技球を入球させ易いだけでなく、第 2 特別図柄始動口 27 にも遊技球を入球させることができる。

【0030】

図 3 および図 4 は、液晶表示ユニット 24 の表示画面の表示内容の一例を示す図である。図 3 (a) に示すように、第 1 特別図柄表示手段 35, 36 (図 2 参照) の変動動作中は、液晶表示ユニット 24 により演出図柄の変動動作が行われる。液晶表示ユニット 24 の表示画面内には、たとえば 3 つの図柄表示領域 24 L, 24 C, 24 R が左右に並んで設定されている。そして、特別図柄表示手段 35, 36 の変動動作中は、3 つの図柄表示領域 24 L, 24 C, 24 R において、複数種の演出図柄 (たとえば「0」~「9」などの数字図柄や、キャラクタ図柄等) がたとえば上方から下方に向けてスクロール表示されることにより、演出図柄の変動動作が行われる。各図柄表示領域 24 L, 24 C, 24 R に示す「」は、それらの図柄表示領域 24 L, 24 C, 24 R の演出図柄が変動していることを示している。

【0031】

3 つの図柄表示領域 24 L, 24 C, 24 R において、変動開始後、所定時間が経過すると、3 つの図柄表示領域 24 L, 24 C, 24 R における変動動作が予め定める順序で停止されていき、最終的に、各図柄表示領域 24 L, 24 C, 24 R に 1 つの演出図柄が停止した状態で表示されることにより、大当たり抽選の結果を表す演出図柄の組合せが液晶表示ユニット 24 に表示される。

【0032】

液晶表示ユニット 24 における演出態様には、液晶表示ユニット 24 の表示画面内の 2 つの図柄表示領域 24 L, 24 R に演出図柄が停止表示され、残り 1 つの図柄表示領域 24 C に演出図柄が停止表示されることによって大当たりかハズレかが判明する、いわゆるリーチ状態を経ないで、3 つの図柄表示領域 24 L, 24 C, 24 R にハズレ用の演出図柄が表示される通常の変動動作と、リーチ状態を経た後に大当たり用の演出図柄またはハズレ用の演出図柄が表示されるリーチパターンの変動動作とが用意されている。リーチパターンのリーチ演出には、たとえば、図 8 A 等示すように、ノーマルリーチ、ノーマルロングリーチ (ノーマルロング)、スーパーリーチ、スペシャルリーチ 1 (図 12 A 等で「スペリーチ 1」と記載)、スペシャルリーチ 2 (図 12 B 等で「スペリーチ 2」と記載) が用意されている。ノーマルリーチは、たとえば、残り 1 つの図柄表示領域における演出図柄が所定時間変動した後に停止するようリーチである。ノーマルロングリーチは、たとえば、残り 1 つの図柄表示領域における演出図柄が、ノーマルリーチ時よりも長い時間変動した後に停止するようリーチである。スーパーリーチは、所定のスーパーリーチキャラクタが登場して所定のスーパーリーチ演出を行うと共に、ノーマルロングリーチ時よりも長い時間変動した後に停止するようリーチである。たとえば、スペシャルリーチ 1 およびスペシャルリーチ 2 は、所定のスペシャルリーチキャラクタが登場して所定のスペシャルリーチ演出を行うと共に、スーパーリーチ時よりも長い時間変動した後に停止

するようリーチである。スペシャルリーチ 1 では、変動動作が 1 回のみしか用意されていないのに対し、スペシャルリーチ 2 では、疑似変動を伴う疑似連演出が用意されている。疑似連演出は、変動動作が複数回（たとえば 2 回）あるかのような演出であり、1 回目の変動が疑似変動とされている。

【0033】

なお、この実施形態では、スーパーリーチは、ノーマルリーチから発展する発展型のリーチであり、スペシャルリーチ 1 およびスペシャルリーチ 2 は、スーパーリーチから発展する発展型のリーチである。

図 3 に示すように、液晶表示ユニット 24 の下部分には、第 1 特別図柄用の保留数（すなわち、第 1 の始動情報記憶部 61 内の保留データ用エリアに記憶されている始動情報の数を表示するための第 1 の保留球数表示部（保留表示手段）101 と、第 2 特別図柄用の保留数（すなわち、第 2 の始動情報記憶部 62 内の保留データ用エリアに記憶されている始動情報の数）を表示するための第 2 の保留球数表示部（保留表示手段）121 とが設けられている。各保留数表示部 101、121 には、保留表示 102 が最大 4 個まで表示可能に設けられている。各保留表示 102 は、第 1 または第 2 特別図柄の変動動作に一対一対応で設けられており、たとえば円形をなしている。保留表示 102 が複数あるとき、保留表示 102 の表示位置（以下、「保留表示位置」という。）は、右側から左側に向けて、消化の早い順に並べられる。各保留表示 102 は、第 1 または第 2 特別図柄（演出図柄）の変動動作に一対一対応で設けられており、たとえば円形をなしている。液晶表示ユニット 24 の表示画面には、常に、各保留数表示部 101、121 が表示されているのであるが、図 3 および図 4 を除く各図において、液晶表示ユニット 24 の表示画面には、第 2 の保留数表示部 121 の図示を省略している。

【0034】

パチンコ機 1 には、先読み保留変化予告（保留変化予告）が搭載されている。先読み保留変化予告では、第 1 または第 2 の始動情報記憶部 61、62 に記憶されている始動情報を図柄変動の開始前に先読み判定しておき、その判定結果に基づいて、その保留記憶に対応する保留表示 102 の保留表示態様（色）を、通常時（「白（デフォルト）」）と異なった態様（特別保留表示態様）で表示することにより、その保留記憶に対応する変動動作についての先読み信頼度を予告している。

具体的には、保留数表示部 101、121 に表示される保留表示 102 は、その表示色によって、先読み信頼度（大当たり信頼度の他、保留表示 102 の保留表示態様の变化回数や大当たり信頼度の高い態様への期待度等を含む。）が異なっている。この実施形態では、図 4（c）に示すように、保留表示 102 の保留表示態様として、「白（デフォルト）」、「青」、「緑」および「赤」の 4 態様が表示されている。つまり、「白（デフォルト）」の態様が通常保留表示態様であり、「青」、「緑」および「赤」の態様が特別保留表示態様である。図 4（c）に示すように、「白」から「青」、「緑」、「赤」へと向かうに従って、先読み信頼度が高くなるように設定されている。

【0035】

パチンコ機 1 には、当該変動保留変化予告（特定表示）も搭載されている。具体的には、液晶表示ユニット 24 の下部分において左右方向の中央部には、現在変動中の第 1 または第 2 特別図柄（演出図柄）の変動動作に対応する始動情報を指し示す当該変動保留表示部（特定表示手段）103 が表示されている。当該変動保留変化予告では、当該変動保留表示部 103 に表示される保留表示（以下、「当該変動保留表示」という。特定表示）104 の保留表示態様（特定表示の態様）を、第 1 または第 2 特別図柄（演出図柄）の変動動作中に所定の保留表示態様に变化させることにより、現在変動している変動動作に対する大当たり信頼度（当りの特別図柄が導出表示される信頼度）を表示している。

【0036】

当該変動保留変化予告は、先読み保留変化予告の実行時には、実行中の先読み保留変化予告に連続した保留表示態様で開始される。すなわち、当該変動保留表示 104 における変動開始当初の保留表示態様は、シフト移行前の「保留 1」の保留表示態様と同じである

。また、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様の变化は、1 回だけ变化するものに限られず、段階的に变化（以下、「ランクアップ」という場合がある。）することも可能である。この実施形態では、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様は、1 段階～3 段階の範囲で变化する。

【0037】

具体的には、当該変動保留表示部 1 0 3 に表示される当該変動保留表示 1 0 4 は、その保留表示態様によって、その保留球に対応する大当たり信頼度が異なっている。この実施形態では、図 4（d）に示すように、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様（特定表示の態様）として、「白（デフォルト）」、「白点滅」、「青」、「緑」、「赤」、「デンジャー」および「レインボー（虹色）」の 7 態様が表示されている。図 4（d）に示すように、「白」から「白点滅」、「青」、「緑」、「赤」、「デンジャー」および「レインボー」へと向かうに従って大当たり信頼度が高くなるように設定されている。なお、「レインボー」は、大当たり信頼度が 1 0 0 %（確定）の保留表示態様である。また、「白」と「白点滅」とは、同じ白色を表示しているのであるが、点灯態様が異なるので、この明細書では、互いに異なる保留表示態様として取り扱うこととする。当該変動保留变化予告における当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様には、先読み保留变化予告による保留表示 1 0 2 にない保留表示態様（「白点滅」、「デンジャー」および「レインボー」）が含まれている。すなわち、先読み保留变化予告では表示可能であるが、当該変動保留变化予告では表示されない保留表示態様がある。

【0038】

また、当該変動保留变化予告における変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が「青」、「緑」および「赤」であるときの大当たり信頼度は、それぞれ、先読み保留变化予告による保留表示 1 0 2 が「青」、「緑」および「赤」であるときの大当たり信頼度と同程度に設定されている。

以下、図 3（a）～図 3（c）および図 4（a）および図 4（b）を参照して、先読み保留变化予告および当該変動保留变化予告について説明する。また、以降の説明において、第 1 および第 2 の保留数表示部 1 0 1，1 2 1 の保留表示 1 0 2 の保留表示態様の变化（先読み保留变化予告）を、第 1 の保留数表示部 1 0 1 の保留表示 1 0 2 の保留表示態様の变化（第 1 の保留数表示部 1 0 1 を用いた先読み保留变化予告）を例に挙げて説明する。第 2 の保留数表示部 1 2 1 の保留表示 1 0 2 の保留表示態様の变化（第 2 の保留数表示部 1 2 1 を用いた先読み保留变化予告）については、第 1 の保留数表示部 1 0 1 の保留表示態様の变化の場合と同じであるので、説明を省略する。

【0039】

図 3（a）に示すように、第 1 特別図柄（演出図柄）の変動動作中で、かつ第 1 特別図柄用の保留数が 2 個である状態で、第 1 特別図柄始動口 2 6 に新たな遊技球の入球があると、液晶表示ユニット 2 4 の第 1 の保留数表示部 1 0 1 の保留表示 1 0 2 の数が 2 個から 3 個に増やされる。このとき、入賞と同時に先読み保留变化予告が実行されて、第 1 の保留数表示部 1 0 1 の増加分（たとえば 3 個目）の保留表示 1 0 2 の保留表示態様（色）が、「白」ではなく、所定の保留表示態様（図 3（a）ではたとえば「青」）を呈する。そして、所定の期間の経過後、液晶表示ユニット 2 4 に、たとえば、ハズレの演出図柄の組合せ（図 3（b）では、たとえば「2」「3」「4」）が停止表示される。

【0040】

第 1 特別図柄（演出図柄）の変動動作の消化に伴い、液晶表示ユニット 2 4 の保留数表示部 1 0 1，1 2 1 の保留表示 1 0 2 の保留表示位置が、1 つずつ右側にシフト移行する。そして、最も右側に位置する保留表示 1 0 2 が当該変動保留表示部 1 0 3 にシフト移行し、当該変動保留表示部 1 0 3 において当該変動保留表示 1 0 4 に置換される。

そして、図 3（c）に示すように、保留表示 1 0 2 のシフト移行の際に、保留表示 1 0 2 の保留表示態様が变化することもある。図 3（c）では、「保留 3」の保留表示位置から「保留 2」の保留表示位置へとシフト移行する保留表示 1 0 2 の色が「青」から「緑」になる場合を示している。

【 0 0 4 1 】

変動動作の消化が進み、図 4 (a) に示すように、前記の「緑」の保留表示 1 0 2 に対応する変動動作が変動開始される際には、この保留表示 1 0 2 に対応していた始動情報についての表示が、第 1 の保留数表示部 1 0 1 から当該変動保留表示部 1 0 3 にシフト移行し、当該変動保留表示部 1 0 3 において当該変動保留表示 1 0 4 として表示される。このとき、当該変動保留表示部 1 0 3 において表示される当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様は、シフト移行前の「保留 1」の保留表示 1 0 2 の保留表示態様と同じである。すなわち、保留表示 1 0 2 の保留表示態様（通常保留表示態様または特別保留表示態様）に対応する変動動作が変動開始される際には、その通常保留表示態様またはその特別保留表示態様（すなわち、通常表示態様または特別表示態様）が、当該変動保留表示 1 0 4 として

10

【 0 0 4 2 】

そして、図 4 (b) に示すように、演出図柄の変動動作の途中において、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が、大当り信頼度が上昇するように変化（以下、このような変化を「ランクアップ」という。）する。図 4 (b) では、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様がそれまでの「緑」から「青」に変化している。

この実施形態に示す先読み保留変化予告および当該変動保留変化予告は、変動動作の消化または時間の進行に伴って、先読み信頼度や大当り信頼度が上昇するかあるいは変わらないランクアップ型のものであり、先読み保留変化予告の先読み信頼度や当該変動保留変化予告の大当り信頼度が、変動動作の消化または時間の進行に伴って低下するような態様

20

【 0 0 4 3 】

また、当該変動保留変化予告は、演出図柄の変動動作中に実行される。より具体的には、当該変動保留変化予告の実行タイミングとして、演出図柄の変動動作中（疑似連演出の 1 回目の変動動作を含む）の所定タイミング、ノーマルリーチ中の所定タイミング、およびスーパーリーチ中の所定タイミングのうちの少なくとも 1 回を例示できる。

なお、図 3 (a) では、入賞と同時に先読み保留変化予告が実行される場合を例に挙げて説明したが、むしろ、先読み保留変化予告には、入賞時に保留表示 1 0 2 が態様変化せずに、シフト移行時に態様変化するものも含まれる。

【 0 0 4 4 】

図 4 は、パチンコ機 1 の電氣的構成を示すブロック図である。パチンコ機 1 は、AC24 V の交流電圧を受けて各種の直流電圧やシステムリセット信号などを出力する電源基板 5 3 と、当該パチンコ機 1 の統括的な動作制御を司る主制御基板 4 0 と、演出制御を司る演出制御基板 4 1 と、パチンコ機 1 から遊技球を払い出すための払出制御基板 4 2 とを備えている。主制御基板 4 0 には、主基板中継基板 5 4 を介して、電源基板 5 3 および払出制御基板 4 2 がそれぞれ接続されている。主制御基板 4 0 には、演出インターフェイス基板 4 3 を介して、演出制御基板 4 1 および液晶表示制御基板 4 4 がそれぞれ接続されている。電源基板 5 3 は、演出インターフェイス基板 4 3 を介して、演出制御基板 4 1 および液晶表示制御基板 4 4 にそれぞれ接続されている。第 1 演出操作ボタン 1 3 および第 2 演出操作ボタン 1 2 からの操作入力信号は、それぞれ、演出インターフェイス基板 4 3 を介して

30

40

【 0 0 4 5 】

主制御基板 4 0 は、CPU 4 0 A（始動情報取得手段、抽選手段、先読み判定手段）、RAM 4 0 B および ROM 4 0 C を含むマイクロコンピュータを備えている。主制御基板 4 0 には、演出制御基板 4 1 や払出制御基板 4 2 などに制御コマンドを送信するためのコマンド送信部が設けられている。

主制御基板 4 0 には、第 1 および第 2 特別図柄表示手段 3 5 , 3 6 ならびに普通図柄表示手段 3 7 が制御対象として接続されている。また、主制御基板 4 0 には、第 1 および第 2 特別図柄始動口 2 6 , 2 7（図 2 参照）への入球をそれぞれ検出するための第 1 および第 2 特別図柄始動口入球センサ 4 6 , 4 7 が接続されており、第 1 および第 2 特別図柄始

50

動口入球センサ 46, 47 からの検出出力が直接入力されるようになっている。

【0046】

また、主制御基板 40 には、遊技盤中継基板 45 を介して、普通図柄ゲート 34 (図 2 参照) を遊技球が通過したことを検出するための普通ゲート通過センサ 48 からの検出出力、可変入賞装置 29 の大入賞口 30 (図 2 参照) に遊技球が入ったことを検出するための大入賞口入球センサ 49 からの検出出力が、それぞれ入力されるようになっている。

また、主制御基板 40 には、遊技盤中継基板 45 を介して、電動チューリップ役物 28 (図 2 参照) を駆動するための電動チューリップ駆動機構 (たとえばソレノイド類を含む) 51 や、大入賞口開閉役物 31 (図 2 参照) を開閉駆動するための大入賞口開閉機構 (たとえばソレノイド類を含む) 52 等が制御対象として接続されている。

10

【0047】

演出制御基板 41 は、演出インターフェイス基板 43 を介して主制御基板 40 に接続されている。演出制御基板 41 は、CPU (保留変化予告制御手段、特定表示予告制御手段、再可変表示実行手段) 41A、RAM 41B および ROM 41C を含むマイクロコンピュータを備えている。演出制御基板 41 には、液晶表示制御基板 44 などに制御コマンドを送信するためのコマンド送信部が設けられている。演出制御基板 41 には、演出インターフェイス基板 43 を介して液晶表示制御基板 44 が接続されている。

【0048】

演出制御基板 41 には、パチンコ機 1 の本体 (前扉等) 前面等に配置されるスピーカ 90 や遊技ランプ 91 が、演出インターフェイス基板 43 および枠中継基板 55 を介して、

20

制御対象としてそれぞれ接続されている。

払出制御基板 42 は、CPU 42A、RAM 42B、ROM 42C 等を含むマイクロコンピュータを備えており、主制御基板 40 に接続されている。払出制御基板 42 には、賞球払出装置 56 が制御対象として接続されている。

【0049】

演出制御基板 41 は、主制御基板 40 からの制御コマンドに基づいて、液晶表示ユニット 24 やスピーカ 90 等の演出装置の演出内容を決定し、その演出内容が記された制御コマンドを制御対象に対して出力する。たとえば液晶表示ユニット 24 の制御については、液晶表示制御基板 44 には、演出制御基板 41 からの制御コマンドが、演出インターフェイス基板 43 を介して与えられ、与えられた制御コマンド (この場合、液晶制御用の制御コマンド) の内容に基づいて、液晶表示制御基板 44 は液晶表示ユニット 24 の表示を制御する。

30

【0050】

液晶表示制御基板 44 は、CPU 44A、RAM 44B および ROM 424C を含むマイクロコンピュータを備えている。液晶表示制御基板 44 には液晶表示ユニット 24 が制御対象として接続されている。

図 6 は、主制御基板 40 の電氣的構成を示すブロック図である。図 2、図 4 および図 6 を参照しつつ、主制御基板 40 の構成について説明する。

主制御基板 40 の RAM 40B には、第 1 の始動情報記憶部 61、第 2 の始動情報記憶部 62、第 1 の始動保留カウンタ 63 および第 2 の始動保留カウンタ 64 が設けられている。

40

【0051】

第 1 の始動情報記憶部 61 には、第 1 特別図柄始動口 26 への遊技球入球に対して実行される大当たり抽選の結果が格納される。第 1 の始動情報記憶部 61 には、大当たり判定用乱数 (第 1 抽選の結果を示す情報)、特別図柄用乱数 (確率変動遊技の実行の有無を決定するための情報)、および変動パターン用乱数 (以上の各乱数をまとめて「始動情報」という。) が最大でたとえば 5 つまで記憶可能である。具体的には、第 1 の始動情報記憶部 61 には、始動情報を記憶するための記憶エリアが 5 つ設けられている。これらの記憶エリアを、それぞれ、第 0 エリア (エリア 0)、第 1 エリア (エリア 1)、第 2 エリア (エリア 2)、第 3 エリア (エリア 3) および第 4 エリア (エリア 4) ということにする。

50

【 0 0 5 2 】

第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 0 エリアは、実行対象となっている始動情報を記憶するための領域である。以下において、「実行データ用エリア」という場合がある。

第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 1 エリア～第 4 エリアの 4 つの領域は、実行が保留されている始動情報を記憶するための領域である。この第 1 エリア～第 4 エリアを総称する場合には、「保留データ用エリア」という場合がある。

【 0 0 5 3 】

第 1 特別図柄始動口 2 6 に遊技球が入ったときには、第 1 の始動情報記憶部 6 1 内の保留データ用エリアに、始動情報が記憶される。具体的には、第 1 エリアが空であれば第 1 エリアに始動情報が記憶され、第 1 エリアが空でなく第 2 エリアが空であれば第 2 エリアに始動情報が記憶され、第 1 および第 2 エリアが空でなく第 3 エリアが空であれば第 3 エリアに始動情報が記憶され、第 1 ～第 3 エリアが空でなく第 4 エリアが空であれば第 4 エリアに始動情報が記憶される。

【 0 0 5 4 】

第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 0 エリアに始動情報が記憶されておらず、かつ特別遊技状態中でない状態であることを条件に、第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 1 ～第 4 エリアに記憶されている始動情報が、それぞれ、第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 0 ～第 3 エリアに移行されるとともに、第 4 エリアが空にされる。そして、第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 0 エリア（実行データ用エリア）に移行された始動情報が実行される。

【 0 0 5 5 】

第 1 の始動情報記憶部 6 1 内の保留データ用エリア（第 1 ～第 4 エリア）に記憶されている始動情報の数は、第 1 の始動保留カウンタ 6 3 に記憶される。

第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 0 エリア（実行データ用エリア）に始動情報が移行されると、当該始動情報に対応する特別変動動作が開始される。当該変動動作の開始時には、その始動情報に含まれる大当たり判定用乱数が、大当たり数値と一致するか、小当たり数値と一致するか、あるいは大当たり数値または小当たり数値のいずれとも一致しないかが判定される。CPU 4 0 A は、大当たり判定用乱数が大当たり数値と一致するときは、その後特別遊技状態が実行される。特別遊技状態中は、2 バイト構成の条件装置作動フラグの値が、0 0 [H] から 5 A [H] に切り換えられる。また、CPU 4 0 A は、大当たり判定用乱数が小当たり数値と一致するときは、その後小当たり遊技が実行される。小当たり遊技の実行中には、2 バイト構成の小当たり中フラグの値が、0 0 [H] から 5 A [H] に切り換えられる。

【 0 0 5 6 】

第 2 の始動情報記憶部 6 2 には、第 2 特別図柄始動口 2 7 への遊技球入球に対して実行される大当たり抽選の結果が格納される。第 2 の始動情報記憶部 6 2 には、大当たり判定用乱数（第 1 抽選の結果を示す情報）、特別図柄用乱数（確率変動遊技の実行の有無を決定するための情報）、および変動パターン用乱数（以上の各乱数をまとめて「始動情報」という。）が最大でたとえば 5 つまで記憶可能である。具体的には、第 2 の始動情報記憶部 6 2 には、始動情報を記憶するための記憶エリアが 5 つ設けられている。これらの記憶エリアを、それぞれ、第 0 エリア（エリア 0）、第 1 エリア（エリア 1）、第 2 エリア（エリア 2）、第 3 エリア（エリア 3）および第 4 エリア（エリア 4）ということにする。

【 0 0 5 7 】

第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 0 エリアは、実行対象となっている始動情報を記憶するための領域である。以下において、「実行データ用エリア」という場合がある。

第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 1 エリア～第 4 エリアの 4 つの領域は、実行が保留されている始動情報を記憶するための領域である。この第 1 エリア～第 4 エリアを総称する場合には、「保留データ用エリア」という場合がある。

【 0 0 5 8 】

第 2 特別図柄始動口 2 7 に遊技球が入ったときには、第 2 の始動情報記憶部 6 2 内の保留データ用エリアに、始動情報が記憶される。具体的には、第 1 エリアが空であれば第 1 エリアに始動情報が記憶され、第 1 エリアが空でなく第 2 エリアが空であれば第 2 エリア

に始動情報が記憶され、第 1 および第 2 エリアが空でなく第 3 エリアが空であれば第 3 エリアに始動情報が記憶され、第 1 ~ 第 3 エリアが空でなく第 4 エリアが空であれば第 4 エリアに始動情報が記憶される。

【 0 0 5 9 】

第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 0 エリアに始動情報が記憶されておらず、かつ特別遊技状態中でない状態であることを条件に、第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 1 ~ 第 4 エリアに記憶されている始動情報が、それぞれ、第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 0 ~ 第 3 エリアに移行されるとともに、第 4 エリアが空にされる。そして、第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 0 エリア（実行データ用エリア）に移行された始動情報が実行される。

【 0 0 6 0 】

第 2 の始動情報記憶部 6 2 内の保留データ用エリア（第 1 ~ 第 4 エリア）に記憶されている始動情報の数は、第 2 の始動保留カウンタ 6 4 に記憶される。

第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 0 エリア（実行データ用エリア）に始動情報が移行されると、当該始動情報に対応する特別変動動作が開始される。当該変動動作の開始時には、その始動情報に含まれる大当り判定用乱数が、大当り数値と一致するか、小当り数値と一致するか、あるいは大当り数値または小当り数値のいずれとも一致しないかが判定される。CPU 4 0 A は、大当り判定用乱数が大当り数値と一致するときは、その後特別遊技状態が実行される。特別遊技状態中は、2 バイト構成の条件装置作動フラグの値が、0 0 [H] から 5 A [H] に切り換えられる。また、CPU 4 0 A は、大当り判定用乱数が小当り数値と一致するときは、その後小当り遊技が実行される。小当り遊技の実行中には、2 バイト構成の小当り中フラグの値が、0 0 [H] から 5 A [H] に切り換えられる。

【 0 0 6 1 】

図 7 は、演出制御基板 4 1 の電氣的構成を示すブロック図である。図 2、図 4 および図 7 を参照しつつ、演出制御基板 4 1 の構成について説明する。

図 7 に示すように、演出インターフェイス基板 4 3 には、バッファ回路 6 5、6 6 などが実装されている。演出制御基板 4 1 には、主制御基板 4 0 から出力された制御コマンドが演出インターフェイス基板 4 3 のバッファ回路 6 5 を介して入力されるようになっている。

【 0 0 6 2 】

演出制御基板 4 1 の CPU 4 1 A は、制御コマンド（に含まれる変動パターンコマンド（A0** [H] ））に基づいて演出抽選を行い、変動パターンコマンド（A0** [H] ）で特定される演出概要に基づいて具体的な演出内容を決定する。この演出内容は、液晶表示ユニット 2 4 への表示画像などの表示内容に限られず、ランプ類の点滅によるランプ演出の内容やスピーカ群からの発音などの音声内容を含む。演出制御基板 4 1 から送信される制御コマンドは、バッファ回路 6 6 を経由して、そのまま液晶表示制御基板 4 4 や音声出力するための音声制御基板などに出力される。

【 0 0 6 3 】

演出制御基板 4 1 の ROM 4 1 C は、抽選表記憶部 7 5 と、保留態様変化パターン記憶部 7 8 とを含む。抽選表記憶部 7 5 は、先読み保留変化予告用の抽選表や当該変動保留変化予告用の抽選表を含む々の抽選表（抽選テーブル）を記憶する。保留態様変化パターン記憶部 7 8 に記憶される保留態様変化パターンは、後述する第 2 実施形態の保留態様変化パターン P D（図 3 7 参照）と同等のパターンを含む。

【 0 0 6 4 】

演出制御基板 4 1 の RAM 4 1 B には、第 1 の保留メモリ 7 1 と、第 2 の保留メモリ 7 2 と、第 1 の保留カウンタ 7 3 と、第 2 の保留カウンタ 7 4 と、先読み保留変化予告フラグ 7 6 と、保留態様変化パターン記憶部 7 7 とが設けられている。第 1 の保留メモリ 7 1 には、第 1 の始動情報記憶部 6 1 に記憶されている始動情報の内容を表す先読み情報が、第 1 の始動情報記憶部 6 1 と対応する形で記憶されている。第 2 の保留メモリ 7 2 には、第 2 の始動情報記憶部 6 2 に記憶されている始動情報の内容を表す先読み情報が、第 2 の始動情報記憶部 6 2 と対応する形で記憶されている。

【 0 0 6 5 】

図 8 は、第 1 および第 2 の保留メモリ 7 1 , 7 2 の構成を説明する図である。

第 1 の保留メモリ 7 1 には、2 バイトのデータからなる先読み情報をそれぞれ記憶するための記憶エリアが 5 つ設けられている。これらの記憶エリアを、それぞれ、第 0 先読み記憶エリア M 1 0、第 1 先読み記憶エリア M 1 1、第 2 先読み記憶エリア M 1 2、第 3 先読み記憶エリア M 1 3 および第 4 先読み記憶エリア M 1 4 ということにする。

【 0 0 6 6 】

第 1 の保留メモリ 7 1 の第 0 先読み記憶エリア M 1 0 は、第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 0 エリアに対応している。第 1 の保留メモリ 7 1 の第 1 先読み記憶エリア M 1 1 は、第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 1 エリアに対応している。第 1 の保留メモリ 7 1 の第 2 先読み記憶エリア M 1 2 は、第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 2 エリアに対応している。第 1 の保留メモリ 7 1 の第 3 先読み記憶エリア M 1 3 は、第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 3 エリアに対応している。第 1 の保留メモリ 7 1 の第 4 先読み記憶エリア M 1 4 は、第 1 の始動情報記憶部 6 1 の第 4 エリアに対応している。

【 0 0 6 7 】

第 2 の保留メモリ 7 2 には、2 バイトのデータからなる先読み情報をそれぞれ記憶するための記憶エリアが 5 つ設けられている。これらの記憶エリアを、それぞれ、第 0 先読み記憶エリア M 2 0、第 1 先読み記憶エリア M 2 1、第 2 先読み記憶エリア M 2 2、第 3 先読み記憶エリア M 2 3 および第 4 先読み記憶エリア M 2 4 ということにする。

第 2 の保留メモリ 7 2 の第 0 先読み記憶エリア M 2 0 は、第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 0 エリアに対応している。第 2 の保留メモリ 7 2 の第 1 先読み記憶エリア M 2 1 は、第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 1 エリアに対応している。第 2 の保留メモリ 7 2 の第 2 先読み記憶エリア M 2 2 は、第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 2 エリアに対応している。第 2 の保留メモリ 7 2 の第 3 先読み記憶エリア M 2 3 は、第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 3 エリアに対応している。第 2 の保留メモリ 7 2 の第 4 先読み記憶エリア M 2 4 は、第 2 の始動情報記憶部 6 2 の第 4 エリアに対応している。

【 0 0 6 8 】

図 7 に戻り、第 1 の保留カウンタ 7 3 は、第 1 の保留メモリ 7 1 の保留領域 M 1 1 ~ M 1 4 に記憶されている先読み情報の個数を記憶するためのものである。第 1 の保留カウンタ 7 3 の値に基づいて、液晶表示ユニット 2 4 の第 1 の保留数表示部 1 0 1 (図 3 等参照) における第 1 特別図柄用の保留数の表示が行われる。

第 2 の保留カウンタ 7 4 は、第 2 の保留メモリ 7 2 の保留領域 M 2 1 ~ M 2 4 に記憶されている先読み情報の個数を記憶するためのものである。第 2 の保留カウンタ 7 4 の値に基づいて、液晶表示ユニット 2 4 の第 2 の保留数表示部 1 0 2 (図 3 等参照) における第 2 特別図柄用の保留数の表示が行われる。

【 0 0 6 9 】

先読み保留変化予告フラグ 7 6 は、先読み保留変化予告の実行中であるか否かを記憶しておくためのものである。先読み保留変化予告フラグ 7 6 の値は、先読み保留変化予告の実行中にたとえば 5 A [H] に設定され、また、先読み保留変化予告の非実行時にたとえば 0 0 [H] に設定されている。

保留態様変化パターン記憶部 7 7 には、実行すると決定された先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンや、実行すると決定された当該変動保留変化予告用の保留態様変化パターンが記憶されている。また、保留態様変化パターン記憶部 7 7 には、実行すると決定された (先読み保留変化予告用または当該変動保留変化予告用の) 保留変化態様も記憶されている。

【 0 0 7 0 】

主制御基板 4 0 から演出制御基板 4 1 に入力される制御コマンドは、1 バイト長のデジタルデータであるモードデータと、1 バイト長のデジタルデータであるイベントデータとを含む 2 バイト構成である。そして、各制御コマンドでは、モードデータとイベントデータとは、連続して個別に送受される。モードデータは、演出情報の概要部分を指定するた

10

20

30

40

50

めのものであり、16進数2桁の値を有している。イベントデータは、演出情報の具体的部分を指定するためのものであり、16進数2桁の値を有している。

【0071】

主制御基板40から演出制御基板41に送信される制御コマンドには、遊技の続行に関する多種の制御コマンドが含まれている。このような制御コマンドが演出制御基板41に入力される度に、演出制御基板41の種々のフラグ等の値が更新される。制御コマンドとして、たとえば、変動パターンコマンド(A0**[H])や保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])、図柄コマンドを挙げることができる。

【0072】

図9は、演出制御基板41に送信される変動パターンコマンド(A0**[H])を説明する図である。

10

変動パターンコマンド(A0**[H])は、主制御基板40において選択決定された変動パターンを、演出制御基板41に対して通知するものである。変動パターンコマンド(A0**[H])のモードデータはA0である。変動パターンコマンド(A0**[H])のイベントデータは、特定の予告演出の発生に関する情報、たとえばリーチ状態を経由するリーチ演出や、疑似変動を伴う疑似連演出など、特定の予告演出の発生を指定する情報を含む変動パターン情報である。この変動パターン情報は、変動パターンは、始動情報に含まれる大当たり判定用乱数値が大当たり数値であるか否かあるいは小当たり数値であるか否か、大当たり判定用乱数値が大当たり数値である場合の特別遊技状態の内容が第1特別遊技状態(16ラウンド)であるのか、あるいは第2特別遊技状態(2ラウンドの特別遊技状態)であるのか)によって、異なるように設けられている。コマンドのデータの後尾に記されている[H]という字は添え字であり、16進数であることを意味するためのものである。

20

【0073】

図10および図11は、演出制御基板41に送信される保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])を説明する図である。保留加算コマンド(B2**[H]~B5**[H])は、第1特別図柄始動口26に遊技球が入球して、第1の始動情報記憶部61に保留用として記憶されている始動情報の数(第1の始動保留カウンタ63の値)が増加したことを、演出制御基板41に対して通知するためのコマンドであり、また、第2特別図柄始動口27に遊技球が入球して、第2の始動情報記憶部62に保留用として記憶されている始動情報の数(第2の始動保留カウンタ64の値)が増加したことを、演出制御基板41に対して通知するためのコマンドである。保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])のモードデータは、B2、B3、B4、B5、B6、B7、B8およびB9である。保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])のデータの後尾に記されている[H]という字は添え字であり、16進数であることを意味するためのものである。

30

【0074】

保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])は、保留増加した始動情報の対象になる特別図柄表示手段35,36の種類(第1特別図柄表示手段35であるのか、あるいは第2特別図柄表示手段36であるのか)、および保留増加の直前(または直後に)における始動情報の数に応じて、モードデータの種類を異ならせている。モードデータの値が「B2[H]」~「B5[H]」である保留増加コマンド(図10参照)は、第1特別図柄表示手段35の変動動作の保留数に関する保留増加コマンドであり、モードデータの値が「B6[H]」~「B9[H]」である保留増加コマンド(図11参照)は、第2特別図柄表示手段36の変動動作の保留数に関する保留増加コマンドである。

40

【0075】

また、先読み保留変化予告の実行が禁止される場合にも、保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])のイベントデータが異ならされている。このイベントデータの値が、先読み情報(の一つ)として第1または第2の保留メモリ71,72(図7または図8参照)に格納される。

図12A~図12Dは、演出制御基板41の抽選表記憶部75(図7参照)に記憶されている先読み保留変化予告用の抽選表T1の一例を示す図である。先読み保留変化予告用

50

の抽選表 T 1 は、先読み保留変化予告抽選処理（図 2 8 参照）の際に用いられる（参照される）抽選表である。抽選表 T 1 は、先読み保留変化予告の保留態様変化パターンを決定するためのものである。この実施形態において、先読み保留変化予告の保留態様変化パターンは、各保留記憶数における保留表示 1 0 2（図 3 等参照）の保留表示態様の変化を規定している。図 1 2 A ~ 図 1 2 D に示す抽選表 T 1 では、先読み保留変化予告用として、たとえば合計 3 4 通りの保留態様変化パターンが用意されている。先読み保留変化予告が実行されない場合（先読み保留変化予告なし）も含めると、抽選表 T 1 を用いて、合計 3 5 通りの保留態様変化パターンが決定されることになる。

【 0 0 7 6 】

たとえば、図 1 2 A の一番右の欄に示す保留態様変化パターンの内容は、「保留 1（保 1）」、「保留 2（保 2）」、「保留 3（保 3）」および「保留 4（保 4）」が、それぞれ、「緑」、「青」、「青」および「白」である。この場合、その始動情報に対応する保留表示 1 0 2（図 3 等参照）は、「保留 4」の保留表示位置にあるときには「白」で表示され、「保留 4」の保留表示位置から「保留 3」の保留表示位置へのシフト移行時には、「白」から「青」に変化する。「保留 3」の保留表示位置から「保留 2」の保留表示位置へのシフト移行時には態様変化せず、「青」のまま維持（継続）される。そして、「保留 2」の保留表示位置から「保留 1」の保留表示位置へのシフト移行時には、「青」から「緑」に変化（昇格）する。

【 0 0 7 7 】

抽選表 T 1 では、変動パターン（図 9 参照）の種別（イベントデータ）毎に、先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。たとえば、一例を紹介すると、図 1 2 A に示すように、変動パターンの種別が通常変動（イベントデータの値が 0 2 [H]）であるときには、合計 3 3 0 1 個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち、「保留 1（保 1）」、「保留 2（保 2）」、「保留 3（保 3）」および「保留 4（保 4）」が、それぞれ、「青」、「白」、「白」および「白」となる保留保留態様変化パターンに、1 2 0 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「青」、「青」、「白」および「白」となる保留態様変化パターンに、9 0 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「青」、「青」、「青」および「白」となる保留態様変化パターンに、6 0 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「青」、「青」、「青」および「青」となる保留態様変化パターンに、3 0 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。そして、残りの 3 0 0 1 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が、先読み保留変化予告なしの保留態様変化パターン（「白」、「白」、「白」および「白」となる保留態様変化パターン）のパターンに割り当てられている。

【 0 0 7 8 】

このように、図 1 2 A からは、変動態様が通常変動である場合（イベントデータが 0 4 [H]）にも、保留表示 1 0 2（図 3 等参照）を「青」の保留表示態様に変化させる先読み保留変化予告が実行されることがわかる。すなわち、始動情報に対応する変動パターンの種別がリーチパターンであるか否かに拘らず、先読み保留変化予告が実行可能である、といえる。

【 0 0 7 9 】

図 1 3 A ~ 図 1 8 は、演出制御基板 4 1 の抽選表記憶部 7 5（図 7 参照）に記憶されている当該変動保留変化予告用の抽選表 T 2 ~ T 7 の一例を示す図である。当該変動保留変化予告用の抽選表 T 2 ~ T 7 は、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様に対応して設けられている。

【 0 0 8 0 】

図 1 3 A ~ 図 1 3 D に示す当該変動保留変化予告用の抽選表 T 2 は、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が「白」である場合の抽選表であり、図 1 4 A ~ 図 1 4 D に示す当該変動保留変化予告用の抽選表 T 3 は、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が「白点滅」である場合の抽選表である。図 1 5 A ~ 図 1 5 C に示す当該変動保留変化予告用の抽選表 T 4 は、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保

10

20

30

40

50

留表示態様が「青」である場合の抽選表であり、図16A～図16Cに示す当該変動保留変化予告用の抽選表T5は、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「緑」である場合の抽選表である。図17Aおよび図17Bに示す当該変動保留変化予告用の抽選表T6は、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「赤」である場合の抽選表であり、図18に示す当該変動保留変化予告用の抽選表T7は、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「デンジャー」である場合の抽選表である。

【0081】

当該変動保留変化予告用の抽選表T2～T7は、当該変動保留変化予告抽選処理（図31参照）の際に用いられる（参照される）抽選表である。抽選表T2～T7は、当該変動保留変化予告の保留態様変化パターンと対応付けられている。

10

この実施形態において、当該変動保留変化予告の保留態様変化パターンは、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様（最終色）と、保留表示態様変化シナリオ（シナリオ1～シナリオ7のいずれか）とを規定するものである。保留表示態様変化シナリオ（シナリオ1～シナリオ7のいずれか）は、保留表示態様変化回数（アップ回数）と、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）とによって特定される。

【0082】

保留表示態様変化シナリオが「シナリオ1」である場合、保留表示態様変化回数（アップ回数）は1回であり、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）は1回目の変動動作中（疑似1）である。保留表示態様変化シナリオが「シナリオ2」である場合、保留表示態様変化回数（アップ回数）は1回であり、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）はノーマルリーチ中（ノーマル中）である。保留表示態様変化シナリオが「シナリオ3」である場合、保留表示態様変化回数（アップ回数）は1回であり、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）はスーパーリーチ中（スーパー中）である。保留表示態様変化シナリオが「シナリオ4」である場合、保留表示態様変化回数（アップ回数）は2回であり、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）は、1回目の変動動作中（疑似1）およびノーマルリーチ中（ノーマル中）の双方である。保留表示態様変化シナリオが「シナリオ5」である場合、保留表示態様変化回数（アップ回数）は2回であり、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）は、1回目の変動動作中（疑似1）およびスーパーリーチ中（スーパー中）の双方である。保留表示態様変化シナリオが「シナリオ6」である場合、保留表示態様変化回数（アップ回数）は2回であり、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）は、ノーマルリーチ中（ノーマル中）およびスーパーリーチ中（スーパー中）の双方である。保留表示態様変化シナリオが「シナリオ7」である場合、保留表示態様変化回数（アップ回数）は3回であり、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）は、1回目の変動動作中（疑似1）、ノーマルリーチ中（ノーマル中）およびスーパーリーチ中（スーパー中）の各々である。

20

30

【0083】

換言すると、当該変動保留変化予告の保留態様変化パターンは、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様と、保留表示態様変化回数（アップ回数）と、保留表示態様変化のタイミング（アップタイミング）とのそれぞれと対応付けられている。

40

たとえば、図13Aの一番右の欄に示す保留態様変化パターンの内容は、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「赤」であり、保留表示態様変化シナリオが「シナリオ2」である。この場合、その始動情報に対応する当該変動保留表示104（図3等参照）の保留表示態様が、変動開始当初の「白」から、ノーマルリーチ中に「赤」に変化する。当該変動保留表示104の変化回数は1回である。

【0084】

また、たとえば、図13Cの一番右の欄に示す保留態様変化パターンの内容は、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「デンジャー」であり、保留表示態様変化シナリオが「シナリオ6」である。この場合、その始動情報に対応する当該変動保留表示104（図3等参照）の保留表示態様は、変動開始当初の「白」から、ノーマルリーチ中およ

50

びスーパーリーチ中にそれぞれ変化し、２段階で「デンジャー」に到達する。

【 0 0 8 5 】

抽選表 T 2 ~ T 7 では、変動パターンの種別（イベントデータ）毎に、先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。たとえば、一例を紹介すると、図 1 3 A ~ 図 1 3 D に示すように、変動パターンの種別がハズレのノーマルロング（イベントデータの値が 0 4 [H] ）であるときには、合計 3 3 0 1 個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のうち、当該変動保留表示 1 0 4 の最終の保留表示態様が「青」であり、かつ保留表示態様変化シナリオが「シナリオ1」である保留態様変化パターンに、2 0 0 個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、当該変動保留表示 1 0 4 の最終の保留表示態様が「緑」であり、かつ保留表示態様変化シナリオが「シナリオ1」である保留態様変化パターンに、1 5 0 個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。当該変動保留表示 1 0 4 の最終の保留表示態様が「緑」であり、かつ保留表示態様変化シナリオが「シナリオ2」である保留態様変化パターンに、1 5 0 個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、当該変動保留表示 1 0 4 の最終の保留表示態様が「緑」であり、かつ保留表示態様変化シナリオが「シナリオ4」である保留態様変化パターンに、1 0 0 個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。そして、残りの 2 7 0 1 個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が、当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン（ランクアップなし）に割り当てられている。

10

【 0 0 8 6 】

図 1 3 A ~ 図 1 8 に示すように、各抽選表 T 2 ~ T 7 では、変動態様が通常変動である場合（イベントデータが 0 2 [H] ）には、3 3 0 1 個全ての当該変動保留変化予告抽選用乱数が、当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン（ランクアップなし）に割り当てられている。すなわち、始動情報に対応する変動パターンの種別がリーチパターンである場合に限り、当該変動保留変化予告が実行可能である、といえる。

20

【 0 0 8 7 】

また、電源投入に伴い、電源投入状態を示す電圧レベル（たとえばオン状態）の電圧降下信号が主制御基板 4 0 に入力される。電圧降下信号が電源投入状態を示す電圧レベルであると、C P U 4 0 A は、払出制御基板 4 2 が正常に立ち上がったことを確認した後、電源基板から付与されている R A M クリア信号のレベルを判別し、R A M クリア信号が L レベルである場合は R A M 4 0 B の全領域を零クリアするとともに、R A M クリア信号が H レベルである場合は R A M 4 0 B に記憶されているバックアップデータの有効 / 無効を判別する。

30

【 0 0 8 8 】

これらの処理の実行完了に伴い、システムリセット処理が終了され、メイン処理（メインループの処理）を無限ループに入る。メイン処理の無限ループ中には、C P U 4 0 A を割込み禁止状態にセットした状態で、各種のカウンタについて更新処理を実行し、その実行終了後に C P U 4 0 A を割込許可状態に戻す。メイン処理の無限ループ中は、4msec毎に、マスク可能なタイマ割込処理が実行される。よ

詳しくは、C P U 4 0 A では、当該 C P U 4 0 A が割込許可状態にあることを条件に、4msec毎にメイン処理が中断され、タイマ割込処理が実行される。

40

【 0 0 8 9 】

図 1 9 は、主制御基板 4 0 におけるタイマ割込処理の流れを示すフローチャートである。タイマ割込処理について、図 4、図 6 および図 1 9 を参照しつつ説明する。

タイマ割込処理が開始されると、C P U 4 0 A のレジスタを保存することなく、速やかに異常電源チェック処理が実行される（ステップ S 1）。異常電源チェック処理では、主制御基板 4 0 に接続された電源基板 5 3 から主制御基板 4 0 に供給されている電圧降下信号のレベルが判定される。この電圧降下信号のレベルが電源遮断を示すレベルであることが一または複数回のタイマ割込処理に跨って検出されると、その後バックアップ処理に移行する。

【 0 0 9 0 】

50

一方、電圧降下信号が電源遮断を示さないレベルであることが判定された場合は、遊技動作の時間を管理している各タイマについて、タイマの更新（減算）が行われる（S2：タイマ管理処理）。

次いで、入力管理処理が実行される（ステップS3）。入力管理処理は、パチンコ機1に設けられた各種センサの検出出力の内容（たとえば、各種検出センサがオンオフ信号を出力する場合にはオン状態かオフ状態か）を記憶したり、その信号に基づくデータを定期的に更新したりする処理である。各種センサとして、たとえば第1および第2特別図柄始動口入球センサ46、47、普通ゲート通過センサ48ならびに大入賞口入球センサ49等を例示することができる。

【0091】

10

次いで、後述する普通図柄管理処理（ステップS7）における普通図柄判定で使用される当り判定用乱数カウンタ（図示しない）の値や、後述する第1および第2特別図柄管理処理（ステップS9、S10）における大当り判定用乱数判定処理で使用される大当り判定用乱数カウンタ（図示しない）の値が更新される（S4：タイマ割込内乱数管理処理）。

次いで、賞球払出装装置56に遊技球を供給するための球供給機構（図示しない）に対する遊技球の補給停止の有無や遊技球の詰まりの有無を判定するエラー管理処理が行われる（ステップS5）。このエラー管理処理では、パチンコ機1内部の異常発生の有無も判定されるようになっている。

【0092】

20

次いで、入賞口（たとえば、第1および第2特別図柄始動口26、27ならびに大入賞口30）への入球（入賞）に対し、入賞情報の確認および制御コマンドの作成を行う賞球管理処理が行われる（ステップS6）。賞球管理処理では、各入賞口26、27、30に関連して設けられた入球センサ46、47、49の検出出力が主制御基板40に入力されると、主制御基板40のCPU40Aが、これらの検出出力に基づいて、払出個数を賞球払出装装置56に指示するための制御コマンドを作成する。

【0093】

なお、このとき、主制御基板40に設けられた、大入賞口30への入賞を無効とする状態であることを表す大入賞口入賞無効フラグ（図示しない）の値が5A[H]であれば、大入賞口30の入賞による賞球払出しのための制御信号が送信されず、払出しは行われない。

30

次いで、普通図柄管理処理が行われる（ステップS7）。普通図柄管理処理では、電動チューリップ役物28を拡開動作させるか否かを判定する普通図柄判定処理（前述の普通図柄抽選と同等）が実行される。より詳しくはステップS4のタイマ割込内乱数管理処理によって更新された普通図柄判定用乱数カウンタ（図示しない）から取得された普通図柄判定用乱数の値を普通図柄当り数値と対比する。

【0094】

そして、電動チューリップ役物28の拡開動作が判定された場合には、電動チューリップ役物28の拡開動作に向けた処理が実行されるとともに、その後、電動チューリップ役物28の拡開動作を実現するための処理が実行される（S8：普通電動役物管理処理）。普通電動役物管理処理では、次いで、電動チューリップ役物28の拡開動作が実行される。電動チューリップ役物28の拡開動作の実行時間は減算タイマからなる普通電動役物タイマ（図示しない）によって合計時されており、この普通電動役物タイマの値が零になるまで、この拡開動作の実行が継続される。

40

【0095】

次いで、第1特別図柄管理処理が行われる（ステップS9）。この第1特別図柄管理処理では、第1特別図柄始動口26への入球に伴う一連の抽選処理が実行される。

第1特別図柄管理処理（S9）の終了後、次いで、第2特別図柄管理処理が行われる（ステップS10）。この第2特別図柄管理処理では、第2特別図柄始動口27への入球に伴う一連の抽選処理が実行される。

50

【 0 0 9 6 】

第 1 特別図柄管理処理に含まれる大当たり判定用乱数判定処理において大当たりであると判定された場合には、その後、大入賞口 3 0 の開放動作（大入賞口開閉役物 3 1 の開閉動作）に向けた処理が実行され、その後大入賞口 3 0 の開放動作を実現するための処理が実行される（S 1 1：特別電動役物管理処理）。

次いで、主制御基板 4 0 で管理する所定のランプ（遊技ランプ 9 1 等）に点灯動作や消灯動作を行わせるランプ管理処理が実行される（ステップ S 1 2）。

【 0 0 9 7 】

次いで、それぞれソレノイドからなる大入賞口開閉機構 5 2 を管理するソレノイド管理処理が実行される（ステップ S 1 3）。

次いで、C P U 4 0 A を割込み許可状態に戻した後（ステップ S 1 4）、タイマ割込処理を終える。これにより、タイマ割込処理のルーチンを脱し、無限ループのメイン処理（システムリセット処理）が実行される。このメイン処理では、電圧異常の監視とタイマ割込処理の有無の監視との確認が行われる。

【 0 0 9 8 】

次いで、図 1 9 の普通図柄管理処理（S 7）および普通電動役物管理処理（S 8）について、図 5 を参照して具体的に説明する。R A M 4 0 B には、普通図柄始動メモリ（図示しない）が設けられている。普通図柄始動メモリは、普通図柄判定用乱数を最大でたとえば 5 つまで記憶可能である。具体的には、普通図柄始動メモリには、普通図柄判定用乱数を記憶するための記憶領域が 5 つ設けられている。これらの記憶領域を、それぞれエリア 0、エリア 1、エリア 2、エリア 3、エリア 4 ということにする。

【 0 0 9 9 】

エリア 1～エリア 4 の 4 つの領域は、実行が保留されている普通図柄判定用乱数を記憶するための領域である。エリア 1～エリア 4 を総称する場合には、「保留データ用領域」ということとする。普通図柄ゲート 3 4 を遊技球が通過したときには、普通図柄始動メモリ内の保留データ用領域に、普通図柄判定用乱数が記憶される。具体的にはエリア 1 が空であればエリア 1 に普通図柄判定用乱数が記憶され、エリア 1 が空でなくエリア 2 が空であればエリア 2 に普通図柄判定用乱数が記憶され、エリア 1 およびエリア 2 が空でなくエリア 3 が空であればエリア 3 に普通図柄判定用乱数が記憶され、エリア 1～エリア 3 が空でなくエリア 4 が空であればエリア 4 に普通図柄判定用乱数が記憶される。エリア 0 は、実行対象となっている普通図柄判定用乱数を記憶するための領域である。

【 0 1 0 0 】

普通図柄始動メモリ内のエリア 1～エリア 4 のうち、少なくともエリア 1 に普通図柄判定用乱数が記憶されている場合には、電動チューリップ役物 2 8 が拡開動作中でないことを条件として、エリア 1～エリア 4 の記憶内容が、エリア 0～エリア 3 にそれぞれ移行されるとともに、エリア 4 が空にされる。そして、エリア 0 に移行された普通図柄判定用乱数の判定が実行される。

【 0 1 0 1 】

具体的には、その普通図柄判定用乱数値と普通図柄当たり数値とに基づいて普通図柄抽選が実行されるとともに、その抽選結果に応じた普通図柄表示手段 3 7 の変動動作が実行される。そして、普通図柄抽選に当選すると、普通図柄表示手段 3 7 における変動動作の終了後、電動チューリップ役物 2 8 が拡開する。これにより、第 2 特別図柄始動口 2 7 が開放する。

【 0 1 0 2 】

なお、R A M 4 0 B の普通図柄始動メモリに対する普通図柄判定用乱数値の格納に代えて、取得した普通図柄判定用乱数値と普通図柄当たり数値とに基づく普通図柄抽選の結果自体を格納するようにしてもよい。

図 2 0 は、図 1 9 の第 1 特別図柄管理処理（S 9）の流れを示すフローチャートである。第 1 特別図柄管理処理において、C P U 4 0 A は、まず、第 1 特別図柄始動口チェック処理を行う（ステップ S 2 1）。図 2 1 は、第 1 特別図柄始動口チェック処理の流れを示

10

20

30

40

50

すフローチャートである。以下、図5、図20および図21を参照しながら説明する。

【0103】

図21において、第1特別図柄始動口チェック処理(S21)では、第1特別図柄始動口26に遊技球が入球(入賞)したか否かが判別される(ステップS31)。この判別は、第1特別図柄始動口入球センサ38の検出出力に基づいて実行される。第1特別図柄始動口26に遊技球が入球したと判別された場合には(ステップS31でYES)、第1の始動保留カウンタ63の値(第1特別図柄保留球数)が所定の保留球数上限値(第1特別図柄保留球数MAX。たとえば4)に達している否かが判別される(ステップS32)。

【0104】

第1の始動保留カウンタ63の値が保留球数上限値(特別図柄保留球数MAX)に達していない場合には(ステップS32でNO)、すなわち、第1の始動保留カウンタ63の値が3以下であれば、第1の始動保留カウンタ63の値が1だけインクリメント(+1)される(ステップS33)。

また、始動情報(乱数)が取得されて、第1の始動情報記憶部61(図示しない)内の保留データ用領域に記憶される(ステップS34)。具体的には、CPU40Aは、大当り判定用乱数カウンタ(図示しない)から大当り判定用乱数を取得するとともに、特別図柄用乱数カウンタ(図示しない)から特別図柄用乱数を取得し、大当り判定用乱数および特別図柄用乱数を第1の始動情報記憶部61内の保留データ用領域に格納する。また、CPU40Aは、第1変動パターン用乱数カウンタ(図示しない)から第1変動パターン用乱数を取得するとともに、第2変動パターン用乱数カウンタ(図示しない)から第2変動パターン用乱数を取得し、第1および第2変動パターン用乱数を、第1の始動情報記憶部61内の保留データ用領域に格納する。さらに、CPU40Aは、保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])(前述の制御コマンドの一種)を演出制御基板41に向けて送信する(ステップS35)。その後、図20のステップS22に移行する。

【0105】

なお、第1の始動情報記憶部61に対する大当り判定用乱数の格納に代えて、取得した大当り判定用乱数を予め定める大当り数値と比較判定することによる大当り抽選の結果自体を格納するようにしてもよい。

ステップS31で第1特別図柄始動口26に遊技球が入球したと判別されなかった場合(ステップS31でNO)、またはステップS32で第1の始動保留カウンタ63の値が保留球数上限値(保留球数MAX)に達していると判別された場合(ステップS32でYES)には、そのまま図20のステップS22に移行する。

【0106】

図20に戻り、ステップS22では、CPU40Aは、RAM40B内に設けられた小当り中フラグの値を参照して、パチンコ機1が小当り遊技中であるか否かを調べる。

【0107】

このパチンコ機1では、小当り遊技が実行されているときには、小当り中フラグ(2バイト構成)の値がたとえば5A[H]に設定され、小当り遊技が実行されていないときには、小当り中フラグのフラグ値がたとえば00[H]に設定されているようになっている。

ステップS23では、CPU40Aは、RAM40B内に設けられた条件装置作動フラグの値を参照して、パチンコ機1が特別遊技状態の実行中であるか否かを調べる。

【0108】

このパチンコ機1では、特別遊技状態が実行されているときには、条件装置作動フラグ(2バイト構成)の値がたとえば5A[H]に設定され、特別遊技状態が実行されていないときには、条件装置作動フラグのフラグ値がたとえば00[H]に設定されているようになっている。

パチンコ機1が小当り遊技の実行中または特別遊技状態の実行中である場合には(ステップS22またはS23でYES)、ステップS29に移行する。ステップS29では、第1特別図柄表示手段35の表示に用いられる第1特別図柄表示データの更新処理が実行

される。そして、図 19 のステップ S 10 に移行する。

【 0 1 0 9 】

一方、パチンコ機 1 が小当り遊技の実行中でなく、かつ特別遊技状態の実行中でない場合には（ステップ S 22 および S 23 で NO）、第 1 特別図柄動作ステータスが判別される。第 1 特別図柄動作ステータスの値が、第 1 特別変動動作が停止中であることを示す値（たとえば 00 [H] または「01 [H]」）である場合（所定の開始条件が成立）には（ステップ S 24 で YES）、CPU 40A は第 1 特別図柄変動開始処理を実行する（ステップ S 26）。

【 0 1 1 0 】

ステップ S 26 の第 1 特別図柄変動開始処理では、第 2 の始動保留カウンタ 64 の値や第 2 特別図柄動作ステータスの値が判別され、第 2 の始動保留カウンタ 64 の値が零であり、かつ第 2 特別図柄動作ステータスの値が零であれば、第 1 の始動保留カウンタ 63 の値が零であるか否かが判別される。第 1 の始動保留カウンタ 63 の値が零である場合には、第 1 特別図柄動作ステータスの値が 00 [H] に設定されている。そして、第 1 特別図柄表示データの更新処理（S 29）が行なわれた後、図 19 のステップ S 10 に移行する。

【 0 1 1 1 】

第 1 の始動保留カウンタ 63 の値が零でないとき（1 以上のとき）には、第 1 特別図柄の変動動作を開始させるための処理が実行される。すなわち、第 1 の始動保留カウンタ 63 の値が 1 だけデクリメント (-1) されるとともに、第 1 の始動情報記憶部 61 内の保留データ用領域（エリア 1～エリア 4）の内容が、それぞれエリア 0～エリア 3 に移行される。これにより、第 1 の始動情報記憶部 61 内のエリア 1 に記憶されていた始動情報が実行データ用領域（エリア 0）に記憶される。その後、第 1 の始動情報記憶部 61 内のエリア 4 の内容が空にされる。

【 0 1 1 2 】

そして、第 1 の始動情報記憶部 61 内の実行データ用領域に記憶された始動情報に含まれる大当り判定用乱数の値と大当り数値とが比較されることにより、特別遊技状態が実行される大当りか否かが判定される（大当り判定）。

【 0 1 1 3 】

そして、第 1 の始動情報記憶部 61 内の実行データ用領域に記憶された始動情報に含まれる大当り判定用乱数の値と大当り数値とが比較されることにより、特別遊技状態が実行される大当りか否かが判定される（大当り判定）。

大当り判定が行なわれた場合には、大当り判定の結果および始動情報に含まれる第 1 特別図柄用乱数の値に基づいて、第 1 特別変動動作の後に第 1 特別図柄表示手段 35 に停止表示すべき第 1 特別図柄が決定される。また、大当り判定の結果ならびに始動情報に含まれる第 1 および第 2 変動パターン用乱数の値に基づいて、液晶表示ユニット 24 における演出図柄の変動動作の態様である変動パターンが決定される。主制御基板 40 において決定された変動パターンは、変動パターンコマンド（A0** [H]）を介して演出制御基板 41 に付与される。演出制御基板 41 は、変動パターンコマンド（A0** [H]）のイベントデータから変動パターンを読み出し、具体的な変動内容を決定する。その後、液晶表示ユニット 24 において、演出図柄の変動動作が開始される。

【 0 1 1 4 】

さらに、第 1 特別図柄の変動時間等を計時するための第 1 特別図柄動作タイマ（図示しない）に変動時間がセットされる。第 1 特別図柄動作タイマは、減算型のタイマである。また、第 1 特別図柄動作ステータスの値が、第 1 特別変動動作が開始されたことを示す値（たとえば「02 [H]」）に設定される。第 1 特別図柄変動開始処理が終了すると、ステップ S 29 に移行し、第 1 特別図柄表示データの更新処理が実行される。そして、図 19 のステップ S 3 に移行する。

【 0 1 1 5 】

ステップ S 24 において、第 1 特別図柄動作ステータスの値が、第 1 特別変動動作が停

10

20

30

40

50

止中であることを示す値（たとえば「00[H]」または「01[H]」）でないと判別された場合には（ステップS24でNO）、第1特別図柄動作ステータスの値が、第1特別変動動作が開始されたことを示す値（たとえば「02[H]」）であるか否かが判別される（ステップS25）。

【0116】

第1特別図柄動作ステータスの値が、第1特別図柄の変動動作が開始されたことを示す値（たとえば「02[H]」）であると判別された場合には（ステップS25でYES）、CPU40Aは第1特別図柄変動中処理を実行する（ステップS27）。

第1特別図柄変動中処理においては、第1特別図柄動作タイマの値が零になったか否かが常に監視されている。そして、第1特別図柄動作タイマの値が零になると、第1特別変動動作を停止させる処理が実行されるとともに、第1特別図柄動作タイマに所定時間（たとえば500msec）がセットされる。また、第1特別図柄動作ステータスの値が、第1特別変動動作を停止すべき状態になったことを示す値（たとえば「03[H]」）に設定される。第1特別図柄変動中処理が終了すると、ステップS29に移行し、第1特別図柄表示データの更新処理が実行される。そして、図19のステップS10に移行する。

【0117】

ステップS25において、第1特別図柄動作ステータスの値が、第1特別変動動作が開始されたことを示す値（たとえば「02[H]」）でないと判別された場合には（ステップS25でNO）、CPU40Aは、第1特別図柄動作ステータスの値が、第1特別図柄変動中処理において第1特別変動動作を停止すべき状態になったことを示す値（たとえば「03[H]」）であると判断し、第1特別図柄確認時間中処理を実行する（ステップS28）。

【0118】

第1特別図柄確認時間中処理においては、第1特別図柄動作タイマの値が零になったか否かが常に監視されている。そして、第1特別図柄動作タイマの値が零になると、第1特別図柄動作ステータスの値が「01[H]」に設定される等の処理が行われる。なお、大当たり判定の結果が大当たりの場合には、前述した条件装置作動フラグの値が5A[H]に設定される。また、大当たり判定の結果が小当たりの場合には、前述した小当たり中フラグの値が5A[H]に設定される。第1特別図柄確認時間中処理が終了すると、ステップS29に移行し、第1特別図柄表示データの更新処理が実行される。そして、図19のステップS10に移行する。第1特別図柄確認時間中処理において、条件装置作動フラグの値が5A[H]に設定された場合には、図19のステップS11の特別電動役物管理処理では、特別遊技状態を実現させるための処理が実行される。

【0119】

図19に戻って、ステップS10に示す第2特別図柄管理処理は、次に述べる相違点を除いて、第1特別図柄管理処理（S9。図20参照）と同等の処理である。第2特別図柄管理処理では、第1特別図柄管理処理についての前述の説明において、第1特別図柄と第2特別図柄とを入れ替えた内容の処理が実行される（図20および図21に括弧書きで示す）。

【0120】

前記の相違点は、第2特別図柄変動開始処理において、第2の始動保留カウンタ64の値が零であれば、第1の始動保留カウンタ63や第1特別図柄動作ステータスの値に拘らず、第2特別図柄動作ステータスの値が00[H]に設定されている点である。すなわち、パチンコ機1では、第2特別図柄の変動動作が、第1特別図柄の変動動作に優先して実行される。

【0121】

図22は、図19の特別電動役物管理処理（S11）の流れを示すフローチャートである。図2、図5および図22を参照しつつ、特別電動役物管理処理について説明する。

特別電動役物管理処理において、まず、CPU40Aは小当たり中フラグの値および条件装置作動フラグの値を参照する（ステップS41、S43）。そして、小当たり中フラグの

10

20

30

40

50

値が5 A [H] である場合 (ステップ S 4 1 で Y E S) 、 C P U 4 0 A は小当り遊技を実行し (ステップ S 4 2) 、特別電動役物管理処理はその後リターンされる。

【 0 1 2 2 】

また、小当り中フラグおよび条件装置作動フラグの値がいずれも 0 0 [H] である場合 (ステップ S 4 1 で N O かつステップ S 4 3 で N O) 、特別電動役物管理処理はそのままリターンされる。

一方、条件装置作動フラグの値が5 A [H] である場合 (ステップ S 4 3 で Y E S) 、特別遊技状態を実行するために、次いで、C P U 4 0 A は、実行中の特別遊技状態の動作状況を示すための特別電動役物動作ステータス (図示しない) の値を参照する (ステップ S 4 4 ~ S 4 7) 。

10

【 0 1 2 3 】

特別電動役物動作ステータスは、たとえば 0 0 [H] (大当り開始) 、 「 0 1 [H] 」 (特別電動役物動作開始中) 、 「 0 2 [H] 」 (特別電動役物動作中) 、 「 0 3 [H] 」 (特別電動役物動作継続判定中) および 「 0 4 [H] 」 (大当り終了中) の値を示し、特別遊技状態の進行度合いが進むにつれて、その値が大きくなる。

特別電動役物動作ステータスの値がたとえば 0 0 [H] である場合 (ステップ S 4 4 で Y E S) 、C P U 4 0 A は、ファンファーレ等の実行等、特別遊技状態を開始するための大当り開始処理を実行する (ステップ S 4 8) 。また、特別電動役物動作ステータスの値が 「 0 1 [H] 」 であると (ステップ S 4 5 で Y E S) 、C P U 4 0 A は、大入賞口開閉役物 3 1 の開閉動作を開始するための特別電動役物動作開始処理を実行する (ステップ S 4 9) 。また、特別電動役物動作ステータスの値が 「 0 2 [H] 」 であると (ステップ S 4 6 で Y E S) 、C P U 4 0 A は、大入賞口開閉役物 3 1 の開閉動作を実行するための特別電動役物動作中処理を実行する (ステップ S 5 0) 。また、特別電動役物動作ステータスの値がたとえば 「 0 3 [H] 」 であると (ステップ S 4 7 で Y E S) 、C P U 4 0 A は、大入賞口開閉役物 3 1 の開閉動作を継続するか否か (次のラウンドに移行するか否か) の特別電動役物動作継続判定処理を実行する (ステップ S 5 1) 。また、特別電動役物動作ステータスの値がたとえば 「 0 4 [H] 」 である場合 (ステップ S 4 7 で N O) 、C P U 4 0 A は、特別遊技状態を終了するための大当り終了処理を実行する (ステップ S 5 2) 。ステップ S 4 8 ~ S 5 2 の各処理の後、特別電動役物管理処理はリターンされて、図 1 9 のステップ S 1 2 のランプ管理処理に移行する。

20

30

【 0 1 2 4 】

図 2 3 ~ 図 2 6 は、液晶表示ユニット 2 4 の表示内容の一例を示す図である。図 2 3 ~ 図 2 6 を参照しつつ、当該変動保留変化予告について、より具体的に説明する。

当該変動保留変化予告では、当該変動保留変化予告に関連してカード予告 (第 1 特別演出) が実行される。この実施形態において、カード予告は、期待度示唆カードおよび / または保留態様変化カードを使用した予告であり、期待度示唆カードおよび / または保留態様変化カードが、1 回または複数回連続して出現する。この実施形態では、1 回のカード予告において使用されるカードの上限を 3 枚 (すなわち 1 回のカード予告における予告回数は上限 3 回) としている。期待度示唆カードは、プレミアカード 1 1 1 (図 3 3 (a) 参照) および期待度示唆低カード 1 1 2 (図 3 3 (b) 参照) を含む。プレミアカード 1 1 1 は、大当り信頼度が極めて高う旨を告知または示唆するカードである。期待度示唆低カード 1 1 2 は、大当り信頼度が高いものの、プレミアカード 1 1 1 の大当り信頼度よりも低い旨を告知または示唆するカードである。保留態様変化カードは、図 2 3 (c) に示すランクアップ (R A N K U P) カード 1 1 3 を含む。ランクアップカード 1 1 3 は、当該変動保留変化予告において当該変動保留表示 1 0 4 の態様変化 (ランクアップ (昇格)) の実行を告知するカードである。1 回のカード予告において、期待度示唆カードおよび保留態様変化カードの出現枚数 (回数) は、それぞれ 2 回を上限としている。

40

【 0 1 2 5 】

図 2 3 ~ 図 2 6 では、当該変動保留変化予告における当該変動保留表示 1 0 4 の態様変化 (ランクアップ (昇格)) が、演出図柄の変動動作中、ノーマルリーチ中およびスーパ

50

ーリーチ中の合計3回実行される場合の演出図柄の変動動作を例に挙げて説明する。各当該変動保留変化予告の実行に先立ってカード予告が実行される。そのため、図23～図26の例では、カード予告は、当該変動保留変化予告と同様、演出図柄の変動動作中、ノーマルリーチ中およびスーパーリーチ中の合計3回実行される。

【0126】

全ての演出図柄の変動動作中の開始後(図23(a))、1回目のカード予告が実行される。カード予告では、カード予告の実行を予告するためのカード予告事前演出が行われる。図23(b)に示すように、カード予告事前演出は、予告内容を隠した状態の隠蔽カード114を液晶表示ユニット24に出現させる演出である。隠蔽カード114が出現してから所定時間の経過後、隠蔽カード114の内容が明かされる演出が行われる。図23(c)では、隠蔽カード114の内容は、ランクアップカード113である。ランクアップカード113の表示後、変動開始変動開始当初「白」であった当該変動保留表示104の保留表示態様が、図24(a)に示すように、たとえば「青」に変化(昇格)する。

10

【0127】

その後、リーチが成立し、ノーマルリーチの演出が実行される。ノーマルリーチの演出中において、図24(b)に示すように、液晶表示ユニット24に隠蔽カード114が再度出現する。隠蔽カード114が出現してから所定時間の経過後、隠蔽カード114の内容が明かされる演出が行われる。図24(c)では、隠蔽カード114の内容は、ランクアップカード113である。ランクアップカード113の表示後、それまで「青」であった当該変動保留表示104の保留表示態様が、図25(a)に示すようにたとえば「赤」に変化(昇格)する。

20

【0128】

その後、ノーマルリーチの演出からスーパーリーチの演出に発展する。ノーマルリーチの演出中において、図25(b)に示すように、液晶表示ユニット24に隠蔽カード114が再度出現する。隠蔽カード114が出現してから所定時間の経過後、隠蔽カード114の内容が明かされる演出が行われる。図25(c)では、隠蔽カード114の内容は、プレミアカード111である。プレミアカード111の表示後、たとえば図26(a)に示すように、液晶表示ユニット24において極めて大当たり信頼度の高いプレミア演出が実行される。

【0129】

また、カード予告に併せて/代えて、当該変動保留変化予告に関連して先読みカード予告が行われることもある。先読みカード予告は、カード予告と同様、期待度示唆カードおよび/または保留態様変化カードを使用した予告である。先読みカード予告が、カード予告と異なる点は、カード予告の実行を予告するためのカード予告事前演出を、その演出図柄の変動開始前から開始する点である。先読みカード予告には、カードを2枚以上用いる複数カード予告(図26(b)参照)と、演出操作ボタン(たとえば第1演出操作ボタン13)の操作に応じて演出を発展させるボタン付きカード予告と、演出操作ボタン(たとえば第1演出操作ボタン13)の連続操作(連射押)に応じて演出を発展させる連打カード予告とが用意されている。

30

【0130】

なお、前述の説明では、当該変動保留変化予告の実行時には必ずカード予告を併せて実行させるものとして説明したが、選択的にカード予告を実行させるものであってもよい。

図27は、保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])の受信時における演出制御基板41の処理の流れを示すフローチャートである。図28は、図27の先読み保留変化予告抽選処理(S65)の内容を示すフローチャートである。図29は、図27の先読みカード予告抽選処理(S66)の内容を示すフローチャートである。以下、図5、図7および図27～図29を参照しつつ説明する。

40

【0131】

主制御基板40からの保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])を演出制御基板41が受信すると、CPU41Aは、保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])のモー

50

ドデータの値、およびイベントデータ（先読み情報）をそれぞれ参照（ステップS 6 1）し、イベントデータの内容を確認する。

イベントデータの内容が先読み禁止情報である場合を除き（ステップS 6 2でYES）、CPU 4 1 Aは、保留加算コマンド（B2**[H]～B9**[H]）からイベントデータを取り出し、その保留加算コマンド（B2**[H]～B9**[H]）のモードデータの値に基づいて、取り出したイベントデータを第1または第2の保留メモリ7 1, 7 2に格納する（ステップS 6 3）。イベントデータの内容が先読み禁止情報である場合には（ステップS 6 2でYES）、図2 7に示す処理は、その後そのままリターンされる。

【0 1 3 2】

具体的には、B2[H]のモードデータを有する保留加算コマンド（B2**[H]。図1 0参照）に含まれるイベントデータ（先読み情報）は、第1先読み記憶エリアM 1 1に記憶される。B3[H]のモードデータを有する保留加算コマンド（B3**[H]。図1 0参照）に含まれるイベントデータ（先読み情報）は、第2先読み記憶エリアM 1 2に記憶される。B4[H]のモードデータを有する保留加算コマンド（B4**[H]。図1 0参照）に含まれるイベントデータ（先読み情報）は、第3先読み記憶エリアM 1 3に記憶される。B5[H]のモードデータを有する保留加算コマンド（B5**[H]。図1 0参照）に含まれるイベントデータ（先読み情報）は、第4先読み記憶エリアM 1 4に記憶される。

【0 1 3 3】

また、具体的には、B6[H]のモードデータを有する保留加算コマンド（B6**[H]。図1 1参照）に含まれるイベントデータ（先読み情報）は、第1先読み記憶エリアM 2 1に記憶される。B7[H]のモードデータを有する保留加算コマンド（B7**[H]。図1 1参照）に含まれるイベントデータ（先読み情報）は、第2先読み記憶エリアM 2 2に記憶される。B8[H]のモードデータを有する保留加算コマンド（B8**[H]。図1 1参照）に含まれるイベントデータ（先読み情報）は、第3先読み記憶エリアM 2 3に記憶される。B9[H]のモードデータを有する保留加算コマンド（B9**[H]。図1 1参照）に含まれるイベントデータ（先読み情報）は、第4先読み記憶エリアM 2 4に記憶される。

【0 1 3 4】

次いで、先読み保留変化予告フラグ7 6の値が調べられる（ステップS 6 4）。先読み保留変化予告フラグ7 6の値が0 0[H]であるとき（ステップS 6 4でNO）、すなわち先読み保留変化予告の非実行時であるときには、次いで、CPU 4 1 Aは、先読み保留変化予告抽選処理（ステップS 6 5）および先読みカード予告抽選処理（ステップS 6 6）をそれぞれ実行する。その後、図2 7に示す処理はリターンされる。一方、先読み保留変化予告フラグ7 6の値が5 A[H]であるとき（ステップS 6 4でYES）、図2 7に示す処理は、その後そのままリターンされる。

【0 1 3 5】

図2 8に示すように、ステップS 6 5の先読み保留変化予告抽選処理では、CPU 4 1 Aは、先読み保留変化予告抽選用の抽選表T 1を参照しつつ（ステップS 7 1）、先読み保留変化予告抽選を実行する（ステップS 7 2）。具体的には、演出制御基板4 1の先読み保留変化予告抽選用乱数発生部（図示しない）から取得した先読み保留変化予告抽選用乱数を、先読み保留変化予告抽選用の抽選表T 1に割り当てられている先読み保留変化予告決定用数値と比較する。前述のように、先読み保留変化予告抽選用の抽選表T 1では、先読み保留変化予告当選用の先読み保留変化予告抽選用乱数は、保留態様変化パターンと対応付けられており、先読み保留変化予告当選用の先読み保留変化予告決定用数値が特定されると、保留態様変化パターンが自ずと決まる。そのため、CPU 4 1 Aは、先読み保留変化予告抽選用乱数を、先読み保留変化予告抽選用の抽選表T 1と比較することにより、先読み保留変化予告を実行するか否かだけでなく、先読み保留変化予告を実行する場合の保留態様変化パターンも決定する。先読み保留変化予告を実行すると決定された（先読み保留変化予告抽選に当選した）場合（ステップS 7 3でYES）、CPU 4 1 Aは、先読み保留変化予告フラグ7 6の値を5 A[H]に設定する（ステップS 7 4）と共に、決定した保留態様変化パターンの種別と、この先読み保留変化予告の終了までの残りの変動

10

20

30

40

50

回数とを、保留態様変化パターン記憶部 77 に記憶する (ステップ S 75)。その後、先読み保留変化予告抽選処理はリターンされる。

一方、先読み保留変化予告抽選に外れた場合 (ステップ S 73 で NO)、先読み保留変化予告抽選処理はそのままリターンされる。

【0136】

なお、先読み保留変化予告抽選によって決定された保留態様変化パターンを、保留態様変化パターン記憶部 77 に記憶するものとして説明したが、決定された保留態様変化パターンを、第 1 または第 2 の保留カウンタ 73, 74 に記憶するようにしてもよい。

図 29 に示すように、先読みカード予告抽選処理では、CPU 41A は、先読みカード予告抽選用の抽選表 (図示しない) を参照しつつ (ステップ S 81)、先読みカード予告抽選を実行する (ステップ S 82)。前述のように、先読みカード予告には、複数カード予告と、ボタン付きカード予告と、連打カード予告とが用意されている。具体的には、先読みカード予告抽選 (S 82) では、CPU 41A は、演出制御基板 41 の先読みカード予告抽選用乱数発生部 (図示しない) から取得した先読みカード予告抽選用乱数を、先読みカード予告抽選用の抽選表 (図示しない) に割り当てられている先読みカード予告決定用数値と比較することにより、先読みカード予告を実行するか否かと共に、先読みカード予告を実行する場合の先読みカード予告の種類も決定する。

【0137】

具体的には、先読みカード予告抽選 (S 82) において、複数カード予告に当選した場合 (ステップ S 83 で YES) には、その後に複数カード予告を実行すべく、CPU 41A は、複数カード予告実行用のフラグ (図示しない) を RAM 41B にセットする (ステップ S 86)。先読みカード予告抽選 (S 82) において、ボタン付きカード予告に当選した場合 (ステップ S 84 で YES) には、その後にボタン付きカード予告を実行すべく、CPU 41A は、ボタン付きカード予告実行用のフラグ (図示しない) を RAM 41B にセットする (ステップ S 86)。先読みカード予告抽選 (S 82) において、連打カード予告に当選した場合 (ステップ S 85 で YES) には、その後に連打カード予告を実行すべく、CPU 41A は、複数カード予告実行用のフラグ (図示しない) を RAM 41B にセットする (ステップ S 86)。その後、先読みカード予告抽選処理はリターンされる。

【0138】

図 27 に戻り、その後、CPU 41A は、保留数表示部 101, 121 (図 3 等参照) の表示を更新する。すなわち、受信した保留加算コマンド (B2**[H] ~ B9**[H]) に対応する保留表示 102 が新たに表示される (ステップ S 67)。CPU 41A は、保留態様変化パターン記憶部 77 に記憶された保留態様変化パターンの内容に基づいて、液晶表示ユニット 24 の保留数表示部 101, 121 の各保留表示 102 を更新表示する。たとえば、その保留加算コマンド (B2**[H] ~ B9**[H]) に関して決定された保留態様変化パターンの内容が、「保留1 (保1)」、「保留2 (保2)」、「保留3 (保3)」および「保留4 (保4)」が、それぞれ、「緑」、「青」、「青」および「白」である場合を例に挙げて説明すると、受信した保留増加コマンドが、保留増加によって保留数が「1」になる保留増加コマンド (B2**[H]、B6**[H]) である場合、液晶表示ユニット 24 の保留数表示部 101, 121 の「保留1 (保1)」の保留表示位置に、保留表示 102 が「緑」の保留表示態様で表示される。受信した保留増加コマンドが、保留増加によって保留数が「2」になる保留増加コマンド (B3**[H]、B7**[H]) である場合、液晶表示ユニット 24 の保留数表示部 101, 121 の「保留2 (保2)」の保留表示位置に、保留表示 102 が「青」の保留表示態様で表示される。受信した保留増加コマンドが、保留増加によって保留数が「3」になる保留増加コマンド (B4**[H]、B8**[H]) である場合、液晶表示ユニット 24 の保留数表示部 101, 121 の「保留3 (保3)」の保留表示位置に、保留表示 102 が「青」の保留表示態様で表示される。受信した保留増加コマンドが、保留増加によって保留数が「4」になる保留増加コマンド (B5**[H]、B9**[H]) である場合、液晶表示ユニット 24 の保留数表示部 101, 121 の「保留4 (保4)」の

保留表示位置に、保留表示 1 0 2 が「白」の保留表示態様で表示される。

【 0 1 3 9 】

図 3 0 は、変動パターンコマンド (A0** [H]) の受信時における演出制御基板 4 1 の処理の流れを示すフローチャートである。図 3 1 は、当該変動保留変化予告抽選処理の流れを示すフローチャートである。図 3 2 は、カード予告抽選処理の流れを示すフローチャートである。図 3 3 は、カード予告時における、液晶表示ユニット 2 4 の表示内容の一例を示す図である。以下、図 5、図 7 および図 3 0 ~ 図 3 3 を参照しつつ説明する。

【 0 1 4 0 】

第 1 または第 2 特別図柄の変動動作の開始タイミングになると、主制御基板 4 0 の C P U 4 0 A は、変動パターンコマンド (A0** [H]) および図柄コマンドを、演出制御基板 4 1 に送信する。変動パターンコマンド (A0** [H]) を受信した演出制御基板 4 1 の C P U 4 1 A は、変動パターンコマンド (A0** [H]) のイベントデータを参照し (ステップ S 9 1)、イベントデータの内容を確認する。

【 0 1 4 1 】

次いで、C P U 4 1 A は、当該変動保留変化予告抽選処理 (ステップ S 9 2) およびカード予告抽選処理 (ステップ S 9 3) をそれぞれ実行する。当該変動保留変化予告抽選処理およびカード予告抽選処理については、それぞれ後述する。

また、受信した変動パターンコマンド (A0** [H]) が第 1 特別図柄用であるときには、C P U 4 1 A は、第 1 の保留メモリ 7 1 の第 1 ~ 第 4 先読み記憶エリア M 1 1 ~ M 1 4 (図 8 参照) の内容を、それぞれ、第 0 ~ 第 3 先読み記憶エリア M 1 0 ~ M 1 3 に移行する。また、受信した変動パターンコマンド (A0** [H]) が第 2 特別図柄用であるときには、C P U 4 1 A は、第 2 の保留メモリ 7 2 の第 1 ~ 第 4 先読み記憶エリア M 2 1 ~ M 2 4 (図 8 参照) の内容を、それぞれ、第 0 ~ 第 3 先読み記憶エリア M 2 0 ~ M 2 3 に移行する (ステップ S 9 4)。

【 0 1 4 2 】

また、先読み情報の移動に併せて、対応する第 1 または第 2 の保留カウンタ 7 3 , 7 4 の値が 1 だけデクリメント (-1) される (ステップ S 9 5)。

次いで、C P U 4 1 A は、保留数表示部 1 0 1 , 1 2 1 (図 3 等参照) の表示を更新する保留表示更新処理を実行する (ステップ S 9 6)。C P U 4 1 A は、保留態様変化パターン記憶部 7 7 に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンの内容に基づいて、液晶表示ユニット 2 4 の保留数表示部 1 0 1 , 1 2 1 の各保留表示 1 0 2 を更新表示する。先読み保留変化予告を実行する場合には、C P U 4 1 A は、先読み保留変化予告の対象となる保留表示 1 0 2 を、決定された所定の保留表示態様 (「青」、「緑」または「赤」のいずれかの保留表示態様。すなわち特別保留表示態様) で表示する。また、C P U 4 1 A は、先読み保留変化予告のなっていない保留表示を、「白」の保留表示態様 (すなわち、通常保留表示態様) で表示する。

【 0 1 4 3 】

次いで、C P U 4 1 A は、当該変動保留表示部 1 0 3 (図 3 等参照) の表示を更新する保留表示更新処理を実行する (ステップ S 9 7)。C P U 4 1 A は、保留態様変化パターン記憶部 7 7 に記憶されている、当該変動保留表示用の保留態様変化パターンの内容に基づいて、液晶表示ユニット 2 4 の当該変動保留表示部 1 0 3 の当該変動保留表示 1 0 4 を更新表示する。当該変動保留変化予告を実行する場合には、C P U 4 1 A は、該当該変動保留表示 1 0 4 を、所定の一の保留表示態様 (「白点滅」、「青」、「緑」、「赤」、「デンジャー」または「レインボー」のいずれかの表示態様。すなわち特別表示態様) で表示するか、あるいは複数 (「白」、「白点滅」、「青」、「緑」、「赤」、「デンジャー」または「レインボー」のいずれかの保留表示態様) の間でステップアップするように表示する。当該変動保留変化予告を実行しない場合には、C P U 4 1 A は、該当該変動保留表示 1 0 4 を、「白」の保留表示態様 (すなわち、通常表示態様) で表示する。

【 0 1 4 4 】

そして、C P U 4 1 A は、受信した変動パターンコマンド (A0** [H]) および図柄コ

10

20

30

40

50

マンドに応答して、液晶表示制御基板 44 に制御コマンドを送信し、液晶表示ユニット 24 の演出図柄の変動動作を開始させる（ステップ S 98）。また、変動パターンが、リーチパターン等である場合には、キャラクタ等を用いた予告演出等を行う。

図 31 に示すように、当該変動保留変化予告抽選処理では、CPU 41A は、当該変動保留変化予告抽選用の抽選表 T2 ~ T7 のうち、変動開始当初の当該変動保留表示 104 の保留表示態様（色種別および点滅の有無。すなわち、保留 1 における保留表示 102 の保留表示態様）に対応する抽選表を参照しつつ（ステップ S 101）、当該変動保留変化予告抽選を実行する。具体的には、CPU 41A は、演出制御基板 41 の当該変動保留変化予告抽選用乱数発生部（図示しない）から当該変動保留変化予告抽選用乱数を取得し（ステップ S 102）、この当該変動保留変化予告抽選用乱数を、参照している当該変動保留変化予告抽選用の抽選表 T2 ~ T7 に割り当てられている予告決定用数値と比較する。前述のように、当該変動保留変化予告抽選用の抽選表 T2 ~ T7 では、当該変動保留変化予告当選用の当該変動保留変化予告抽選用乱数は、当該変動保留表示 104 の最終の保留表示態様、保留表示態様変化シナリオ（シナリオ 1 ~ シナリオ 7 のいずれか）、および保留表示態様変化のタイミングのそれぞれと対応付けられている。すなわち、当該変動保留変化予告当選用の当該変動保留変化予告抽選用乱数が決まると、自ずと、当該変動保留表示 104 の最終の保留表示態様、保留表示態様変化シナリオ（シナリオ 1 ~ シナリオ 7 のいずれか）、および保留表示態様変化のタイミングが決まる。そのため、CPU 41A は、当該変動保留変化予告抽選用乱数を、当該変動保留変化予告抽選用の抽選表 T2 ~ T7 に割り当てられている当該変動保留変化予告当選用数値と比較することにより、当該変動保留変化予告を実行するか否かだけでなく、当該変動保留表示 104 の最終の保留表示態様、保留表示態様変化シナリオ（シナリオ 1 ~ シナリオ 7 のいずれか）、および保留表示態様変化のタイミングも決定する（ステップ S 103 ~ S 105）。

【0145】

そして、決定した保留変化シナリオがシナリオ 4 ~ シナリオ 7 である場合（ステップ S 106 で YES）、すなわち、保留変化を 2 回以上行うシナリオである場合には、CPU 41A は、当該変動保留表示 104 の途中の保留表示態様を決定する（ステップ S 107）。その後、当該変動保留変化予告抽選処理はリターンされる。一方、決定した保留変化シナリオがシナリオ 1 ~ シナリオ 3 である場合（ステップ S 106 で NO）には、当該変動保留変化予告抽選処理はリターンされる。

【0146】

次に、カード予告について説明する。

この実施形態では、前述のように、各当該変動先読み保留変化予告の実行に先立って、カード予告が実行される。前述のように、1 回のカード予告において使用されるカードは 3 枚（すなわちカードによる予告は合計 3 枚）を上限としている。また、1 回のカード予告において、期待度示唆カードおよび保留態様変化カードの出現枚数（出現回数）は、それぞれ 2 枚を上限として用いられる。

【0147】

図 32 に示すように、カード予告抽選処理では、CPU 41A は、カード予告の実行の有無、およびカード予告の実行する場合において 1 回のカード予告で使用するカードの使用枚数を決定する（ステップ S 111）。

次いで、CPU 41A は、期待度示唆カード抽選を実行する（ステップ S 112）。期待度示唆カード抽選では、2 枚を上限として期待度示唆カードが選ばれるが、期待度示唆カードが選ばれないこともある。つまり、この実施形態では、期待度示唆カード抽選において選ばれる期待度示唆カードの組合せとして、プレミアカード 111 が 2 枚と、期待度示唆低カード 112 が 0 枚との組合せ、プレミアカード 111 が 1 枚と、期待度示唆低カード 112 が 1 枚との組合せ、プレミアカード 111 が 0 枚と、期待度示唆低カード 112 が 2 枚との組合せ、プレミアカード 111 が 0 枚と、期待度示唆低カード 112 が 0 枚との組合せを例示

できる。

【0148】

次いで、CPU41Aは、保留態様変化カード抽選を実行する（ステップS113）。保留態様変化カード抽選では、2枚を上限として保留態様変化カードが選ばれるが、保留態様変化カードが選ばれないこともある。つまり、この実施形態では、保留態様変化カード抽選において選ばれる保留態様変化カードの組合せとして、ランクアップカード113が2枚、ランクアップカード113が1枚、およびランクアップカード113が0枚を例示できる。

【0149】

ステップS112の期待度示唆カード抽選で決定された期待度示唆カードの枚数と、ステップS113の保留態様変化カード抽選で決定された保留態様変化カードの枚数との合計枚数が、ステップS111の抽選で決定されたカードの使用枚数を下回る場合には（ステップS114でYES）、CPU41Aは、ステップS111の抽選で決定されたカードの使用枚数と等しくなるかあるいは当該使用枚数を上回るまで、ステップS112の期待度示唆カード抽選およびステップS113の保留態様変化カード抽選を繰り返して実行する（ステップS112～S114）。

【0150】

そして、決定された期待度示唆カードの枚数と保留態様変化カードの枚数との合計枚数が、ステップS111の抽選で決定されたカードの使用枚数と等しい場合には（ステップS114でNO、かつステップS115でYES）、次いで、カード予告におけるカードの表示順序が決定される（ステップS116）。決定された期待度示唆カードの枚数と保留態様変化カードの枚数との合計枚数が、ステップS111の抽選で決定されたカードの使用枚数を上回る場合（ステップS114およびステップS115でNO）には、そのカード予告における期待度示唆カードおよび保留態様変化カードの優先度に応じて、期待度示唆カードの枚数、および保留態様変化カードの枚数がそれぞれ決定され（ステップS118、ステップS119）。具体的には、カード予告において期待度示唆カードの優先度が保留態様変化カードよりも高い場合には、期待度示唆カードが優先して選択される（ステップS118）。一方、カード予告において保留態様変化カードの優先度が期待度示唆カードよりも高い場合には、保留態様変化カードが優先して選択される（ステップS118、ステップS119）。

【0151】

カード予告におけるカードの表示順序の決定（S116、S118、S119）は、当該変動保留変化予告の最終の保留表示態様、および／または大当りであるか否か等に基づいて決定される。

図33では、期待度示唆カードの枚数が1枚で保留態様変化カードの枚数が2枚である場合（S119）における、カードの表示順序を示している。なお、選択される保留態様変化カードが2枚である場合には、ランクアップ回数が2回以上の当該変動保留変化予告が実行される場合に限られる。

【0152】

この場合、たとえば、当該変動保留変化予告の最終の保留表示態様が「赤」以上（「赤」、「デンジャー」または「レインボー」）である場合には、期待度示唆カードとしてプレミアカード111が用いられる。プレミアカード111を用いるとき、その表示タイミングを最後にすると効果的である。たとえば、図33（a）に示すように、ランクアップカード113　ランクアップカード113　プレミアカード111の順で表示される。

【0153】

また、当該変動保留変化予告の最終の保留表示態様の大当り信頼度が「緑」以下（「白」、「白点滅」、「青」または「緑」）である場合には、期待度示唆カードとして期待度示唆低カード112が用いられる。期待度示唆低カード112を用いるとき、その表示タイミングを最後にすると効果的である。たとえば、図33（a）に示すように、このとき、図33（a）に示すように、期待度示唆低カード112　ランクアップカード113

10

20

30

40

50

ランクアップカード 1 1 3 の順で表示される。

【 0 1 5 4 】

以上により、この第 1 実施形態によれば、先読み保留変化予告は、始動情報に対応する変動パターンの種別がリーチパターンであるか否かに拘らず実行可能である一方、当該変動保留変化予告は、対応する変動パターンの種別がリーチパターンである場合に限り実行可能である。そのため、先読み保留変化予告の後には、リーチ演出が実行されることもあればリーチ演出が実行されないこともあるが、当該変動保留変化予告の後には、必ずリーチ演出が実行される。これにより、先読み保留変化予告および当該変動保留変化予告による演出効果の向上を図ることができ、ゆえに、遊技の興趣を高めることができるパチンコ機 1 を提供できる。

10

【 0 1 5 5 】

次に、パチンコ機 1 の第 1 の変形例について説明する。第 1 の変形例において前述の内容と相違する点は、演出制御基板 4 1 の抽選表記憶部 7 5 (図 6 参照) に、先読み保留変化予告用の抽選表 T 1 1、当該変動保留変化予告用の抽選表 T 1 2、T 1 3 が記憶されている点である。なお、以下の説明では、第 1 の変形例を簡潔に説明すべく、当該変動保留変化予告用の抽選表として、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が「緑」である場合の抽選表 T 1 2 と、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が「緑」である場合の抽選表 T 1 3 を例に挙げて説明するが、むしろ、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 が他の保留表示態様である場合の抽選表も用意されている。

【 0 1 5 6 】

20

図 3 4 A ~ 図 3 4 D には、説明の簡略化を図るべく、ハズレのスペシャルリーチ 1 の変動パターン、ハズレのスペシャルリーチ 2 の変動パターン、1 6 ラウンド大当りのスペシャルリーチ 1 の変動パターンおよび 1 6 ラウンド大当りのスペシャルリーチ 2 の変動パターンに対応する抽選表 T 1 1、T 1 2、T 1 3 のみを図示し、その他の変動パターンに対応する抽選表の図示を省略している。

【 0 1 5 7 】

図 3 4 A は、先読み保留変化予告用の抽選表 T 1 1 の一例を示す図である。図 3 4 A では、第 1 の変形例を簡潔に説明すべく、先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンとして合計 5 通りの保留態様変化パターンが用意 (先読み保留変化予告が実行されない場合を含めると合計 6 通り) されている場合を例に挙げて説明するが、むしろ、図 1 2 A ~ 図 1 2 D の場合と同程度の多種多様な保留態様変化パターンが用意されていてもよい。

30

【 0 1 5 8 】

抽選表 T 1 1 では、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ 1 (イベントデータの値が 0 6 [H]) であるときには、合計 3 3 0 1 個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち、「保留 1 (保 1)」、「保留 2 (保 2)」、「保留 3 (保 3)」および「保留 4 (保 4)」が、それぞれ、「赤」、「赤」、「緑」および「緑」となる保留態様変化パターン (図 3 4 A の右から 3 つ目の欄に示す保留態様変化パターン) に、9 0 1 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「赤」、「赤」、「赤」および「白」となる保留態様変化パターン (図 3 4 A の右から 2 つ目の欄に示す保留態様変化パターン) に、8 0 0 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「赤」、「赤」、「赤」および「青」となる保留態様変化パターン (図 3 4 A の一番右の欄に示す保留態様変化パターン) に、1 3 0 0 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。また、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ 2 (イベントデータの値が 0 7 [H]) であるときには、合計 3 3 0 1 個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち、「保留 1 (保 1)」、「保留 2 (保 2)」、「保留 3 (保 3)」および「保留 4 (保 4)」が、それぞれ、「赤」、「赤」、「赤」および「緑」となる保留態様変化パターンに、8 2 0 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「赤」、「赤」、「赤」および「白」となる保留態様変化パターンに、1 3 0 0 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「赤」、「赤」、「赤」および「青」となる保留態様変化パターンに 9 0 1 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。

40

50

【 0 1 5 9 】

一方、変動パターンの種別が16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ1(イベントデータの値が13[H])であるときには、合計3301個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち、「保留1(保1)」、「保留2(保2)」、「保留3(保3)」および「保留4(保4)」が、それぞれ、「緑」、「緑」、「青」および「白」となる保留態様変化パターン(図34Aの右から5つ目の欄に示す保留態様変化パターン)に、1300個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「緑」、「緑」、「青」および「青」となる保留態様変化パターン(図34Aの右から4つ目の欄に示す保留態様変化パターン)に、1800個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。また、変動パターンの種別が16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ2(イベントデータの値が14[H])であるときには、合計3301個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち、「保留1(保1)」、「保留2(保2)」、「保留3(保3)」および「保留4(保4)」が、それぞれ、「緑」、「緑」、「青」および「白」となる保留態様変化パターンに、1400個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、「緑」、「緑」、「青」および「青」となる保留態様変化パターンに、1700個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。

10

【 0 1 6 0 】

したがって、図34Aからは、16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ1および2が実行される場合に、非常に高い確率で「保留1(保1)」が「緑」となる保留態様変化パターンが選択されることがわかる。また、図34Aからは、ハズレ用のスペシャルリーチ1および2が実行される場合に、非常に高い確率で「保留1(保1)」が「赤」となる保留態様変化パターンが選択されることもわかる。

20

【 0 1 6 1 】

図34Bおよび図34Cは、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「緑」である場合の、当該変動保留変化予告用の抽選表T12の一例を示す図である。図34Dは、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「赤」である場合の、当該変動保留変化予告用の抽選表T13の一例を示す図である。

図34B～図34Dでは、第1の変形例を簡潔に説明すべく、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「緑」および「青」である場合の当該変動保留変化予告用の保留態様変化パターンとして、それぞれ、合計8通りの保留態様変化パターン(当該変動保留変化予告が実行されない場合を含めると合計9通り)および合計6通りの保留態様変化パターン(当該変動保留変化予告が実行されない場合を含めると合計7通り)を用意した場合を例示したが、むしろ、図16A～図16Cの場合や、図17Aおよび図17Cの場合と同程度の多種多様な保留態様変化パターンが用意されていてもよい。

30

【 0 1 6 2 】

図34Bおよび図34Cに示す抽選表T12では、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ1(イベントデータの値が06[H])であるとき、およびハズレ用のスペシャルリーチ2(イベントデータの値が07[H])であるときには、3301個全ての当該変動保留変化予告抽選用乱数が、当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン(ランクアップなし)に割り当てられている。

40

【 0 1 6 3 】

一方、図34Bおよび図34Cに示す抽選表T12では、変動パターンの種別が16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ1(イベントデータの値が13[H])であるときには、合計3301個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のうち、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「赤」であり、保留表示態様変化シナリオが「シナリオ1」である保留態様変化パターン(図34Bの右から6つ目の欄に示す保留態様変化パターン)に、1600個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「赤」であり、保留表示態様変化シナリオが「シナリオ2」である保留態様変化パターン(図34Bの右から3つ目の欄に示す保留態様変化パターン)に、1600個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。また、変動

50

パターンの種別が16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ2（イベントデータの値が14[H]）であるときには、合計3301個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のうち、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「赤」であり、保留表示態様変化シナリオが「シナリオ1」である保留態様変化パターンに、1500個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられ、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「赤」であり、保留表示態様変化シナリオが「シナリオ2」である保留態様変化パターンに、1700個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。

【0164】

また、図34Dに示す抽選表T13では、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ1（イベントデータの値が06[H]）であるときには、合計3301個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のうち3201個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン（ランクアップなし）に割り当てられている。また、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ2（イベントデータの値が07[H]）であるときには、合計3301個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のうち3251個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン（ランクアップなし）に割り当てられている。

【0165】

一方、図34Dに示す抽選表T13では、変動パターンの種別が16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ1（イベントデータの値が13[H]）であるとき、および変動パターンの種別が16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ2（イベントデータの値が14[H]）であるときには、合計3301個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のいずれも、当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン（ランクアップなし）には割り当てられていない。

【0166】

したがって、図34B～図34Dからは、当該変動保留表示104の変動開始当初の態様が「緑」であるときに16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ1および2が実行される場合に、非常に高い確率で、最終の保留表示態様が「赤」となる保留態様変化パターンが選択されることがわかる。また、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「緑」であるときにハズレ用のスペシャルリーチ1および2が実行される場合に、最終の保留表示態様が「赤」となる保留態様変化パターンは選択されないこともわかる。さらに、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「赤」であるときに、16ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ1および2が実行される場合、当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン（ランクアップなし）は選択されないこともわかる。

【0167】

以上により、先読み保留変化予告による態様変化で保留表示102の保留表示態様が「緑」まで達すると共に、その後の当該変動保留変化予告における態様変化（ランクアップ）で当該変動保留表示104の保留表示態様が最終的に「赤」（第1特別保留態様）まで到達する場合の大当り信頼度はほぼ100%である。また、先読み保留変化予告による態様変化で保留表示102の保留表示態様が「赤」まで達し、その後の当該変動保留変化予告で態様変化（ランクアップ）しない場合の大当り信頼度はほぼ0%である。すなわち、第1の変形例では、当該変動保留変化予告で態様変化（ランクアップ）を経由して当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「赤」になる場合の大当り信頼度は、当該変動保留変化予告で態様変化を経由せずに当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「赤」になる場合と比較して高くなるような制御が行われる、といえる。

【0168】

以上により、第1の変形例によれば、当該変動保留変化予告において当該変動保留表示の保留表示態様が変化した結果、当該変動保留表示の最終の保留表示態様が「赤」（第1特別保留態様）になる場合の大当り信頼度が、当該変動保留変化予告において当該変動保留表示の保留表示態様が変化しないまま、当該変動保留表示の最終の保留表示態様が「赤

10

20

30

40

50

」になる場合と比較して高い。両者において当該変動保留表示 104 の最終の保留表示態様は「赤」で共通しているが、当該変動保留表示 104 で態様変化する場合の方が、保留表示 102 のみで態様変化する場合よりも、その後に、大当り用の第 1 または第 2 特別図柄（大当り用の演出図柄）が導出される確率が高い。そのため、遊技者は、当該変動保留表示 104 を用いる当該変動保留変化予告に、より一層注目するようになる。したがって、演出図柄が停止表示する直前まで遊技者を遊技に引き付けておくことができる。ゆえに、遊技の興趣を高めることができるパチンコ機 1 を提供できる。

【0169】

次に、パチンコ機 1 の第 2 の変形例について説明する。第 2 の変形例が、図 1 ~ 図 33 の内容と相違する点は、演出制御基板 41 の抽選表記憶部 75（図 6 参照）に、先読み保留変化予告用の抽選表 T21、当該変動保留変化予告用の抽選表 T22、T23 が記憶されている点である。なお、以下の説明では、第 2 の変形例を簡潔に説明すべく、当該変動保留変化予告用の抽選表として、変動開始当初の当該変動保留表示 104 の保留表示態様が「緑」である場合の抽選表 T22 と、変動開始当初の当該変動保留表示 104 の保留表示態様が「白点滅」である場合の抽選表 T23 を例に挙げて説明するが、むしろ、変動開始当初の当該変動保留表示 104 が他の保留表示態様である場合の抽選表も用意されている。

10

【0170】

また、次に述べる図 35A ~ 図 35D には、説明の簡略化を図るべく、ハズレのスペシャルリーチ 1 の変動パターン、ハズレのスペシャルリーチ 2 の変動パターン、16 ラウンド大当りのスペシャルリーチ 1 の変動パターンおよび 16 ラウンド大当りのスペシャルリーチ 2 の変動パターンに対応する抽選表 T21、T22、T23 のみを図示し、その他の変動パターンに対応する抽選表の図示を省略している。

20

【0171】

図 35A は、先読み保留変化予告用の抽選表 T21 の一例を示す図である。図 35A では、第 2 の変形例を簡潔に説明すべく、先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンとして合計 5 通りの保留態様変化パターンが用意（先読み保留変化予告が実行されない場合を含めると合計 6 通り）されている場合を例に挙げて説明するが、むしろ、図 12A ~ 図 12D の場合と同程度の多種多様な保留態様変化パターンが用意されていてもよい。

【0172】

図 35A に示す抽選表 T21 では、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ 1（イベントデータの値が 06 [H]）であるときには、合計 3301 個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち、「保留1（保1）」、「保留2（保2）」、「保留3（保3）」および「保留4（保4）」が、それぞれ、「緑」、「緑」、「青」および「白」となる保留態様変化パターン（図 35A の右から 5 つ目の欄に示す保留態様変化パターン）に、2040 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。また、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ 2（イベントデータの値が 07 [H]）であるときには、合計 3301 個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち、「保留1（保1）」、「保留2（保2）」、「保留3（保3）」および「保留4（保4）」が、それぞれ、「緑」、「緑」、「青」および「白」となる保留態様変化パターンに、2050 個の先読み保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。

30

40

【0173】

一方、図 35A に示す抽選表 T21 では、変動パターンの種別が 16 ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ 1（イベントデータの値が 13 [H]）または 16 ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ 2（イベントデータの値が 14 [H]）であるときには、合計 3301 個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち、「保留1（保1）」、「保留2（保2）」、「保留3（保3）」および「保留4（保4）」が、それぞれ、「緑」、「緑」、「青」および「白」となる保留態様変化パターンに、50 個の先読み保留変化予告抽選用乱数しか割り当てられていない。

【0174】

50

したがって、図35Aから、ハズレ用のスペシャルリーチ1, 2が実行される場合に、高い確率で、「保留1(保1)」が「緑」でかつ態様変化回数が2回の保留態様変化パターンが選択されることがわかる。そして、この保留態様変化パターンは、16ラウンドの大当たり用のスペシャルリーチ1, 2が実行される場合には、ほとんど選択されないことわかる。

【0175】

図35Bおよび図35Cは、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「緑」である場合の、当該変動保留変化予告用の抽選表T22の一例を示す図である。図35Dは、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「白点滅」である場合の、当該変動保留変化予告用の抽選表T23の一例を示す図である。

10

図35B～図35Dでは、第2の変形例を簡潔に説明すべく、変動開始当初の当該変動保留表示104の保留表示態様が「緑」および「白点滅」である場合の当該変動保留変化予告用の保留態様変化パターンとして、それぞれ、合計8通りの保留態様変化パターン(当該変動保留変化予告が実行されない場合を含めると合計9通り)および合計5通りの保留態様変化パターン(当該変動保留変化予告が実行されない場合を含めると合計6通り)を用意した場合を例示したが、むしろ、図16A～図16Cの場合や、図14A～図14Dの場合と同程度の多種多様な保留態様変化パターンが用意されていてもよい。

【0176】

図35Bおよび図35Cに示す抽選表T22では、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ1(イベントデータの値が06[H])であるとき、およびハズレ用のスペシャルリーチ2(イベントデータの値が07[H])であるときには、合計3301個の先読み保留変化予告抽選用乱数のうち2281個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が、当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン(ランクアップなし)に割り当てられている。また、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「デンジャー」であり保留表示態様変化シナリオが「シナリオ4」である保留態様変化パターン(図35Bの右から2つ目の欄に示す保留態様変化パターン)にも10個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられているが、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「レインボー」であり保留表示態様変化シナリオが「シナリオ4」である保留態様変化パターン(図35Bの一番右の欄に示す保留態様変化パターン)には当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられていない。

20

30

【0177】

一方、図35Bおよび図35Cに示す抽選表T22では、変動パターンの種別が16ラウンドの大当たり用のスペシャルリーチ1(イベントデータの値が13[H])であるとき、および16ラウンドの大当たり用のスペシャルリーチ2(イベントデータの値が14[H])であるときには、合計3301個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のうち、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「デンジャー」であり保留表示態様変化シナリオが「シナリオ4」である保留態様変化パターンに、3000個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられており、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「レインボー」であり保留表示態様変化シナリオが「シナリオ4」である保留態様変化パターンに、200個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が割り当てられている。

40

【0178】

図35Dに示す抽選表T23では、変動パターンの種別がハズレ用のスペシャルリーチ1(イベントデータの値が06[H])であるとき、およびハズレ用のスペシャルリーチ2(イベントデータの値が07[H])であるときには、合計3301個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のうち20個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様が「緑」であり保留表示態様変化シナリオが「シナリオ4」である保留態様変化パターン(図35Dの右から4つ目の欄に示す保留態様変化パターン)に割り当てられている。

【0179】

一方、図35Dに示す抽選表T23では、変動パターンの種別が16ラウンドの大当たり

50

用のスペシャルリーチ 1 (イベントデータの値が 1 3 [H]) であるとき、1 6 ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ 2 (イベントデータの値が 1 4 [H]) であるときには、合計 3 3 0 1 個の当該変動保留変化予告抽選用乱数のうち 2 5 0 0 個の当該変動保留変化予告抽選用乱数が、当該変動保留表示 1 0 4 の最終の保留表示態様が「緑」であり保留表示態様変化シナリオが「シナリオ 4」である保留態様変化パターンに割り当てられている。

【 0 1 8 0 】

したがって、図 3 5 B ~ 図 3 5 D から、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が「緑」であるときに 1 6 ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ 1 および 2 が実行される場合に、最終の保留表示態様が「デンジャー」となる「シナリオ 4」の保留態様変化パターンが非常に高い確率で選択され、かつ当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン (ランクアップなし) はほとんど選択されないこともわかる。

10

【 0 1 8 1 】

また、図 3 5 B ~ 図 3 5 D から、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が「緑」であるときにハズレ用のスペシャルリーチ 1 および 2 が実行される場合に、当該変動保留変化予告なしの保留態様変化パターン (ランクアップなし) が高い確率で選択され、かつ最終の保留表示態様が「デンジャー」となる「シナリオ 4」の保留態様変化パターンはほとんど選択されないこともわかる。

【 0 1 8 2 】

さらに、図 3 5 D から、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が「白点滅」であるときに 1 6 ラウンドの大当り用のスペシャルリーチ 1 および 2 が実行される場合に、最終の保留表示態様が「緑」となる「シナリオ 4」の保留態様変化パターンが高い確率で選択されること、およびハズレ用のスペシャルリーチ 1 および 2 が実行される場合に、最終の保留表示態様が「緑」となる「シナリオ 4」の保留態様変化パターンがほとんど選択されないことがわかる。

20

【 0 1 8 3 】

以上により「白」の保留表示 1 0 2 が 2 回の変化態様を経て「保留 1 (保 1) 」の保留表示態様が「緑」となり、その後、当該変動保留変化予告において当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が変化しない場合の大当り信頼度は低いことがわかる。また、図 3 5 A ~ 図 3 5 D から、当該変動保留変化予告において、「白点滅」の当該変動保留表示 1 0 4 が 2 回の変化態様を経て最終的「緑」の保留表示態様となる場合の大当り信頼度は極めて高いことがわかる。また、図 3 5 A ~ 図 3 5 D から、「白」の保留表示 1 0 2 が 2 回の変化態様を経て「保留 1 (保 1) 」の保留表示態様が「緑」となり、その後、当該変動保留変化予告において 2 回の変化態様を経て「デンジャー」や「レインボー」になるときの大当り信頼度が極めて高いこともわかる。

30

【 0 1 8 4 】

すなわち、第 2 の変形例では、当該変動保留変化予告における態様変化 (ランクアップ) を含む合計 2 回の態様変化を経由して、当該変動保留表示 1 0 4 の最終の保留表示態様が「緑」 (所定の特別保留表示態様) になる場合の大当り信頼度が、先読み保留変化予告のみで 2 回の態様変化を経由して当該変動保留表示 1 0 4 の最終の保留表示態様が「緑」になる場合と比較して高くなるような制御が行われる、といえる。換言すれば、当該変動保留変化予告により当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が 2 回変化した場合の大当り信頼度が、先読み保留変化予告において保留表示 1 0 2 の保留表示態様が 2 回変化した場合よりも高くなるような制御が行われる、ともいえる。

40

【 0 1 8 5 】

以上により、第 2 の変形例によれば、当該変動保留変化予告により当該変動保留表示が特定回数変化した結果当該変動保留表示の最終的な態様が「緑」になる場合の大当り信頼度が、先読み保留変化予告において保留表示が特定回数変化した結果当該変動保留表示の最終的な態様が「緑」になる場合と比較して高い。両者の間では、当該変動保留表示 1 0 4 の最終の保留表示態様は「緑」で共通し、また、保留表示 1 0 2 および / または当該変

50

動保留表示 1 0 4 の合計回数も 2 回と共通しているが、当該変動保留表示 1 0 4 で態様変化する場合の方が、保留表示 1 0 2 のみで態様変化する場合よりも、その後に、大当り用の第 1 または第 2 特別図柄（大当り用の演出図柄）が導出される確率が高い。そのため、遊技者は、当該変動保留表示 1 0 4 を用いる当該変動保留変化予告に、より一層注目するようになる。したがって、演出図柄が停止表示する直前まで遊技者を遊技に引き付けておくことができる。ゆえに、遊技の興趣を高めることができるパチンコ機 1 を提供できる。

【 0 1 8 6 】

また、前述の第 1 実施形態（その第 1 および第 2 の変形例を含む。）では、当該変動保留変化予告を、通常変動中およびリーチ中（ノーマルリーチ中およびスーパーリーチ中）の一方または双方で実行するものとして説明したが、当該変動保留変化予告は、リーチ演出中（ノーマルリーチ中およびスーパーリーチ中）に実行されるものであってもよい。この場合、当該変動保留変化予告がリーチ演出中にしか出現しないので、リーチ演出に遊技者の注目を集めることができ、これにより、遊技の興趣をより一層高めることができる。

【 0 1 8 7 】

なお、第 2 の変形例において、当該変動保留変化予告により当該変動保留表示が特定回数変化した結果当該変動保留表示の最終的な態様が「緑」になる場合の大当り信頼度が、先読み保留変化予告において保留表示が特定回数変化した結果当該変動保留表示の最終的な態様が「緑」になる場合よりも高い場合に限られず、該大当り信頼度が、先読み保留変化予告において保留表示が特定回数変化した結果当該変動保留表示の最終的な態様が「緑」になる場合と異なっていればよい。

【 0 1 8 8 】

図 1 3 A ~ 図 1 3 D、図 3 4 B ~ 図 3 4 D および図 3 5 B ~ 図 3 5 D にそれぞれ示す当該変動保留変化予告用の抽選表 T 2 ~ T 7、T 1 2、T 1 3、T 2 2、T 2 3 から、1 回目の変動動作中を保留表示態様変化のタイミングに規定しているシナリオ 1、シナリオ 4、シナリオ 5 およびシナリオ 7 を含む保留態様変化パターンを除くことにより、当該変動保留変化予告をリーチ中（ノーマルリーチ中およびスーパーリーチ中）にのみ実行可能な構成を実現できる。

【 0 1 8 9 】

図 3 6 は、本発明の第 2 実施形態に係る演出制御基板 4 1 の電氣的構成を示すブロック図である。図 3 7 は、本発明の第 2 実施形態に係る、先読み保留変化予告の保留態様変化パターンの一例を示す図である。

第 2 実施形態に係るパチンコ機 2 0 1 の説明において、第 1 実施形態に係るパチンコ機 1 と共通する部分には、図 1 ~ 図 3 5 B の場合と同一の参照符号を付して、説明を省略する。パチンコ機 2 0 1 の機械的、電氣的構成および基本的な制御内容は、それぞれパチンコ機 1 と同等である。また、以下で特に言及する場合を除き、リーチ演出等の演出も、第 1 実施形態の場合と同様である。以下では、主に、パチンコ機 2 0 1 がパチンコ機 1 と相違する部分について説明する。

【 0 1 9 0 】

図 3 6 に示すように、演出制御基板 4 1 の R O M 4 1 C は、抽選表記憶部 2 7 5 と、保留態様変化パターン記憶部 2 7 8 とを含む。抽選表記憶部 2 7 5 は、先読み保留変化予告用の抽選表や当該変動保留変化予告用の抽選表を含む種々の抽選表（抽選テーブル）を記憶している。抽選表記憶部 2 7 5 に記憶される抽選表は、たとえば、第 1 実施形態に係る抽選表 T 1 ~ T 2 3 と同等の抽選表を含む。保留態様変化パターン記憶部 2 7 8 は、先読み保留変化予告の保留態様変化パターンを記憶する。保留態様変化パターン記憶部 2 7 8 に記憶される保留態様変化パターンの一例として、図 3 7 に示すような保留態様変化パターン P D を挙げることができる。

【 0 1 9 1 】

図 3 6 に示すように、演出制御基板 4 1 の R A M 4 1 B には、第 1 の保留メモリ 7 1、第 2 の保留メモリ 7 2、第 1 の保留カウンタ 7 3、第 2 の保留カウンタ 7 4、先読み保留変化予告フラグ 7 6 および保留態様変化パターン記憶部 7 7 に加えて、ボタン保留表示演

出フラグ271と、ランクアップ演出フラグ272とが設けられている。

【0192】

パチンコ機201には、先読み保留変化予告が搭載されている。パチンコ機201が備える先読み保留変化予告は、ボタン保留表示演出を伴う先読み保留変化予告（以下、「ボタン付きの先読み保留変化予告」という。）を、予告の1つとして含む。ボタン付きの先読み保留変化予告では、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102が、保留表示102の保留表示態様を秘匿するボタン保留表示態様（操作保留態様）202で表示される（ボタン保留表示演出（操作保留変化予告））。また、ボタン保留表示演出中に、第1演出操作ボタン13（図1A参照）が操作されると、保留表示102の保留表示態様がボタン保留表示態様202から、保留表示態様（この実施形態では、「赤」、「緑」、「青」または「白」のいずれかの態様）に復帰する。その後、変動動作の消化に伴って、保留表示102は、決定された先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに規定されている保留表示態様でシフト移行する。

10

【0193】

ボタン保留表示演出フラグ271は、ボタン保留表示演出の実行中であるか否かを記憶しておくためのものである。ボタン保留表示演出フラグ271の値は、ボタン保留表示演出の実行中にたとえば5A[H]に設定され、また、ボタン保留表示演出の非実行時にたとえば00[H]に設定されている。

ランクアップ演出フラグ272は、ランクアップ演出の実行中であるか否かを記憶しておくためのものである。ランクアップ演出は、変動動作の開始時には当該変動保留表示104を「白」（デフォルト）の保留表示態様で表示させると共に、変動動作の途中で、「白」から、特別保留表示態様（「青」、「緑」または「赤」のいずれか）までランクアップさせる、という演出である。ランクアップ演出フラグ272の値は、ランクアップ演出の実行時にたとえば5A[H]の値に設けられ、また、ランクアップ演出の非実行時にたとえば00[H]の値に設けられる。

20

【0194】

図38～図40は、本発明の第2実施形態に係る、液晶表示ユニット24（図2を併せて参照）の表示内容の一例を示す図である。

パチンコ機201には、先読み保留変化予告だけでなく、当該変動保留変化予告も搭載されている。ボタン保留表示演出を伴わない先読み保留変化予告、および当該変動保留変化予告についての詳細は、第1実施形態において説明済みであるので、第2実施形態では説明を省略する。但し、第2実施形態に係る当該変動保留変化予告では、当該変動保留表示104の保留表示態様は、先読み保留変化予告の「保留1」と同等の保留表示態様であり、第1実施形態に係る当該変動保留変化予告のように、段階的な態様変化積極的に行うものではない。

30

【0195】

すなわち、第2実施形態では、先読み予告用の保留態様パターンの「保留1」の保留表示態様が、そのまま当該変動保留変化予告の際の当該変動保留表示104の保留表示態様とされる。そのため、第2実施形態に係る当該変動保留変化予告では、変動開始後において、当該変動保留表示104は保留表示態様を変化しない。

40

図40(a)に示すように、先読み保留変化予告に用いられる保留表示102の保留表示態様として、「白」、「青」、「緑」および「赤」の4態様が表示されている。図40(a)に示すように、「白」から「青」、「緑」、「赤」へと向かうに従って、先読み信頼度が高くなるように設定されている。

【0196】

ボタン保留表示演出では、保留表示102の態様が、図40(b)に示すボタン保留表示態様202をなしている。

図40(c)に示すように、当該変動保留変化予告に用いられる当該変動保留表示104の保留表示態様として、「白」、「青」、「緑」および「赤」の4態様が表示されている。図40(c)に示すように、「白」から「青」、「緑」および「赤」へと向かうに従

50

って、先読み信頼度が高くなるように設定されている。この実施形態では、当該変動保留変化予告における当該変動保留表示 104 の保留表示態様は、先読み保留変化予告による保留表示 102 の保留表示態様のいずれかである。

【0197】

以下、図 38 および図 39 を参照して、ボタン付きの先読み保留変化予告について説明する。また、以降の説明において、第 1 の保留数表示部 101 を用いた先読み保留変化予告を例に挙げて説明する。第 2 の保留数表示部 121 を用いた先読み保留変化予告については、第 1 の保留数表示部 101 の保留表示態様の変化の場合と同じであるので、説明を省略する。

【0198】

第 1 特別図柄（演出図柄）の変動動作中で、かつ第 1 特別図柄用の保留数が 3 個である状態を、図 38（a）に示している。この状態から、第 1 特別図柄始動口 26（図 2 参照）に新たな遊技球の入球があると、液晶表示ユニット 24 の第 1 の保留数表示部 101 の保留表示 102 の数が 3 個から 4 個に増やされる。このとき、図 38（b）に示すように、増加分（たとえば「保留 4」）の保留表示 102 の保留表示態様が、ボタン保留表示態様 202 を呈する（ボタン付きの先読み保留変化予告）。

【0199】

第 1 演出操作ボタン 13 の操作に伴い、保留表示 102 の態様が、ボタン保留表示態様 202 から通常の形状（すなわち、丸）を有する保留表示態様に変化し、たとえば、「青」、「緑」または「赤」のいずれかの色で表示される。図 38（c）では、操作後の保留表示 102 の保留表示態様が「青」である場合を示す。なお、ボタン保留表示態様 202 は、第 1 演出操作ボタン 13 の操作があるまで、ボタン保留表示態様 202 のまま変化しない。ボタン保留表示態様 202 をなす保留表示 102 は、ボタン保留表示態様 202 のまま順次にシフト移動し、シフト移動後もボタン保留表示態様 202 のままである。

【0200】

第 1 特別図柄（演出図柄）の変動動作の消化に伴い、液晶表示ユニット 24 の第 1 の保留数表示部 101 の保留表示 102 の保留表示位置が、1 つずつ右側にシフト移行する。

ボタン保留表示演出の後には、図 39（a）に示すように、保留表示 102 のシフト移行に先立って、ミニキャラクタ 203 が登場する先読み演出（第 2 特別演出）が実行されることがある。先読み演出では、ミニキャラクタ 203 が保留表示 102 を保留変化させるような動作を行う。ミニキャラクタ 203 による保留変化動作が失敗したときは、図 39（b）に示すように、シフト移行後の保留表示 102 の保留表示態様は変化せずに「青」のままである。一方、ミニキャラクタ 203 による保留変化動作が成功したときは、図 39（c）に示すように、シフト移行後の保留表示 102 の保留表示態様がたとえば「緑」にランクアップ（昇格）する。

【0201】

なお、先読み演出に登場するミニキャラクタ 203 として、複数種用意されていてもよい。この場合、登場するミニキャラクタ 203 の種類に応じて、シフト移行後の保留表示 102 の保留表示態様が上昇する度合いが異ならされていてもよい。なお、先読み演出は、ボタン付きの先読み保留変化予告においてボタン保留表示演出の後だけでなく、ボタン保留表示演出を伴わない先読み保留変化予告においても実行される。

【0202】

図 41 は、本発明の第 2 実施形態に係る、保留加算コマンド（B2**[H]～B9**[H]）の受信時における演出制御基板 41 の処理の流れを示すフローチャートである。

主制御基板 40 からの保留加算コマンド（B2**[H]～B9**[H]）を演出制御基板 41 が受信すると、CPU 41A は、保留加算コマンド（B2**[H]～B9**[H]）のモードデータの値、およびイベントデータ（先読み情報）をそれぞれ参照（ステップ S201）し、イベントデータの内容を確認する。

【0203】

イベントデータの内容が先読み禁止情報である場合を除き（ステップ S202 で NO）

10

20

30

40

50

、CPU41Aは、保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])からイベントデータを取り出し、その保留加算コマンド(B2**[H]~B9**[H])のモードデータの値に基づいて、取り出したイベントデータを第1または第2の保留メモリ71, 72に格納する(ステップS203)。イベントデータの内容が先読み禁止情報である場合には(ステップS202でYES)、図41に示す処理は、その後そのままリターンされる。

【0204】

次いで、先読み保留変化予告フラグ76の値が調べられる(ステップS204)。先読み保留変化予告フラグ76の値が5A[H]であるとき(ステップS204でYES)、図41に示す処理は、その後そのままリターンされる。

先読み保留変化予告フラグ76の値が00[H]であるとき、すなわち先読み保留変化予告の非実行時であるときには(ステップS204でNO)、次いで、CPU41Aは、先読み保留変化予告抽選処理(ステップS205)を実行する。先読み保留変化予告抽選処理では、第1実施形態に係る先読み保留変化予告抽選処理(図28参照)と同等の処理が実行される。具体的には、CPU41Aは、先読み保留変化予告抽選用の抽選表(第1実施形態に係る抽選表T1(図12A~図12D参照)、抽選表T11(図34A参照)または抽選表T21(図35A参照)と同等の抽選表)を参照しつつ、先読み保留変化予告を実行するか否か、および先読み保留変化予告を実行する場合の保留態様変化パターンを決定する。

【0205】

また、CPU41Aは、ボタン保留表示演出抽選を実行する(ステップS207)。ボタン保留表示演出抽選では、ボタン付きの先読み保留変化予告を実行するか否かが決定される。この実施形態では、先読み保留変化予告抽選(S205)の当選の有無とは無関係に、ボタン付きの先読み保留変化予告の実行の可否が決定される。なお、先読み保留変化予告抽選(S205)に当選している場合のみ、ボタン保留表示演出(S207)が実行されるようになっていてもよい。また、ボタン付きの先読み保留変化予告を実行するか否かの抽選が、先読み保留変化予告抽選(S205)において実行されるようになっていてもよい。

【0206】

ボタン保留表示演出(S207)に当選すると(ステップS208でYES)、CPU41Aは、ボタン保留表示演出フラグ271に5A[H]の値を格納する。一方、ステップS207のボタン保留表示演出抽選に非当選である場合(ステップS208でNO)、ステップS209の処理はスキップされる。

次いで、CPU41Aは、保留数表示部101, 121(図3等参照)の表示を更新する保留表示更新処理を実行する(ステップS210)。その後、図41に示す処理は、リターンされる。

【0207】

図42は、ステップS210に示す保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

CPU41Aは、保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている保留態様変化パターンの内容に基づいて、液晶表示ユニット24の保留数表示部101, 121の各保留表示102を更新表示するのであるが、ボタン付きの先読み保留変化予告においてボタン保留表示演出中である場合には、CPU41Aは、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、ボタン保留表示態様202(図40(b)等参照)で表示する。

【0208】

具体的には、ボタン付きの先読み保留変化予告を実行する場合、すなわち、ボタン保留表示演出フラグ271の値が5A[H]である場合(ステップS211でYES)には、CPU41Aは、ボタン付きの先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、ボタン保留表示態様202で表示する(ステップS213)。また、CPU41Aは、先読み保留変化予告のなっていない保留表示102を、「白」の保留表示態様で表示する(ステップS214)。その後、保留表示更新処理はリターンされる。

【0209】

一方、ボタン保留表示演出を伴わない先読み保留変化予告である場合、すなわち、ボタン保留表示演出フラグ271の値が00[H]であり、かつ先読み保留変化予告フラグ76の値が5A[H]である場合(ステップS211でNO、かつステップS212でYES)には、CPU41Aは、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、決定保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づいた保留表示態様で表示する(ステップS215)。また、CPU41Aは、先読み保留変化予告のなっていない保留表示102を、「白」の保留表示態様で表示する(ステップS214)。その後、保留表示更新処理はリターンされる。

【0210】

また、先読み保留変化予告が実行されない場合、すなわち、ボタン保留表示演出フラグ271の値が00[H]であり、かつ先読み保留変化予告フラグ76の値が00[H]である場合(ステップS211でNO、かつステップS212でNO)には、CPU41Aは、表示対象の全ての保留表示102を、「白」の保留表示態様で表示する(ステップS214)。その後、保留表示更新処理はリターンされる。

図43は、ボタン保留表示演出中における処理の流れを示すフローチャートである。

【0211】

具体的には、ボタン保留表示演出フラグ271の値が5A[H]である状態、すなわち、ボタン保留表示演出中である状態において(ステップS221でYES)、第1演出操作ボタン13(図1A参照)の操作信号が入力されると(ステップS222でYES)、CPU41Aは、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、ボタン保留表示態様202(図40(b)等参照)から、決定された先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づいた保留表示態様に変更する(ステップS223)と共に、ボタン保留表示演出フラグ271の値を00[H]に戻す(ステップS224)。その後、図43に示す処理はリターンされる。

【0212】

一方、ボタン保留表示演出フラグ271の値が00[H]であるとき(ステップS221でNO)、すなわち、ボタン保留表示演出付きの先読み保留変化予告の非実行であるか、あるいはボタン保留表示演出付きの先読み保留変化予告が既に終了している場合には、図43に示す処理は、その後そのままリターンされる。また、第1演出操作ボタン13の操作信号が入力されない場合も(ステップS222でNO)、図43に示す処理は、その後そのままリターンされる。

【0213】

図44は、変動パターンコマンド(A0*[H])の受信時における演出制御基板41の処理の流れを示すフローチャートである。変動パターンコマンド(A0*[H])を演出制御基板41が受信すると、CPU41Aは、変動パターンコマンド(A0*[H])のイベントデータを参照し(ステップS231)、イベントデータの内容を確認する。

また、受信した変動パターンコマンド(A0*[H])が第1特別図柄用であるときには、CPU41Aは、第1の保留メモリ71の第1～第4先読み記憶エリアM11～M14(図8参照)の内容を、それぞれ、第0～第3先読み記憶エリアM10～M13に移行する。また、受信した変動パターンコマンド(A0*[H])が第2特別図柄用であるときには、CPU41Aは、第2の保留メモリ72の第1～第4先読み記憶エリアM21～M24(図8参照)の内容を、それぞれ、第0～第3先読み記憶エリアM20～M23に移行する(ステップS232)。

【0214】

また、先読み情報の移動に併せて、対応する第1または第2の保留カウンタ73, 74の値が1だけデクリメント(-1)される(ステップS233)。

次いで、CPU41Aは、保留数表示部101, 121(図3等参照)の表示を更新する保留表示更新処理を実行する(ステップS234)。CPU41Aは、保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている保留態様変化パターンの内容に基づいて、液晶表示ユ

10

20

30

40

50

ニット24の保留数表示部101, 121の各保留表示102を更新表示する。先読み保留変化予告を実行する場合には、CPU41Aは、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、決定された特別保留表示態様(「青」、「緑」または「赤」のいずれか)で表示する。また、CPU41Aは、先読み保留変化予告のなっていない保留表示102を、「白」の保留表示態様で表示する。また、ボタン保留表示演出付きの先読み保留変化予告であるときは、予告の対象となっている保留表示102を、ボタン保留表示態様202で表示する。

【0215】

次いで、CPU41Aは、当該変動保留表示部103(図3等参照)の表示を更新する保留表示更新処理を実行する(ステップS235)。CPU41Aは、液晶表示ユニット24の当該変動保留表示部103の当該変動保留表示104を、保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンの「保留1」の保留表示態様に更新表示する。すなわち、当該変動保留変化予告を実行する場合には、CPU41Aは、先読み保留変化予告時の「保留1」用の保留表示102と同じ保留表示態様で、当該変動保留表示104を表示する。また、当該変動保留変化予告を実行しない場合には、CPU41Aは、当該変動保留表示104を、「白」の保留表示態様で表示する。

10

【0216】

また、ボタン保留表示演出付きの先読み保留変化予告のまま変動動作の開始を迎えた場合には、CPU41Aは、前述のランクアップ演出を実行する。すなわち、CPU41Aは、変動動作の開始時には当該変動保留表示104を「白」の保留表示態様で表示させると共に、変動動作の途中で、「白」から、先読み予告用の保留態様パターンの「保留1」に基づく保留表示態様(「青」、「緑」または「赤」のいずれか)までランクアップさせる。ランクアップ演出後には、当該変動保留表示104が、先読み予告用の保留態様パターンに基づく保留表示態様(たとえば「赤」)で表示される。

20

【0217】

そして、CPU41Aは、受信した変動パターンコマンド(A0**[H])および図柄コマンドに応答して、液晶表示制御基板44に制御コマンドを送信し、液晶表示ユニット24の演出図柄の変動動作を開始させる(ステップS236)。また、変動パターンが、リーチパターン等である場合には、キャラクタ等を用いた予告演出等が行われる。図44に示す処理は、その後そのままリターンされる。

30

【0218】

図45は、図44に示す当該変動保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

パチンコ機201では、先読み保留変化予告が実行された始動情報については、その後に当該変動先読み保留変化予告を行う。当該変動先読み保留変化予告の保留表示態様は、その始動情報に対応する先読み保留変化予告の場合と同じ保留表示態様である。また、この第2実施形態では、先読み保留変化予告が実行されていない始動情報については、当該変動先読み保留変化予告は行われない。

【0219】

40

その当該変動保留表示104の表示対象が、既に、先読み保留変化予告またはボタン保留表示演出付きの先読み保留変化予告が実行済みの始動情報である場合、すなわち当該変動先読み保留変化予告を実行する場合(ステップS241でYES)、CPU41Aは、ボタン保留表示演出フラグ271(図36参照)の値を参照して、ボタン保留表示演出の実行中か否かを調べる(ステップS242)。一方、その当該変動保留表示104の表示対象が、ボタン保留表示演出付きの先読み保留変化予告または先読み保留変化予告に対応していない始動情報である場合(ステップS241でNO)、当該変動保留表示更新処理は、その後そのままリターンされる。

【0220】

次に、ボタン保留表示演出の実行中であるか否かが調べられる。ボタン保留表示演出フ

50

ラグ271の値が5A[H]であるとき(ステップS242でYES)、すなわちボタン保留表示演出の実行中であるときには、CPU41Aは、当該変動保留表示104を「白」の保留表示態様で表示する(ステップS243)と共に、ランクアップ演出フラグ272の値を5A[H]とする(ステップS244)。その後、当該変動保留表示更新処理はリターンされる。

【0221】

一方、ボタン保留表示演出フラグ271の値が00[H]であるとき(ステップS242でNO)、すなわち、ボタン保留表示演出を伴わない先読み保留変化予告であるか、またはボタン保留表示演出が既に終了している場合には、CPU41Aは、決定保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンの「保留1」と同等の保留表示態様で、当該変動保留表示104を表示する(ステップS245)。その後、当該変動保留表示更新処理はリターンされる。

【0222】

図46は、ランクアップ演出時における処理の流れを示すフローチャートである。

第1または第2特別図柄(演出図柄)の変動開始後、ランクアップ演出フラグ272の値が5A[H]である状態で(ステップS251でYES)、所定タイミングになると(ステップS252でYES)、CPU41Aは、演出図柄の変動動作の途中において当該変動保留表示104の保留表示態様がランクアップするランクアップ演出を実行する。そして、CPU41Aは、ランクアップ演出後に、決定保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンの「保留1」と同等の保留表示態様で当該変動保留表示104を表示する(ステップS253)と共に、ランクアップ演出フラグ272の値を00[H]に戻す(ステップS254)。その後、図46に示す処理は、リターンされる。

【0223】

一方、第1または第2特別図柄(演出図柄)の変動開始後、ランクアップ演出フラグ272の値が00[H]であるとき(ステップS251でNO)や、所定タイミングを除くタイミングであるとき(ステップS252でNO)には、図46に示す処理は、そのままリターンされる。

【0224】

図47は、先読み保留変化予告から当該変動保留変化予告へのシフト移行時における、液晶表示ユニット24の表示内容の一例を示す図である。

第2実施形態に係るパチンコ機201では、第1実施形態の場合と異なり、当該変動保留変化予告用の保留表示態様の決定を独立して行っておらず、CPU41Aは、先読み予告用の保留態様パターンに基づいて、その保留態様パターンの「保留1」と同じ保留表示態様で、当該変動保留表示104を表示している。

【0225】

そのため、「保留1」の保留表示102から当該変動保留表示104にシフト移行する場合には、シフト移行後の当該変動保留表示104の保留表示態様は、シフト移行前の「保留1」の保留表示102と同等である。たとえば、シフト移行前の「保留1」の保留表示102の保留表示態様が、図47(a)に示すように「赤」である場合には、シフト移行後の当該変動保留表示104の保留表示態様は、図47(b)に示すように「赤」である。

【0226】

図48および図49は、ボタン保留表示演出中における、液晶表示ユニット24の表示内容の一例を示す図である。

第1の保留数表示部101に保留表示102が3つある状態で、第1特別図柄始動口26に、ボタン付きの先読み保留変化予告の始動入賞がある場合、図48(a)に示すように、新しい始動入賞に対応して、ボタン保留表示態様202の保留表示102が表示される。

図48(b)、図48(c)および図49(a)に示すように、第1または第2特別図

10

20

30

40

50

柄（演出図柄）の変動動作の消化に伴って、ボタン保留表示態様 2 0 2 の保留表示 1 0 2 は、1 つずつシフト移行する。

【 0 2 2 7 】

図 4 9 (a) および図 4 9 (b) に示すように、ボタン付きの先読み保留変化予告の実行中において、第 1 演出操作ボタン 1 3 (図 1 参照) が操作されずに (第 1 演出操作ボタン 1 3 の操作を受け付けずに) 保留表示 1 0 2 の保留表示態様が操作保留表示態様 2 0 2 のまま、操作保留表示態様 2 0 2 に対応する変動動作が開始されると、その始動記憶に対応する当該変動保留表示 1 0 4 は、「白」の保留表示態様のまま表示開始される。その後、当該変動保留表示 1 0 4 によるランクアップ演出が行われる。

具体的には、ランクアップ演出では、図 4 9 (b) および図 4 9 (c) に示すように、CPU 4 1 A は、第 1 または第 2 特別図柄（演出図柄）の変動動作の開始時には当該変動保留表示 1 0 4 を「白」の保留表示態様で表示させると共に、変動動作の途中で、「白」から、先読み予告用の保留態様パターンの「保留 1」に基づく保留表示態様（「青」、「緑」または「赤」のいずれか）までランクアップさせる。ランクアップ演出後には、当該変動保留表示 1 0 4 が、先読み予告用の保留態様パターンの「保留 1」に基づく保留表示態様（たとえば「赤」）で表示される。

【 0 2 2 8 】

以上により、第 2 実施形態によれば、保留表示 1 0 2 の保留表示態様が操作保留表示態様 2 0 2 のまま変動動作の開始を迎えた場合であっても、直ちに、当該変動保留表示 1 0 4 に決定されている保留表示態様が表示されることはなく、決定されている保留表示態様は、変動動作の途中で表示される。そのため、遊技者が要望する最適な演出の実行を妨げることなく、当該変動保留変化予告を実行することができる。したがって、ボタン付きの先読み保留変化予告、および当該変動保留変化予告の演出効果の向上を図ることができ、ゆえに、遊技の興趣の高いパチンコ機 2 0 1 を提供できる。

【 0 2 2 9 】

次に、パチンコ機 2 0 1 の第 1 の変形例について説明する。パチンコ機 2 0 1 の第 1 の変形例が前述の内容と相違する点は、保留表示 1 0 2 の保留表示態様が操作保留表示態様 2 0 2 のまま変動動作の開始を迎えた場合に、当該変動保留表示 1 0 4 がランクアップ演出は行わないのではなく、当該変動保留表示 1 0 4 が最後までデフォルト態様（「白」）で表示され続けるようにした点である。すなわち、このような場合には、当該変動保留変化予告は実行されない。以下、第 1 の変形例について具体的に説明する。

【 0 2 3 0 】

図 5 0 は、第 1 の変形例に係る、当該変動保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

その当該変動保留表示 1 0 4 の表示対象が、既に、先読み保留変化予告またはボタン保留表示演出付きの先読み保留変化予告が実行済みの始動情報である場合、すなわち当該変動先読み保留変化予告を実行する場合（ステップ S 2 6 1 で YES）、CPU 4 1 A は、ボタン保留表示演出フラグ 2 7 1 (図 3 6 参照) の値を参照して、ボタン保留表示演出の実行中か否かを調べる（ステップ S 2 6 2）。一方、その当該変動保留表示 1 0 4 の表示対象が、ボタン保留表示演出付きの先読み保留変化予告または先読み保留変化予告に対応していない始動情報である場合（ステップ S 2 6 1 で NO）、当該変動保留表示更新処理は、その後そのままリターンされる。

【 0 2 3 1 】

次に、ボタン保留表示演出の実行中であるか否かが調べられる。ボタン保留表示演出フラグ 2 7 1 の値が 5 A [H] であるとき（ステップ S 2 6 2 で YES）、すなわちボタン保留表示演出の実行中であるときには、CPU 4 1 A は、当該変動保留表示 1 0 4 を「白」の保留表示態様で表示する（ステップ S 2 6 3）。その後、当該変動保留表示更新処理はリターンされる。

一方、ボタン保留表示演出フラグ 2 7 1 の値が 0 0 [H] であるとき（ステップ S 2 6 2 で NO）、すなわち、ボタン保留表示演出を伴わない先読み保留変化予告であるか、ま

たはボタン保留表示演出が既に終了している場合には、CPU 41Aは、決定保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンの「保留1」と同等の保留表示態様で、当該変動保留表示104を表示する(ステップS264)。その後、当該変動保留表示更新処理はリターンされる。

【0232】

図51および図52は、第1の変形例に係るボタン保留表示演出中における、液晶表示ユニット24の表示内容の一例を示す図である。

図51(a)および図51(b)に示すように、ボタン付きの先読み保留変化予告の実行中において、第1演出操作ボタン13(図1参照)が操作されずに保留表示102の保留表示態様が操作保留表示態様202のまま、操作保留表示態様202に対応する変動動作が開始されると、CPU 41Aは、図51(b)に示す変動動作の開始時だけでなく、図52に示す変動動作の全期間に亘って当該変動保留表示104が「白」の保留表示態様で表示される。

【0233】

以上により、第1の変形例によれば、保留表示102の保留表示態様が操作保留表示態様202のまま変動動作の開始を迎えた場合には、当該変動保留変化予告は実行されない。そのため、遊技者が要望する最適な演出の実行を妨げることがない。したがって、ボタン付きの先読み保留変化予告、および当該変動保留変化予告の演出効果の向上を図ることができ、ゆえに、遊技の興趣の高いパチンコ機201を提供できる。

【0234】

次に、パチンコ機201の第2の変形例について説明する。パチンコ機201の第2の変形例が前述の内容と相違する点は、保留表示102の保留表示態様が操作保留表示態様202のまま変動動作の開始を迎えた場合に、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様を決定し直し、その決定し直した保留表示態様までランプアップするランプアップ演出を行う点である。以下、パチンコ機201の第2の変形例について具体的に説明する。

【0235】

図53は、第2の変形例に係る、当該変動保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

次の当該変動保留表示104の対象が、既に先読み保留変化予告が実行されている始動情報である場合、すなわち当該変動先読み保留変化予告を実行する場合(ステップS271でYES)、CPU 41Aは、ボタン保留表示演出フラグ271(図36参照)の値を参照して、ボタン保留表示演出の実行中か否かを調べる(ステップS272)。一方、先読み保留変化予告に対応していない始動情報である場合(ステップS271でNO)、当該変動保留表示更新処理は、その後そのままリターンされる。

【0236】

次に、ボタン保留表示演出の実行中であるか否かが調べられる。ボタン保留表示演出フラグ271の値が5A[H]であるとき(ステップS272でYES)、すなわちボタン保留表示演出の実行中であるときには、CPU 41Aは、当該変動保留表示104を「白」の保留表示態様で表示する(ステップS273)と共に、ランクアップ演出フラグ272の値を5A[H]とする(ステップS274)。また、CPU 41Aは、ランプアップ演出における、当該変動保留表示104の最終の保留表示態様を抽選決定(ステップS275)し、その最終の保留表示態様を決定保留態様変化パターン記憶部77等の記憶部に記憶しておく。

【0237】

一方、ボタン保留表示演出フラグ271の値が00[H]であるとき(ステップS272でNO)、すなわち、ボタン保留表示演出を伴わない先読み保留変化予告であるか、またはボタン保留表示演出が既に終了している場合には、CPU 41Aは、決定保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンの「保留1」と同等の保留表示態様で、当該変動保留表示104を表示する(ステップS276)。その後、当該変動保留表示更新処理はリターンされる。

【 0 2 3 8 】

図 5 4 は、ランクアップ演出時における処理の流れを示すフローチャートである。

第 1 または第 2 特別図柄（演出図柄）の変動開始後、ランクアップ演出フラグ 2 7 2 の値が 5 A [H] である状態で（ステップ S 2 8 1 で Y E S ）、所定タイミングになると（ステップ S 2 8 2 で Y E S ）、C P U 4 1 A は、演出図柄の変動動作の途中においてランクアップ演出を実行する。このランクアップ演出では、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様が、決定された最終の保留表示態様に向かうようにランクアップする。そして、C P U 4 1 A は、ランクアップ演出後に、決定された最終の保留表示態様で当該変動保留表示 1 0 4 を表示する（ステップ S 2 8 3 ）と共に、ランクアップ演出フラグ 2 7 2 の値を 0 0 [H] とする（ステップ S 2 8 4 ）。その後、図 5 4 に示す処理は、リターンされる。

10

【 0 2 3 9 】

一方、第 1 または第 2 特別図柄（演出図柄）の変動開始後、ランクアップ演出フラグ 2 7 2 の値が 0 0 [H] であるとき（ステップ S 2 8 1 で N O ）や、所定タイミングを除くタイミングであるとき（ステップ S 2 8 2 で N O ）には、図 5 4 に示す処理は、そのままリターンされる。

図 5 5 は、第 2 の変形例に係るボタン保留表示演出中における、液晶表示ユニット 2 4 の表示内容の一例を示す図である。

【 0 2 4 0 】

図 5 5 (a) および図 5 5 (b) に示すように、ボタン付きの先読み保留変化予告の実行中において、第 1 演出操作ボタン 1 3 (図 1 参照) が操作されずに保留表示 1 0 2 の保留表示態様が操作保留表示態様 2 0 2 のまま、操作保留表示態様 2 0 2 に対応する変動動作が開始されると、当該変動保留表示 1 0 4 によるランクアップ演出が行われる。具体的には、第 2 の変形例に係るランクアップ演出では、図 5 5 (b) および図 5 5 (c) に示すように、C P U 4 1 A は、第 1 特別図柄（演出図柄）の変動動作の開始時には当該変動保留表示 1 0 4 を「白」の保留表示態様で表示させると共に、変動動作の途中で、再度決定された最終の保留表示態様（「青」、「緑」または「赤」のいずれか。図 5 5 (c) では「緑」）までランクアップさせる。ランクアップ演出後には、当該変動保留表示 1 0 4 が、再度決定された最終の保留表示態様（たとえば「緑」）で表示される。

20

【 0 2 4 1 】

次に、パチンコ機 2 0 1 の第 3 の変形例について説明する。

パチンコ機 2 0 1 では、第 1 演出操作ボタン 1 3 (図 1 参照) の操作により、保留表示 1 0 2 の保留表示態様がボタン保留表示態様 2 0 2 から、決定保留態様変化パターン記憶部 7 7 の先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づく保留表示態様に復帰するものとして説明した。しかしながら、第 3 の変形例では、ボタン保留表示態様 2 0 2 からの復帰したときの保留表示 1 0 2 の保留表示態様を、操作時保留態様抽選により決定している。なお、ボタン保留表示態様 2 0 2 からの復帰時の次の変動動作以降は、先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づく保留表示態様で保留表示 1 0 2 が表示される。

30

【 0 2 4 2 】

図 5 6 は、第 3 の変形例に係る操作時保留態様抽選用の抽選表 T 3 1 の一例を示す図である。図 5 6 に示す抽選表 T 3 1 では、保留数表示部 1 0 1 , 1 2 1 における保留表示位置毎に、操作時保留態様抽選用乱数が割り当てられている。

40

図 5 7 は、第 3 の変形例に係るボタン保留表示演出中における処理の流れを示すフローチャートである。

【 0 2 4 3 】

具体的には、ボタン保留表示演出フラグ 2 7 1 の値が 5 A [H] である状態、すなわち、ボタン保留表示演出中である状態において（ステップ S 2 9 1 で Y E S ）、第 1 演出操作ボタン 1 3 (図 1 参照) の操作信号が入力されると（ステップ S 2 9 2 で Y E S ）、C P U 4 1 A は、抽選表 T 3 1 を用いて操作時保留態様抽選を行い（ステップ S 2 9 3 ）、

50

第1演出操作ボタン13が操作されたときの保留表示態様を決定する。

【0244】

そして、CPU41Aは、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、ボタン保留表示態様202（図40（b）等参照）から、操作時保留態様抽選によって決定された先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づいた保留表示態様に変更する（ステップS294）と共に、ボタン保留表示演出フラグ271の値を00[H]に戻す（ステップS295）。その後、図57に示す処理はリターンされる。

【0245】

一方、ボタン保留表示演出フラグ271の値が00[H]であるとき（ステップS291でNO）、すなわち、ボタン保留表示演出を伴わない先読み保留変化予告であるか、またはボタン保留表示演出が既に終了している場合には、図57に示す処理は、その後そのままリターンされる。また、第1演出操作ボタン13（図1参照）の操作信号が入力されない場合も（ステップS292でNO）、図57に示す処理は、その後そのままリターンされる。

【0246】

たとえば、保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている、先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンが、「保留1（保1）」、「保留2（保2）」、「保留3（保3）」および「保留4（保4）」が、それぞれ、「赤」、「緑」、「青」および「白」である場合を例に挙げて検討する。また、ボタン保留表示態様202が「保留4」に位置するときに第1演出操作ボタン13が操作され、操作時保留態様抽選によって決定された第1演出操作ボタン13の操作時（復帰時）の保留表示態様が、「青」（ボタン保留表示態様202「青」）であるとする。この場合、第1の保留数表示部101における保留表示102は、第1特別図柄の変動動作の消化に伴って、「保留4」（復帰時）、「保留3」、「保留2」および「保留1」の各保留表示位置で、それぞれ「青」、「青」、「緑」および「赤」の保留表示態様で表示される。

【0247】

次に、パチンコ機201の第4の変形例について説明する。

前述の第3の変形例では、ボタン保留表示態様202からの復帰したときの保留表示102の保留表示態様を、操作時保留態様抽選により決定するとして説明した。これに対し、パチンコ機201の第4の変形例では、ボタン保留表示態様202からの復帰後以降は、再抽選された保留態様変化パターンに基づく態様で保留表示102が表示される。

【0248】

図58は、第4の変形例に係るボタン保留表示演出中における処理の流れを示すフローチャートである。

具体的には、ボタン保留表示演出フラグ271の値が5A[H]である場合（ステップS301でYES）、すなわち、ボタン保留表示演出中である場合において、第1演出操作ボタン13（図1参照）の操作信号が入力されると（ステップS302でYES）、CPU41Aは、先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンを抽選により再決定し（ステップS303）、決定保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンの種別が、再決定した保留態様変化パターンに書き換える（ステップS304）。

【0249】

そして、CPU41Aは、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、ボタン保留表示態様202（図40（b）等参照）から、更新された先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づいた保留表示態様に変更する（ステップS305）と共に、ボタン保留表示演出フラグ271の値を00[H]に戻す（ステップS306）。その後、図58に示す処理はリターンされる。

【0250】

一方、ボタン保留表示演出フラグ 271 の値が 00 [H] であるとき (ステップ S301 で NO)、すなわち、ボタン保留表示演出を伴わない先読み保留変化予告であるか、またはボタン保留表示演出が既に終了している場合には、図 58 に示す処理は、その後そのままリターンされる。また、第 1 演出操作ボタン 13 (図 1 参照) の操作信号が入力されない場合も (ステップ S302 で NO)、図 58 に示す処理は、その後そのままリターンされる。

【0251】

なお、第 4 の変形例においては、次のような問題がある。すなわち、パチンコ機 201 に用意されている保留態様変化パターン PD は、図 37 に示すようにたとえば 23 個あるのであるが、このうちの約半数の 11 個の保留態様変化パターンは、「保留 1」に対応する保留表示態様が「赤」である。そのため、ボタン保留表示態様 202 が「保留 1」に位置するときに第 1 演出操作ボタン 13 が操作されると、ボタン保留表示態様 202 から復帰した保留表示 102 の保留表示態様が、先読み信頼度の高い「赤」になる確率が高い。

【0252】

この場合、図 59 に示すような抽選表 T41 を用いて、ボタン保留表示態様 202 が「保留 1」に位置するときに第 1 演出操作ボタン 13 が操作されたときの保留表示 102 の保留表示態様を抽選により決定するようにしてもよい。

図 60 は、本発明の第 3 実施形態に係る演出制御基板 41 の電氣的構成を示すブロック図である。

【0253】

第 3 実施形態に係るパチンコ機 301 の説明において、第 1 実施形態に係るパチンコ機 1 と共通する部分には、図 1 ~ 図 35B の場合と同一の参照符号を付して、説明を省略する。パチンコ機 301 の機械的、電氣的構成および基本的な制御内容は、それぞれパチンコ機 1 と同等である。また、以下で特に言及する場合を除き、リーチ演出等の演出も第 1 実施形態の場合と同様である。以下では、主に、パチンコ機 301 がパチンコ機 1 と相違する部分について説明する。

【0254】

図 60 に示すように、演出制御基板 41 の ROM 41C は、演出制御基板 41 の ROM 41C は、抽選表記憶部 375 と、保留態様変化パターン記憶部 378 とを含む。抽選表記憶部 375 は、先読み保留変化予告用の抽選表や当該変動保留変化予告用の抽選表を含む種々の抽選表 (抽選テーブル) を記憶している。保留態様変化パターン記憶部 378 は、先読み保留変化予告の保留態様変化パターンを記憶する。抽選表記憶部 375 に記憶される抽選表は、たとえば、第 1 実施形態に係る抽選表 T1 ~ T23 と同等の抽選表を含む。保留態様変化パターン記憶部 378 に記憶される保留態様変化パターンは、第 2 実施形態に係る保留態様変化パターン PD (図 37 参照) と同等のパターンを含む。

【0255】

図 60 に示すように、演出制御基板 41 の RAM 41B には、第 1 の保留メモリ 71、第 2 の保留メモリ 72、第 1 の保留カウンタ 73、第 2 の保留カウンタ 74、先読み保留変化予告フラグ 76 および保留態様変化パターン記憶部 77 に加えて、先読み予告実行待機フラグ 371 が設けられている。

パチンコ機 301 では、先読み保留変化予告抽選に当選したときであっても、この先読み保留変化予告抽選の基になっている始動情報がスーパーリーチまたはスペシャルリーチ 1, 2 の変動動作中に取得されたものである場合には、当選した先読み保留変化予告は、当該スーパーリーチの変動動作中または当該スペシャルリーチ 1, 2 の変動動作中には実行されずに、その実行が待機させられる。

【0256】

先読み予告実行待機フラグ 371 は、先読み保留変化予告の実行が待機させられている状態であるか否かを記憶しておくためのものである。先読み保留変化予告の実行が待機させられている状態には、先読み予告実行待機フラグ 371 の値がたとえば 5A [H] に設定されており、また、先読み保留変化予告の実行が待機させられていないときには、たと

10

20

30

40

50

えば 00 [H] に設定されている。

【0257】

図 6 1 は、本発明の第 3 実施形態に係る、保留加算コマンド (B2** [H] ~ B9** [H]) の受信時における演出制御基板 4 1 の処理の流れを示すフローチャートである。

主制御基板 4 0 からの保留加算コマンド (B2** [H] ~ B9** [H]) を演出制御基板 4 1 が受信すると、CPU 4 1 A は、保留加算コマンド (B2** [H] ~ B9** [H]) のモードデータの値、およびイベントデータ (先読み情報) をそれぞれ参照 (ステップ S 4 0 1) し、イベントデータの内容を確認する。

【0258】

イベントデータの内容が先読み禁止情報である場合を除き (ステップ S 4 0 2 で NO)、CPU 4 1 A は、保留加算コマンド (B2** [H] ~ B9** [H]) からイベントデータを取り出し、その保留加算コマンド (B2** [H] ~ B9** [H]) のモードデータの値に基づいて、取り出したイベントデータを第 1 または第 2 の保留メモリ 7 1, 7 2 に格納する (ステップ S 4 0 3)。イベントデータの内容が先読み禁止情報である場合には (ステップ S 4 0 2 で YES)、図 6 1 に示す処理は、その後そのままリターンされる。

【0259】

次いで、先読み保留変化予告フラグ 7 6 の値が調べられる (ステップ S 4 0 4)。先読み保留変化予告フラグ 7 6 の値が 5 A [H] であるとき (ステップ S 4 0 4 で YES)、図 6 1 に示す処理は、その後そのままリターンされる。

先読み保留変化予告フラグ 7 6 の値が 00 [H] であるとき、すなわち先読み保留変化予告の非実行時であるときには (ステップ S 4 0 4)、次いで、CPU 4 1 A は、先読み保留変化予告抽選処理 (ステップ S 4 0 5) と、先読み保留変化予告実行待機処理 (ステップ S 4 0 6) と、保留表示更新処理 (ステップ S 4 0 7) をこの順で実行する。

【0260】

ステップ S 4 0 5 の先読み保留変化予告抽選処理では、第 1 実施形態に係る先読み保留変化予告抽選処理 (図 2 8 参照) と同等の処理が実行される。具体的には、CPU 4 1 A は、先読み保留変化予告抽選用の抽選表 (第 1 実施形態に係る抽選表 T 1 (図 1 2 A ~ 図 1 2 D 参照)、抽選表 T 1 1 (図 3 4 A 参照) または抽選表 T 2 1 (図 3 5 A 参照) と同等の抽選表) を参照しつつ、先読み保留変化予告を実行するか否か、および先読み保留変化予告を実行する場合の保留態様変化パターンを決定する。

【0261】

図 6 2 は、ステップ S 4 0 6 の先読み保留変化予告実行待機処理の流れを示すフローチャートである。

実行中の第 1 または第 2 特別図柄 (演出図柄) の変動動作の変動パターンが、所定の特定リーチ (たとえば、この実施形態では、スーパーリーチまたはスペシャルリーチ 1, 2。以下、スーパーリーチまたはスペシャルリーチ 1, 2 を総称して「SPリーチ」という場合がある。) に対応する場合 (ステップ S 4 1 1 で YES)、次いで、先読み予告実行待機フラグ 3 7 1 の値が調べられる (ステップ S 4 1 2)。

【0262】

先読み予告実行待機フラグ 3 7 1 の値が 00 [H] であり (ステップ S 4 1 2 で NO)、すなわち、当選した先読み保留変化予告の待機がない場合、CPU 4 1 A は、先読み保留変化予告抽選に当選している場合 (ステップ S 4 1 3 で YES) には、CPU 4 1 A は、先読み予告実行待機フラグ 3 7 1 に 5 A [H] の値を格納する (ステップ S 4 1 4)。その後、図 6 2 に示す処理はリターンされる。

【0263】

一方、先読み予告実行待機フラグ 3 7 1 の値が 5 A [H] であるとき (ステップ S 4 1 2 で YES)、図 6 2 に示す処理は、その後そのままリターンされる。また、先読み保留変化予告抽選に非当選であった場合にも (ステップ S 4 1 4 で NO)、図 6 2 に示す処理は、その後そのままリターンされる。

また、変動動作の変動パターンが SPリーチに対応しないものであったり (ステップ S

10

20

30

40

50

4 1 1でNO)、先読み予告実行待機フラグ371の値が5A[H]であったりするとき(ステップS412でYES)、図62に示す処理は、その後そのままリターンされる。

図63Aは、S407の保留表示更新処理の内容を示すフローチャートである。

【0264】

CPU41Aは、保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている保留態様変化パターンの内容に基づいて、液晶表示ユニット24の保留数表示部101, 121の各保留表示102を更新表示するのであるが、先読み保留変化予告抽選に当選したときであっても、この先読み保留変化予告抽選の基になっている始動情報がSPリーチの変動動作中に取得されたものである場合には、当選した先読み保留変化予告はSPリーチの変動動作中には実行されない。

10

【0265】

具体的には、現在実行中の第1または第2特別図柄(演出図柄)の変動動作の変動パターンが、SPリーチに対応する変動パターンに対応する場合(ステップS421でYES)には、CPU41Aは、次いで、先読み予告実行待機フラグ371の値を参照し、当選した先読み保留変化予告が待機させられている状態であるか否かを調べる(ステップS422)。一方、変動動作の変動パターンがSPリーチに対応しないものである場合(ステップS421でNO)には、図63Aに示す処理は、その後そのままリターンされる。

【0266】

先読み予告実行待機フラグ371の値が5A[H]である場合(ステップS422でYES)、すなわち当選した先読み保留変化予告が待機させられている状態の場合には、CPU41Aは、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、「白」の保留表示態様で表示する(ステップS423)。また、CPU41Aは、先読み保留変化予告のなっていない保留表示102も、「白」の保留表示態様で表示する(ステップS425)。その後、保留表示更新処理はリターンされる。

20

【0267】

一方、当選した先読み保留変化予告の待機がない場合、すなわち先読み予告実行待機フラグ371の値が00[H]である場合(ステップS422でNO)には、CPU41Aは、先読み保留変化予告の対象となる保留表示102を、決定保留態様変化パターン記憶部77に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づいた保留表示態様で表示する(ステップS424)。また、CPU41Aは、先読み保留変化予告のなっていない保留表示102も、「白」の保留表示態様で表示する(ステップS425)。その後、保留表示更新処理はリターンされる。

30

【0268】

図63Bは、SPリーチの変動動作中の処理の流れを示すフローチャートである。

以下、実行中の第1または第2特別図柄(演出図柄)の変動動作の変動パターンが、SPリーチの変動パターンに対応する場合(ステップ431でYES)である場合について説明する。

【0269】

この場合において、当選した先読み保留変化予告が待機させられている状態であり、かつSPリーチのリーチ演出が終了したときに(ステップS432でYES、かつステップS433でYES)、次いで、増加コマンドの対象になっている始動情報が、変動中の変動動作の開始から所定時間(この実施形態では、たとえば10sec)を経過する前に取得したものであるか否かが調べられる(ステップS434)。なお、実行中の変動動作の変動パターンがSPリーチに対応しない場合(ステップS431でNO)、当選した先読み保留変化予告の待機がない状態である場合(ステップS432でNO)、またはSPリーチの終了タイミングでないとき(ステップS433でNO)には、図63Bに示す処理は、その後そのままリターンされる。

40

【0270】

そして、その始動情報の取得タイミングが、変動中の変動動作の開始から所定時間(たとえば10sec)経過前であるときには(ステップS434でYES)、CPU41Aは

50

、先読み保留変化予告の対象となる保留表示 1 0 2 を、決定保留態様変化パターン記憶部 7 7 に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づいた保留表示態様で表示する（ステップ S 4 3 5）。その後、CPU 4 1 A は、先読み予告実行待機フラグ 3 7 1 に 5 A [H] の値を格納する（ステップ S 4 3 6）。その後、図 6 3 B に示す処理はリターンされる。

【 0 2 7 1 】

一方、その始動情報の取得タイミングが、変動中の変動動作の開始から所定時間（たとえば 1 0 sec）経過後であるときには（ステップ S 4 3 4 で N O）、CPU 4 1 A は、先読み予告実行待機フラグ 3 7 1 に 0 0 [H] の値を格納し（ステップ S 4 3 7）、その後、図 6 3 B に示す処理はリターンされる。

10

すなわち、図 6 3 B に示す処理では、待機させられていた先読み保留変化予告がリーチ演出終了後に非実行であった場合には、待機させられていた先読み保留変化予告が破棄される。

【 0 2 7 2 】

図 6 4 ~ 図 6 6 は、本発明の第 3 実施形態に係る、S P リーチ（ハズレ）中における、液晶表示ユニット 2 4 の表示内容の一例を示す図である。以降の説明において、第 1 の保留数表示部 1 0 1 を用いた先読み保留変化予告を例に挙げて説明する。第 2 の保留数表示部 1 2 1 を用いた先読み保留変化予告については、第 1 の保留数表示部 1 0 1 の保留表示態様の变化の場合と同じであるので、説明を省略する。

【 0 2 7 3 】

20

第 3 実施形態に係るパチンコ機 3 0 1 では、第 1 実施形態で説明したように、液晶表示ユニット 2 4 の 3 つの図柄表示領域 2 4 L , 2 4 C , 2 4 R において、演出図柄の変動動作が行われる。演出表示制御基板 4 1 が、第 1 特別図柄用の変動パターンコマンド (A 0 * * [H]) を受信すると、図 6 4 (a) に示すように、演出図柄の変動動作が開始される。この変動動作がスーパーリーチである場合には、図 6 4 (b) に示すように、まず演出図柄のリーチ状態が表示され、次いで、図 6 4 (c) に示すように、所定のリーチ演出画像 3 1 1 を用いた演出が実行される。リーチ演出画像 3 1 1 を用いた演出中には、演出図柄は、液晶表示ユニット 2 4 の隅の一部分に設けられた縮小図柄変動領域 3 1 2 において変動する。

【 0 2 7 4 】

30

S P リーチの変動動作中に、第 1 特別図柄の始動入賞があったときには、1 つの始動入賞につき、第 1 の保留数表示部 1 0 1 の保留表示 1 0 2 が 1 つ増加する。図 6 4 (c) には、スーパーリーチの変動動作中に第 1 特別図柄の始動入賞が 2 つあった場合を示す。このうち、先の始動入賞は、S P リーチに対応しておらず、先読み保留変化予告にも当選していない。一方、後の始動入賞は、S P リーチに対応しかつ先読み保留変化予告にも当選している。先の始動入賞に対応して第 1 の保留数表示部 1 0 1 の「保留 2」の保留表示位置に、後の始動入賞に対応して第 1 の保留数表示部 1 0 1 の「保留 3」の保留表示位置に、それぞれ、保留表示 1 0 2 が増加表示されるが、増加する保留表示 1 0 2 の保留表示態様はいずれも「白」である。すなわち、当選した先読み保留変化予告（「保留 3」の保留表示 1 0 2 に対応）は、S P リーチの変動動作中は実行されずに待機させられる。

40

【 0 2 7 5 】

演出図柄の変動動作の開始から所定時間（この実施形態では、たとえば 1 0 sec）を経過した後も、図 6 5 (a) に示すように、液晶表示ユニット 2 4 の表示画面において、S P リーチのリーチ演出画像 3 1 1 を用いた演出が実行されている。S P リーチは複数の種別を含んでいるが、前述した所定時間（たとえば 1 0 sec）は、複数の S P リーチに共通する変動時間である（たとえば、スーパーリーチの変動時間が 1 5 sec、スペシャルリーチ 1 の変動時間が 2 0 sec、スペシャルリーチ 2 の変動時間が 2 5 sec）。換言すると、各 S P リーチの変動時間は、前述した所定時間よりも長くなるように設定されている。

【 0 2 7 6 】

その後、液晶表示ユニット 2 4 に、図 6 5 (b) に示すように、縮小図柄変動領域 3 1

50

2においてリーチハズレの状態で演出図柄が停止表示されると共に、ハズレである旨を示すハズレ演出画像（たとえば「敗北」というメッセージ）313が表示される。これにより、リーチ演出が終了し、次いで、リーチハズレ（特定表示結果とはならない表示態様）を示す3つ演出図柄（「7」「8」「7」）が、図65（c）に示すように、図柄表示領域24L, 24C, 24Rにそれぞれ仮停止される。

【0277】

次いで、待機させられていた先読み保留変化予告（新たに取得された始動情報についての先読み保留変化予告）が実行される。これにより、図66（a）に示すように、先読み保留変化予告の対象になっている保留表示102（たとえば「保留3」）の保留表示態様が、決定されていた保留表示態様（たとえば「赤」）に変化する。

10

その後、演出図柄の仮停止状態が終了し、図66（b）に示すように、ハズレリーチを示す3つの演出図柄（「7」「8」「7」）が図柄表示領域24L, 24C, 24Rにそれぞれ停止表示される。

【0278】

そして、変動動作が順次消化された先読み保留変化予告の対象であった始動情報についての変動動作が開始されると、その変動動作において、図66（c）に示すように、SPリーチのリーチ演出が実行される。

なお、図64（c）および図65（a）を参照して、演出図柄の変動動作の開始から所定時間（たとえば10sec）の経過前ではなく、変動動作の開始から所定時間（たとえば10sec）の経過後に第1特別図柄の始動入賞があり、この新たな始動入賞がSPリーチに対応しかつ先読み保留変化予告にも当選している場合において、当選した先読み保留変化予告（「保留4」の保留表示102に対応）は待機されることなく、そのまま破棄される。そして、この始動入賞に対応して第1の保留数表示部101の所定の保留表示位置に、「白」の保留表示態様で保留表示102が表示される。

20

【0279】

以上により、この実施形態によれば、SPリーチのリーチ演出を伴う変動動作中に取得した始動情報についての先読み保留変化予告は、SPリーチの変動動作中には実行されずに、その実行が待機させられる。そして、待機させられている先読み保留変化予告の基になる始動情報が、SPリーチの変動パターンに対応するものである場合には、待機させられている先読み保留変化予告（新たに取得された始動情報についての先読み保留変化予告）が、このSPリーチのリーチ演出後、この変動動作の終了までに実行される（実行可能になる）。

30

【0280】

待機させられている先読み保留変化予告の基になる始動情報がSPリーチの変動パターンに対応するものである場合に限り、SPリーチのリーチ演出後に、待機させられている先読み保留変化予告が実行される。この場合、SPリーチのSPリーチ演出後に、先読み保留変化予告が行われて次回以降の変動動作に対応する保留表示102の保留表示態様が変化するのであるが、保留表示102に対応する変動動作において、SPリーチが実行される。そのため、SPリーチのリーチ演出に対する遊技者の期待度が低下することを防止できる。これにより、遊技者の期待感を低下または喪失させることなく、斬新な先読み保留変化予告の演出を実行するパチンコ機301を提供できる。

40

【0281】

次に、パチンコ機301の変形例について説明する。

パチンコ機301では、待機させられたもののSPリーチのリーチ演出終了後に非実行であった先読み保留変化予告は破棄されるものとしていたが、待機させられたもののSPリーチのリーチ演出終了後に非実行であった先読み保留変化予告はそのSPリーチ以降も持ち越されるようになっていてもよい。この場合、持ち越された先読み保留変化予告が、そのSPリーチ以降のSPリーチの変動動作終了時に実行可能とされている。以下、具体的に説明する。

【0282】

50

図 6 7 は、パチンコ機 3 0 1 の変形例に係る、S P リーチの変動動作中の処理の流れを示すフローチャートである。

以下、実行中の第 1 または第 2 特別図柄（演出図柄）の変動動作の変動パターンが、S P リーチの変動パターンに対応する場合（ステップ S 4 4 1 で Y E S）である場合において、当選した先読み保留変化予告が待機させられている状態であり、かつ S P リーチのリーチ演出が終了したときに（ステップ S 4 4 2 で Y E S、かつステップ S 4 4 3 で Y E S）、次いで、増加コマンドの対象になっている始動情報が、変動中の変動動作の開始から所定時間（この実施形態では、たとえば 1 0 sec）を経過する前に取得したものであるか否かが調べられる（ステップ S 4 4 4）。なお、実行中の変動動作の変動パターンが S P リーチに対応しない場合（ステップ S 4 4 1 で N O）、当選した先読み保留変化予告の待機がない状態である場合（ステップ S 4 4 2 で N O）、または S P リーチの終了タイミングでないとき（ステップ S 4 4 3 で N O）には、図 6 7 に示す処理は、その後そのままリターンされる。

10

【 0 2 8 3 】

そして、その始動情報の取得タイミングが、変動中の変動動作の開始から所定時間（たとえば 1 0 sec）経過前であるときには（ステップ S 4 4 4 で Y E S）、C P U 4 1 A は、先読み保留変化予告の対象となる保留表示 1 0 2 を、決定保留態様変化パターン記憶部 7 7 に記憶されている先読み保留変化予告用の保留態様変化パターンに基づいた保留表示態様で表示する（ステップ S 4 4 5）。その後、C P U 4 1 A は、先読み予告実行待機フラグ 3 7 1 に 5 A [H] の値を格納する（ステップ S 4 4 6）。その後、図 6 7 に示す処理はリターンされる。

20

【 0 2 8 4 】

一方、その始動情報の取得タイミングが、変動中の変動動作の開始から所定時間（たとえば 1 0 sec）経過後であるときには（ステップ S 4 4 4 で N O）、その後、図 6 7 に示す処理はリターンされる。すなわち、図 6 7 に示す処理では、待機させられていた先読み保留変化予告がリーチ演出終了後に非実行であった場合には、待機させられていた先読み保留変化予告が、その S P リーチ以降も持ち越される。

【 0 2 8 5 】

図 6 8 および図 6 9 は、変形例に係る、S P リーチ（ハズレ）中における、液晶表示ユニットの表示内容の一例を示す図である。

30

図 6 8（a）では、変動動作の開始時に、既に始動入賞済みの始動情報が 2 つあり、そのため、2 つの保留表示 1 0 2 が液晶表示ユニット 2 4 に表示されている。2 つの保留表示 1 0 2 の保留表示態様はいずれも「白」である。

【 0 2 8 6 】

2 つの始動入賞のうち先の始動入賞は、S P リーチに対応しておらず、先読み保留変化予告にも当選していない。一方、後の始動入賞は、S P リーチに対応しかつ先読み保留変化予告にも当選している。つまり、今回の変動動作より以前の S P リーチの変動動作において後の始動入賞があり待機させられたが、S P リーチに対応する始動入賞であったにも拘らず、その S P リーチの変動動作の開始後所定時間経過後の始動入賞であったために、待機させられていた先読み保留変化予告がその S P リーチの変動動作において非実行とされたものである。

40

【 0 2 8 7 】

演出図柄の変動動作の開始から所定時間（この実施形態では、たとえば 1 0 sec）を経過した後、図 6 8（b）に示すように、液晶表示ユニット 2 4 の表示画面において、S P リーチのリーチ演出画像 3 1 1 を用いた演出が実行されている。リーチ演出画像 3 1 1 を用いた演出中には、演出図柄は、液晶表示ユニット 2 4 の隅の一部分に設けられた縮小図柄変動領域 3 1 2 において変動している。その後、図 6 8（c）に示すように、縮小図柄変動領域 3 1 2 においてリーチハズレの状態で演出図柄が停止表示されると共に、ハズレである旨を示すハズレ演出画像（たとえば「敗北」というメッセージ）3 1 3 が表示される。これにより、リーチ演出が終了し、次いで、リーチハズレを示す 3 つ演出図柄（「7

50

」「４」「７」)が、図６９(ａ)に示すように、図柄表示領域２４Ｌ，２４Ｃ，２４Ｒにそれぞれ仮停止される。

【０２８８】

次いで、待機させられていた先読み保留変化予告(今回の変動動作よりも以前のＳＰリーチの変動動作時に待機させられていた先読み保留変化予告)が実行される。これにより、先読み保留変化予告の対象になっている保留表示１０２(たとえば「保留２」)の保留表示態様が、図６９(ｂ)に示すように、決定されていた保留表示態様(たとえば「赤」)に変化する。

【０２８９】

その後、演出図柄の仮停止状態が終了し、図６９(ｃ)に示すように、ハズレリーチを示す３つの演出図柄(「７」「４」「７」)が図柄表示領域２４Ｌ，２４Ｃ，２４Ｒにそれぞれ停止表示される。

10

そして、変動動作が順次消化された先読み保留変化予告の対象であった始動情報についての変動動作が開始されると、その変動動作において、ＳＰリーチのリーチ演出が実行される。

【０２９０】

以上、この発明の３つの実施形態について説明したが、この発明は、他の形態で実施することもできる。

前述した先読み保留変化予告について、以下の構成を採用できる。

たとえば、先読み保留変化予告による保留表示１０２の保留表示態様変化のための演出を、少なくとも１つの図柄表示領域２４Ｌ，２４Ｃ，２４Ｒに出現可能とした構成を採用できる。たとえば、図７０に示すように、保留表示１０２の保留表示態様変化の演出のための態様変化演出図柄(たとえば図７０に示す「変化」と記された演出図柄)４０１を、前述した演出図柄(図２４等参照)とは別に設け、この態様変化演出図柄４０１を液晶表示ユニット２４の所定の図柄表示領域(たとえば図柄表示領域２４Ｃ)に出現可能とする。演出図柄の変動動作(図７０(ａ)参照)の終了後、停止表示される図柄(ハズレ図柄)に態様変化演出図柄４０１が含まれていると(図７０(ｂ)参照)、その後のシフト移行後の保留表示１０２が態様変化することにより、先読み保留変化予告予告が行われる(図７０(ｃ)参照)。このように、態様変化演出図柄４０１を含む３図柄構成とすることにより、最初に停止表示される演出図柄(第１図柄停止)や、その次に停止表示される演出図柄(第２図柄停止)に対する興味が高められる。

20

30

【０２９１】

また、先読み保留変化予告による保留表示１０２の保留表示態様変化のための演出を、２つ以上の図柄表示領域２４Ｌ，２４Ｃ，２４Ｒに出現可能とした構成を採用できる。図７１には、態様変化演出図柄４０１が、複数(図７１(ｂ)では３つ全て)の図柄表示領域２４Ｌ，２４Ｃ，２４Ｒに同時に出現可能する場合を一例として示している。演出図柄の変動動作(図７１(ａ)参照)の終了後、停止表示される図柄の組合せが「変化」「変化」「変化」であると、その後のシフト移行後の保留表示１０２が態様変化することにより(図７１(ｃ)参照)、先読み保留変化予告予告が行われる。この場合、３図柄構成とすることにより、最初に停止表示される演出図柄(第１図柄停止)や、その次に停止表示される演出図柄(第２図柄停止)に対する興味が高められる。

40

【０２９２】

このような場合、図７２に示すように、態様変化演出図柄として、態様が互いに異なる複数種の態様変化演出図柄を設けた構成としてもよい。図７２には、態様変化演出図柄として、複数種の態様変化演出図柄、たとえば第１の態様変化演出図柄(たとえば図７２に示す「変化」と記された演出図柄)４０１と第２の態様変化演出図柄(たとえば図７２に示す「スーパー変化」と記された演出図柄)４０２との２つを設ける場合を示す。

【０２９３】

この場合にも、第１の態様変化演出図柄４０１や第２の態様変化演出図柄４０２を含む３図柄構成とすることにより、最初に停止表示される演出図柄(第１図柄停止)や、その

50

次に停止表示される演出図柄（第2図柄停止）に対する興趣が高められる。

態様変化演出図柄として、態様が互いに異なる複数種の態様変化演出図柄を設けた構成では、図73に示すように、第1の態様変化演出図柄401と第2の態様変化演出図柄402との停止図柄の組合せ態様により、先読み信頼度（大当り信頼度や、保留表示102の保留表示態様変化の回数や大当り信頼度の高い態様への態様変化期待度等を含む。）を異ならせた構成としてもよい。

【0294】

図73では、同じ種類の態様変化演出図柄401，402が揃ったとき（図73（b）および図73（c））の先読み信頼度が、別個の態様変化演出図柄401，402が揃ったとき（図73（a））と比較して高く設定されている。また、第2の態様変化演出図柄402が揃ったとき（図73（c））の先読み信頼度は、第1の態様変化演出図柄401が揃ったとき（図73（b））と比較して高く設定されている。

【0295】

また、態様変化演出図柄として、態様が互いに異なる複数種の態様変化演出図柄を設けた構成において、図74に示すように、第1の態様変化演出図柄401と第2の態様変化演出図柄402との停止の個数（当該本命変動までの消化保留中に停止する演出図柄の数）により、先読み信頼度が異ならされていてもよい。

図74では、第1の態様変化演出図柄401に関し、図柄表示領域24L，24C，24Rに停止表示される第1の態様変化演出図柄401の数が増えるのに従って、先読み信頼度が高くなるように設定されていることが示されている。むろん、第2の態様変化演出図柄402に関し、図柄表示領域24L，24C，24Rに停止表示される第2の態様変化演出図柄402の数が増えるのに従って、先読み信頼度が高くなるように設定されていてもよい。なお、図柄表示領域24L，24C，24Rに停止表示される第1および第2の態様変化演出図柄401，402の合計の数が増えるのに従って、先読み信頼度が高くなるように設定されていてもよい。

【0296】

また、先読み保留変化予告による保留表示102の保留表示態様変化のための演出を、2つ以上の図柄表示領域24L，24C，24Rに出現可能とした構成を採用する場合（たとえば図72または図73に示すような場合）において、図75に示すように、態様変化演出図柄（第1の態様変化演出図柄401と第2の態様変化演出図柄402）がどの図柄表示領域24L，24C，24Rに表示されるかによって、先読み信頼度が異ならされていてもよい。

【0297】

図75には、1つの態様変化演出図柄401が停止表示される場合、中央の図柄表示領域24Cに態様変化演出図柄401が停止される場合に最も先読み信頼度が高く、次いで、右の図柄表示領域24Rに態様変化演出図柄401が停止される場合の先読み信頼度が高く、左の図柄表示領域24Lに態様変化演出図柄401が停止される場合を最も先読み信頼度が低いとした一例が示されている。

【0298】

なお、図70～図75等を用いて説明した先読み保留変化予告の構成は、主制御基板40からの保留加算コマンド（B2**[H]～B9**[H]）（先読みコマンド）に基づいて、演出制御基板41が実現している。

また、前述した当該変動保留変化予告について、以下の構成を採用できる。

たとえば、当該変動保留変化予告（当該変動保留表示104の保留表示態様変化の予告）の可能な態様変化予告演出図柄411を、前述した演出図柄（図24等参照）とは別に設け、この態様変化演出図柄411を液晶表示ユニット24の所定の少なくとも1つの図柄表示領域24L，24C，24Rに出現可能とした構成を採用できる。

【0299】

また、態様変化予告演出図柄411を、2つ以上の図柄表示領域24L，24C，24Rに出現可能とした構成を採用できる。

図 7 6 および図 7 7 には、3 つの演出図柄の変動動作中（図 7 6（a）参照）に、態様変化予告演出図柄 4 1 1 が、残り 1 つの図柄表示領域 2 4 C を除いて、先の 2 つの図柄表示領域 2 4 L，2 4 R に態様変化予告演出図柄 4 1 1 が停止表示される態様変化予告リーチ状態の成立後（図 7 6（b）参照）、残り 1 つの図柄表示領域 2 4 C に態様変化予告演出図柄 4 1 1 が停止表示されて、3 つの図柄表示領域 2 4 L，2 4 C，2 4 R の全てに態様変化予告演出図柄 4 1 1 が揃うと（図 7 6（c）参照）、当該変動保留表示 1 0 4 が態様変化することにより（図 7 7（a）参照）当該変動保留変化予告が行われると共に、演出図柄の変動動作（疑似変動の 2 回目）が再度開始される。

【0300】

一方、態様変化予告リーチ状態の成立後（図 7 7（b）参照）、残り 1 つの図柄表示領域 2 4 C に演出図柄（たとえば「4」）が停止されると、当該変動保留表示 1 0 4 が（「白」のまま）態様変化なく、停止表示されている 2 つの態様変化予告演出図柄 4 1 1 に代えて、互いに同じ 2 つの演出図柄（たとえば「2」）が停止表示されたりーチ状態が開始される（図 7 7（c）参照）。このように、態様変化予告演出図柄 4 1 1 を含む 3 図柄構成とすることにより、最初に停止表示される演出図柄（第 1 図柄停止）や、その次に停止表示される演出図柄（第 2 図柄停止）に対する興味が高められる。

【0301】

なお、態様変化予告リーチ状態の成立後に発展変動する態様が採用されてもよい。

このような場合、態様変化予告演出図柄 4 1 1 として、態様が互いに異なる複数種の態様変化予告演出図柄（たとえば第 1 の態様変化予告演出図柄と第 2 の態様変化予告演出図柄との 2 つの図柄）を設ける場合を示す。

この場合にも、第 1 の態様変化予告演出図柄や第 2 の態様変化予告演出図柄を含む 3 図柄構成とすることにより、最初に停止表示される演出図柄（第 1 図柄停止）や、その次に停止表示される演出図柄（第 2 図柄停止）に対する興味が高められる。

【0302】

態様変化予告演出図柄として、態様が互いに異なる複数種の態様変化演出図柄を設けた構成では、第 1 の態様変化予告演出図柄と第 2 の態様変化予告演出図柄との停止図柄の組合せ態様により、大当たり信頼度を異ならせた構成としてもよい。

また、態様変化予告演出図柄として、態様が互いに異なる複数種の態様変化予告演出図柄を設けた構成において、第 1 の態様変化予告演出図柄と第 2 の態様変化予告演出図柄との停止の個数（当該本命変動までの消化保留中に停止する演出図柄の数）により、大当たり信頼度が異ならされていてもよい。

【0303】

また、態様変化予告演出図柄 4 1 1 を、2 つ以上の図柄表示領域 2 4 L，2 4 C，2 4 R に出現可能とした構成を採用する場合において、態様変化予告演出図柄（第 1 の態様変化予告演出図柄と第 2 の態様変化予告演出図柄）がどの図柄表示領域 2 4 L，2 4 C，2 4 R に表示されるかによって、大当たり信頼度が異ならされていてもよい。

なお、図 7 6，図 7 7 等を用いて説明した当該変動保留変化予告の構成は、主制御基板 4 0 からの変動パターンコマンド（A0**[H]）に基づいて、演出制御基板 4 1 が実現している。

【0304】

また、第 1 実施形態において、先読み保留変化予告による保留表示 1 0 2 の保留表示態様変化時と、当該変動保留変化予告による当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様変化時とで、態様のランクアップ度合を異ならせてもよい。たとえば、当該変動保留変化予告による態様変化の方が、成り上がる回数が多くなるように構成されていたり、一度の態様変化で高位の態様に变化するように構成されていたりしてもよい。

【0305】

また、第 1 実施形態では、当該変動保留変化予告による変化後の当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様の種別を、変動開始当初の当該変動保留表示 1 0 4（すなわち、シフト移行前の「保留 1」の保留表示 1 0 2 の保留表示態様）に基づいて決定する場合を説明し

10

20

30

40

50

た。すなわち、第1実施形態では、当該変動保留表示104の保留表示態様の種別を、先読み保留変化予告の有無や実行された先読み保留変化予告の種別に基づかずに決定していなかった。しかしながら、当該変動保留表示104の保留表示態様の種別を、先読み保留変化予告の有無や実行された先読み保留変化予告の種別に関連付けて決定するようにしてもよい。すなわち、当該変動保留変化予告の内容を、先読み保留変化予告の内容（先読み判定手段による判定結果）に基づいて決定してもよい。この場合、先読み保留変化予告の内容を考慮しながらテーブル等を参照しながら別途抽選を行うことにより当該変動保留変化予告の内容を決定してもよいし、先読み保留変化予告の内容のみに基づいて当該変動保留変化予告の内容を決定してもよい。

【0306】

10

また、第1実施形態において、当該変動保留変化予告を、第1特別演出（予告カード）を用いて行い、第2実施形態において、先読み保留変化予告を、先読み演出（第2特別演出）を用いて行う場合を例に挙げて説明した。第1実施形態の先読み保留変化予告において、第2特別演出（先読み演出）が用いられていてもよいし、第2実施形態の当該変動保留変化予告において、カード予告（第1特別演出）が用いられていてもよい。

【0307】

また、第2実施形態において、ボタン付き先読み保留変化予告が行われ、その後第1演出操作ボタン13が操作されずに当該変動保留表示104に第1特別保留表示態様が最終の態様として表示される場合の大当り信頼度が、ボタン付き先読み保留変化予告が行われ、その後第1演出操作ボタン13の操作を経て当該変動保留表示104に第1特別保留表示態様が最終の態様として表示される場合と比較して高くされていてもよい。この場合、ボタン保留表示演出の解除に関し、遊技者に意外性を与えることができ、これにより演出の興趣をさらに高めることができる。

20

【0308】

また、第2実施形態において、保留数表示部101、121にボタン保留表示態様202の保留表示102が2個以上並んだ場合、優先順位をつけて1個のボタン保留表示態様202に対してのみ、第1演出操作ボタン13の操作により復帰させられるようにしてもよい。この場合、たとえばボタン保留表示態様202をなす2個以上の保留表示102のうち最先に取得された始動情報に対応するボタン保留表示態様202の復帰が優先されるようにしてもよい。

30

【0309】

また、第2実施形態において、ボタン保留表示態様202の保留表示102が2個以上並ぶ場合、第1演出操作ボタン13の1回の操作により、全てのボタン保留表示態様202を復帰させてもよい。

また、第1演出操作ボタン13を用いてボタン保留表示演出を行う場合を例に挙げて説明したが、第2演出操作ボタン12を用いてボタン保留表示演出を行ってもよいし、第1および第2演出操作ボタン13、12を用いてボタン保留表示演出を行ってもよい。

また、前述の第2実施形態では、ボタン付きの先読み保留変化予告の重複の実行を禁止するものではないが、ボタン付きの先読み保留変化予告の実行を禁止するようにしてもよい。この場合に、保留数表示部101、121に、ボタン保留表示態様202は2個以上表示されない。

40

【0310】

また、第3実施形態の当該変動保留変化予告は、第1実施形態の場合と同様であると説明したが、第2実施形態の場合のように、当該変動保留表示104の保留表示態様を変化しないものであってもよい。また、第3実施形態に係るパチンコ機301は、当該変動保留変化予告の機能が搭載されていないものであってもよく、この場合には、当該変動保留表示部103の構成を省略できる。

【0311】

また、第1～第3実施形態に係る先読み保留変化予告において、前述の第1～第3実施形態では、保留表示102の色を変化させることにより、保留表示102の保留表示態様

50

を変化させるものについて説明したが、保留表示 1 0 2 の形状を変化させることにより、保留表示 1 0 2 の保留表示態様を変化させてもよい。図 7 8 に示すように、保留表示 1 0 2 の形状を、たとえば十字形態様 1 0 2 A、円形態様 1 0 2 B または王冠態様 1 0 2 C の間で変化させることにより、保留表示 1 0 2 の保留表示態様を変更できる。この場合、王冠態様 1 0 2 C、円形態様 1 0 2 B および十字形態様 1 0 2 A の順で先読み信頼度が高くなっている。

【 0 3 1 2 】

また、図 7 9 に示すように、保留表示 1 0 2 の色の变化と形状との变化との双方をを組み合わせることにより、保留表示 1 0 2 の保留表示態様を変化させてもよい。この場合には、保留表示 1 0 2 の形状と色とを変化させ、その後色のみがさらに変化させる 2 段階変化の变化態様を採用することもでき、また、保留表示 1 0 2 の形状と色とを変化させ、その後色も形状も変化しない 1 段階変化の变化態様を採用することもできる。

10

【 0 3 1 3 】

また、前記の 2 段階変化の变化態様に変化した後、前記 1 段階変化の变化態様に変化可能に構成してもよい。

また、図 8 0 に示すように、保留表示 1 0 2 の一態様として、予め定める形状および色をなす特別態様が用意されていてもよい。特別態様 1 0 2 D は、先読み信頼度が極めて高いような態様であり、特別態様 1 0 2 D で表示された保留表示 1 0 2 の態様がその後変化することはない。

【 0 3 1 4 】

20

また、第 1 ~ 第 3 実施形態に係る当該変動保留変化予告において、前述の第 1 ~ 第 3 実施形態では、当該変動保留表示 1 0 4 の色を変化させることにより、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様を変化させるものについて説明したが、当該変動保留表示 1 0 4 の形状を変化させることにより、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様を変化させてもよい。図 8 1 に示すように、当該変動保留表示 1 0 4 の形状を、たとえば十字形態様 1 0 4 A、円形態様 1 0 4 B または王冠態様 1 0 4 C の間で変化させることにより、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様を変更できる。この場合、王冠態様 1 0 4 C、円形態様 1 0 4 B および十字形態様 1 0 4 A の順で先読み信頼度が高くなっている。

【 0 3 1 5 】

また、図 8 2 に示すように、当該変動保留表示 1 0 4 の色の变化と形状との变化との双方をを組み合わせることにより、当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様を変化させてもよい。この場合には、当該変動保留表示 1 0 4 の形状と色とを変化させ、その後色のみがさらに変化させる 2 段階変化の变化態様を採用することもでき、また、当該変動保留表示 1 0 4 の形状と色とを変化させ、その後色も形状も変化しない 1 段階変化の变化態様を採用することもできる。

30

【 0 3 1 6 】

また、前記の 2 段階変化の变化態様に変化した後、前記 1 段階変化の变化態様に変化可能に構成してもよい。

また、当該変動保留表示 1 0 4 の一態様として、予め定める形状および色をなす特別態様が用意されていてもよい。この特別態様は、先読み信頼度が極めて高いような態様であり、この特別態様で表示された当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様がその後変化することはない。

40

【 0 3 1 7 】

また、第 1 実施形態や第 3 実施形態において、先読み保留変化予告で表示可能な保留表示態様の種別が、当該変動保留変化予告で表示可能な保留表示可能と完全に共通していてもよいし、先読み保留変化予告による保留表示 1 0 2 の保留表示態様に、当該変動保留変化予告における当該変動保留表示 1 0 4 にない保留表示態様が含まれていてもよい。

また、第 2 実施形態において、当該変動保留変化予告における当該変動保留表示 1 0 4 の保留表示態様には、先読み保留変化予告による保留表示 1 0 2 にない保留表示態様が含まれていてもよいし、先読み保留変化予告による保留表示 1 0 2 の保留表示態様に、当該

50

変動保留変化予告における当該変動保留表示 1 0 4 にない保留表示態様が含まれていてもよい。

【 0 3 1 8 】

また、前述の各実施形態において、通常状態の場合は、主に第 1 特別図柄の変動が多く行われるため、液晶表示ユニット 2 4 の表示画面に、第 1 の保留数表示部 1 0 1 のみを表示し、同様に、確率変動遊技中には、主に第 2 特別図柄の変動が多く行われるため、液晶表示ユニット 2 4 の表示画面に、第 2 の保留数表示部 1 2 1 のみを表示するようにしてもよい。

【 0 3 1 9 】

また、前述の各実施形態において、2つある特別図柄の変動動作を、第 2 特別図柄を優先して1つずつ消化させる保留優先消化タイプのパチンコ機 1 , 2 0 1 , 3 0 1 について説明した。しかし、本発明は、2つある特別図柄の変動動作を互いに並行して実行可能な並行変動タイプのパチンコ機や、2つある特別図柄の変動動作を入賞順で1つずつ消化させる入賞順消化タイプのパチンコ機にも適用できる。

【 0 3 2 0 】

また、本発明は、第 1 または第 2 特別図柄の始動入賞順を交互に行うタイプのパチンコ機にも適用できる。この場合、液晶表示ユニット 2 4 の表示画面に、第 1 特別図柄用の保留数および第 2 特別図柄用の保留数の合計を表示するための保留球数表示部を設けてもよい。また、保留数表示部の保留表示 1 0 2 を、たとえば最大 8 個まで表示可能に設けられていてもよい。この場合にも、各実施形態の先読み保留変化予告を適用できる。

【 0 3 2 1 】

また、本発明は、パチンコ機等に限られず、パチスロ機等の回動遊技機にも適用することができる。

その他、特許請求の範囲に記載された事項の範囲で種々の変更を施すことが可能である。

【 符号の説明 】

【 0 3 2 2 】

- 1 パチンコ機
- 3 5 第 1 特別図柄表示手段
- 3 6 第 2 特別図柄表示手段
- 4 0 A 主制御基板の C P U
- 4 1 A 演出制御基板の C P U
- 6 1 第 1 の始動情報記憶部
- 6 2 第 2 の始動情報記憶部
- 1 0 1 第 1 の保留球数表示部
- 1 0 2 保留表示
- 1 0 3 当該変動保留表示部
- 1 0 4 当該変動保留表示
- 1 2 1 第 2 の保留球数表示部

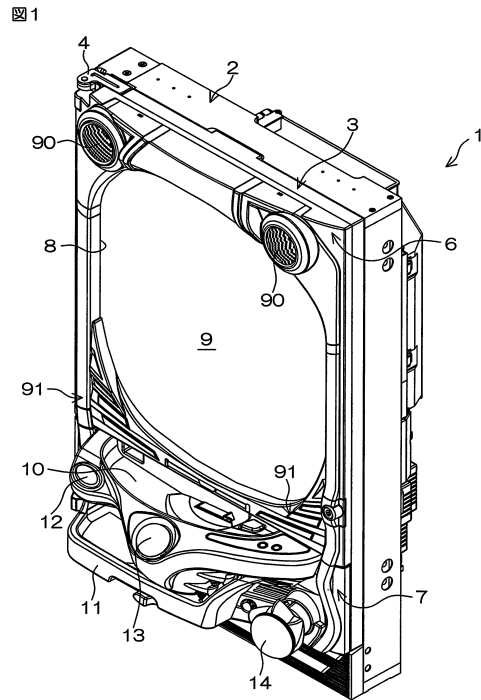
10

20

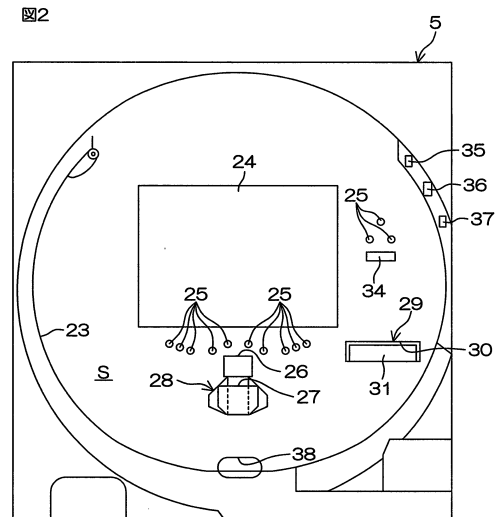
30

40

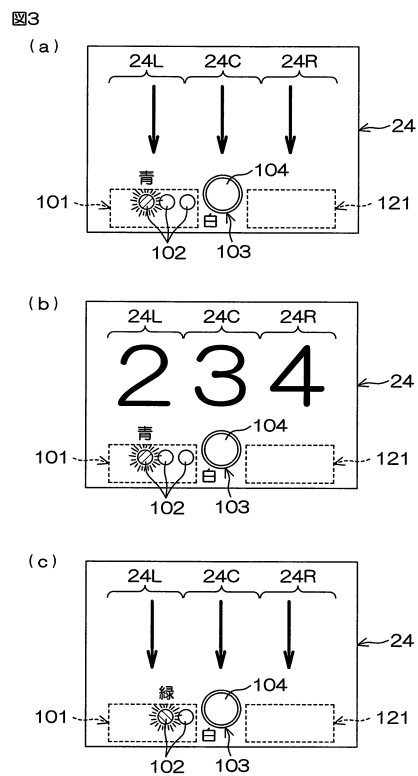
【図1】



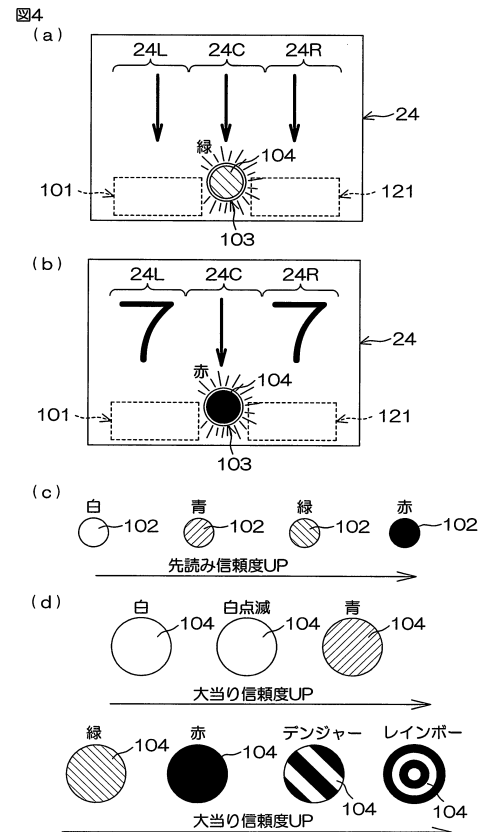
【図2】



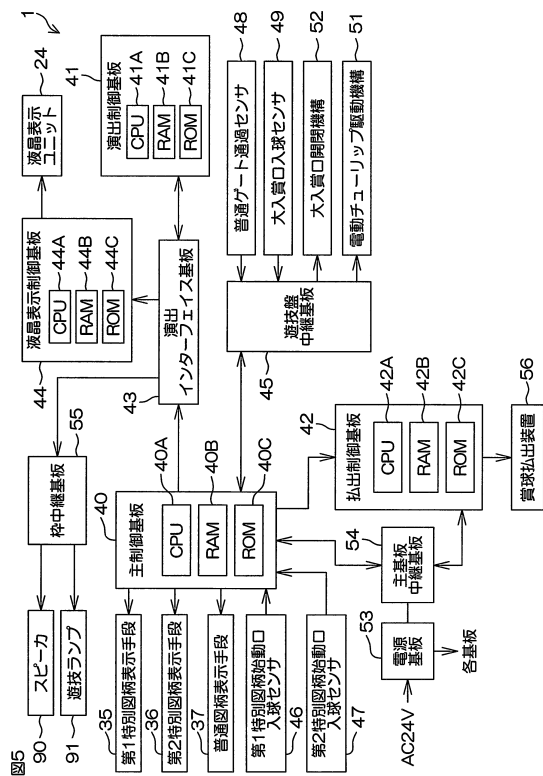
【図3】



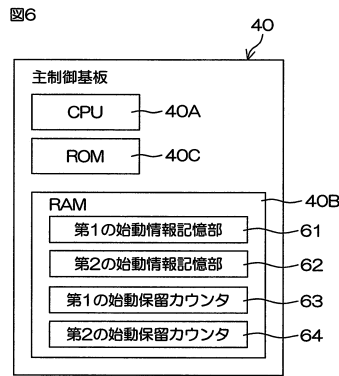
【図4】



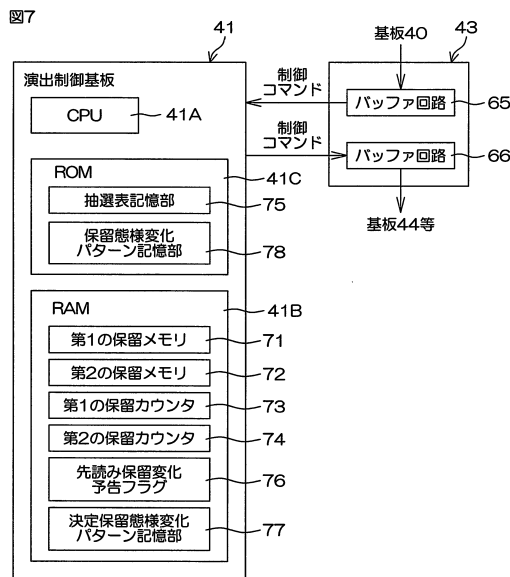
【図 5】



【図 6】



【図 7】

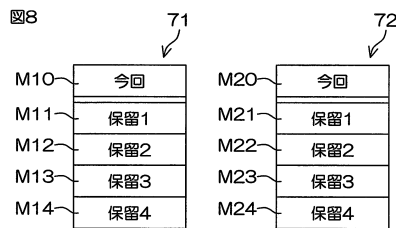


【図 9】

図9

モード	イベント	内容
AOH	01H	通常変動 (ハズレ)
	02H	ノーマルリーチ (ハズレ)
	03H	ノーマルロング (ハズレ)
	04H	スーパーリーチ (ハズレ)
	05H	スペシャルリーチ1 (ハズレ)
	06H	スペシャルリーチ2 (ハズレ)
	11H	ノーマルロング (16R大当り)
	12H	スーパーリーチ (16R大当り)
	13H	スペシャルリーチ1 (16R大当り)
	14H	スペシャルリーチ2 (16R大当り)
	21H	ノーマルロング (2R大当り)
	22H	スーパーリーチ (2R大当り)
	23H	スペシャルリーチ1 (2R大当り)
	24H	スペシャルリーチ2 (2R大当り)
	31H	ノーマルロング (小当り)
	32H	スーパーリーチ (小当り)
	33H	スペシャルリーチ1 (小当り)
	34H	スペシャルリーチ2 (小当り)

【図 8】



【 ㊦ 1 1 】

图11

モード	イベント	内容
B6H 保留0個 →1個	01H	先読み禁止
	02H	通常変動 (ハズレ)
	03H	ノーマルリーチ (ハズレ)
	04H	ノーマルロング (ハズレ)
	05H	スーパーリーチ (ハズレ)
B7H 保留1個 →2個	06H	スペシャルリーチ1 (ハズレ)
	07H	スペシャルリーチ2 (ハズレ)
	11H	ノーマルロング (16R大当り)
B8H 保留2個 →3個	12H	スーパーリーチ (16R大当り)
	13H	スペシャルリーチ1 (16R大当り)
	14H	スペシャルリーチ2 (16R大当り)
	21H	ノーマルロング (2R大当り)
	22H	スーパーリーチ (2R大当り)
B9H 保留3個 →4個	23H	スペシャルリーチ1 (2R大当り)
	24H	スペシャルリーチ2 (2R大当り)
	31H	ノーマルロング (小当り)
	32H	スーパーリーチ (小当り)
	33H	スペシャルリーチ1 (小当り)
	34H	スペシャルリーチ2 (小当り)

【 ㊦ 1 2 C - 1 2 D 】

圖12C

[illegible][illegible]

【図 13 A - 13 B】

図13A

色別	変動(ト)の種類	総回	図柄	最終色							
				ハズレ							
				ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ
02H	通常変動	1回	ハズレ	3301							
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ	3301							
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ	2701	200	150				150	
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ	1775	300	250	15			250	15
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	1816	200	350	15	3		100	15
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	1809	200	350	15	5		100	15
11H	ノーマルロング	1回	16R	2034	5	50	100	100	5	50	100
12H	スーパーリーチ	1回	16R	1292	5	50	100	100	5	50	100
13H	スベリーチ1	1回	16R	1418	5	50	100	100	5	50	100
14H	スベリーチ2	2回	16R	1381	5	50	250	150	5		

【図 13 C - 13 D】

図13C

色別	変動(ト)の種類	総回	図柄	最終色							
				ハズレ							
				ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ
02H	通常変動	1回	ハズレ								
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ								
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ								
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ			66	25				25
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	3		300	25	2		25	1
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	3		300	25	2		25	1
11H	ノーマルロング	1回	16R	150	5						
12H	スーパーリーチ	1回	16R	150	3	50	200	16	3	200	8
13H	スベリーチ1	1回	16R	24	3	50	200	16	3	200	8
14H	スベリーチ2	2回	16R			50	550	400	5		

図13B

色別	変動(ト)の種類	総回	図柄	最終色							
				ハズレ							
				ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ
02H	通常変動	1回	ハズレ								
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ								
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ								
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ			150	15			100	15
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	3		100	15	8		300	20
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	3		100	15	8		300	25
11H	ノーマルロング	1回	16R	50	2					50	600
12H	スーパーリーチ	1回	16R	50	3	50	100	50	3	50	200
13H	スベリーチ1	1回	16R	50	3	50	100	50	3	50	200
14H	スベリーチ2	2回	16R			50	250	150	5		

図13D

色別	変動(ト)の種類	総回	図柄	最終色							
				ハズレ							
				ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ
02H	通常変動	1回	ハズレ								3301
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ								3301
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ								3301
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ								3301
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ								3301
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ								3301
11H	ノーマルロング	1回	16R								3301
12H	スーパーリーチ	1回	16R	3	450	8		2			3301
13H	スベリーチ1	1回	16R	3	450	8		2			3301
14H	スベリーチ2	2回	16R								3301

【図 14 A - 14 B】

図14A

色別	変動(ト)の種類	総回	図柄	最終色							
				ハズレ							
				ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ
02H	通常変動	1回	ハズレ	3301							
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ	3301							
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ	2482	400	232				69	
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ	1751	200	300	20			300	50
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	1661	400	150	20	8		300	75
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	1886	150	150	20	8		300	75
11H	ノーマルロング	1回	16R	2251	5	50	100	200	150	5	100
12H	スーパーリーチ	1回	16R	1517	5	50	100	200	150	5	100
13H	スベリーチ1	1回	16R	1367	5	50	100	200	150	5	100
14H	スベリーチ2	2回	16R	1962	5	50	100	200	500		
21H	ノーマルロング	1回	2R	1532	100	450	50	4		450	50
22H	スーパーリーチ	1回	2R	1303	100	100	50	4		100	50
23H	スベリーチ1	1回	2R	1303	100	100	50	4		100	50
24H	スベリーチ2	2回	2R	1303	100	100	50	4		100	50
31H	ノーマルロング	1回	小当り	834	100	400	20			350	4
32H	スーパーリーチ	1回	小当り	834	100	400	20			350	4
33H	スベリーチ1	1回	小当り	834	100	400	20			350	4
34H	スベリーチ2	2回	小当り	834	100	400	20			350	4

【図 14 C - 14 D】

図14C

色別	変動(ト)の種類	総回	図柄	最終色							
				ハズレ							
				ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ
02H	通常変動	1回	ハズレ								
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ								
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ								
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ	30			200	5			
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	30	3		200	5	2		
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	30	8		200	2	5		
11H	ノーマルロング	1回	16R	5	100	80					
12H	スーパーリーチ	1回	16R	120	100	80	5	100	16	3	
13H	スベリーチ1	1回	16R	200	100	80	5	100	16	3	
14H	スベリーチ2	2回	16R				5	100	50	10	
21H	ノーマルロング	1回	2R	5	5		450	5	2		450
22H	スーパーリーチ	1回	2R	5	5		450	5	2		450
23H	スベリーチ1	1回	2R	5	5		450	5	2		450
24H	スベリーチ2	2回	2R	5	5		450	5	2		450
31H	ノーマルロング	1回	小当り	5			300	5			300
32H	スーパーリーチ	1回	小当り	5			300	5			300
33H	スベリーチ1	1回	小当り	5			300	5			300
34H	スベリーチ2	2回	小当り	5			300	5			300

図14B

色別	変動(ト)の種類	総回	図柄	最終色							
				ハズレ							
				ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ	ハズレ
02H	通常変動	1回	ハズレ								
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ								
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ								118
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ				100	40		300	
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	3			100	30	8	300	
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	3			100	50	8	300	
11H	ノーマルロング	1回	16R	200	50						5
12H	スーパーリーチ	1回	16R	200	3		5	120	24	20	5
13H	スベリーチ1	1回	16R	200	3		5	120	24	20	5
14H	スベリーチ2	2回	16R				5	250	24	20	
21H	ノーマルロング	1回	2R	5							650
22H	スーパーリーチ	1回	2R	5			100	100	8	4	450
23H	スベリーチ1	1回	2R	5			100	100	8	4	450
24H	スベリーチ2	2回	2R	5			100	100	8	4	450
31H	ノーマルロング	1回	小当り				100	400	8		470
32H	スーパーリーチ	1回	小当り				100	400	8		470
33H	スベリーチ1	1回	小当り				100	400	8		470
34H	スベリーチ2	2回	小当り				100	400	8		470

図14D

図14D

T3

図柄色

赤

デフラ

レド

赤

デフラ

レド

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

ナ/ホ/ズ

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

赤

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

2回ナ7

3回ナ7

【図 15 A - 15 B】

図15A

バ 外	変動バ ーの種別	観測回数	観測	最終色		赤		青		黄		緑		赤		青		黄		緑	
				ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色	
				ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数
02H	通常変動	1回	ハズレ	3301																	
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ	3301																	
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ	3000	232																
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ	2205	300	150															
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	1486	300	150	8														
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	1526	300	150	8														
11H	ノーマルロング	1回	16R	2526	5	100	50	5													
12H	スーパーリーチ	1回	16R	818	5	150	50	5													
13H	スベリーチ1	1回	16R	868	5	100	50	5													
14H	スベリーチ2	2回	16R	868	5	100	50	5													
21H	ノーマルロング	1回	2R	2038	500	100	4														
22H	スーパーリーチ	1回	2R	1277	400	100	4														
23H	スベリーチ1	1回	2R	1277	400	100	4														
24H	スベリーチ2	2回	2R	1277	400	100	4														
31H	ノーマルロング	1回	小当り	2104	400	20															
32H	スーパーリーチ	1回	小当り	2104	400	20															
33H	スベリーチ1	1回	小当り	2104	400	20															
34H	スベリーチ2	2回	小当り	2104	400	20															

【図 15 C】

図15C

バ 外	変動バ ーの種別	観測回数	観測	最終色		赤		青		黄		緑		赤		青		黄		緑	
				ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色	
				ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数
02H	通常変動	1回	ハズレ																		
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ																		
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ																		
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ																		
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ																		
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ																		
11H	ノーマルロング	1回	16R																		
12H	スーパーリーチ	1回	16R																		
13H	スベリーチ1	1回	16R																		
14H	スベリーチ2	2回	16R																		
21H	ノーマルロング	1回	2R																		
22H	スーパーリーチ	1回	2R																		
23H	スベリーチ1	1回	2R																		
24H	スベリーチ2	2回	2R																		
31H	ノーマルロング	1回	小当り																		
32H	スーパーリーチ	1回	小当り																		
33H	スベリーチ1	1回	小当り																		
34H	スベリーチ2	2回	小当り																		

図15B

バ 外	変動バ ーの種別	観測回数	観測	最終色		赤		青		黄		緑		赤		青		黄		緑	
				ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色	
				ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数
02H	通常変動	1回	ハズレ																		
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ																		
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ																		
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ																		
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ																		
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ																		
11H	ノーマルロング	1回	16R																		
12H	スーパーリーチ	1回	16R																		
13H	スベリーチ1	1回	16R																		
14H	スベリーチ2	2回	16R																		
21H	ノーマルロング	1回	2R																		
22H	スーパーリーチ	1回	2R																		
23H	スベリーチ1	1回	2R																		
24H	スベリーチ2	2回	2R																		
31H	ノーマルロング	1回	小当り																		
32H	スーパーリーチ	1回	小当り																		
33H	スベリーチ1	1回	小当り																		
34H	スベリーチ2	2回	小当り																		

【図 16 A - 16 B】

図16A

バ 外	変動バ ーの種別	観測回数	観測	最終色		赤		青		黄		緑		赤		青		黄		緑	
				ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色		ハフ 色	
				ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数	ハフ 回数
02H	通常変動	1回	ハズレ	3301																	
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ	3301																	
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ	3301																	
05H	スーパーリーチ	2回	ハズレ	3171	20																
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	3101	50	8															
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	2967	50	8															
11H	ノーマルロング	1回	16R	1712	150	350	12														
12H	スーパーリーチ	1回	16R	1133	150	350	3														
13H	スベリーチ1	1回	16R	933	100	400	5														
14H	スベリーチ2	2回	16R	1236	350	500	5														
21H	ノーマルロング	1回	2R	2551	200	25															
22H	スーパーリーチ	1回	2R	2551	200	25															
23H	スベリーチ1	1回	2R	2551	200	25															
24H	スベリーチ2	2回	2R	2551	200	25															
31H	ノーマルロング	1回	小当り	3181	40																
32H	スーパーリーチ	1回	小当り	3181	40																
33H	スベリーチ1	1回	小当り	3181	40																
34H	スベリーチ2	2回	小当り	3181	40																

図16B

図16B

T5→				最終色	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ
				ハフ 色	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ
番号				ハフ 色	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ	レコチ	デザッチ
ハフ 回数				1回/7回	1回/7回	2回/7回	2回/7回	2回/7回	2回/7回	2回/7回	2回/7回	2回/7回	2回/7回	2回/7回
変動バ ーの種別				観測回数	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測
02H	ノーマルローチ	1回	ハズレ	1回	ハズレ									
03H	ノーマルローチ	1回	ハズレ	1回	ハズレ									
04H	ノーマルローチ	1回	ハズレ	1回	ハズレ									
05H	スーパーローチ	2回	ハズレ	1回	ハズレ									
06H	スーパーローチ	1回	ハズレ	8		3		2				1		
07H	スーパーローチ	2回	ハズレ	8		80		40		20				
11H	ノーマルローチ	1回	16R			450								
12H	スーパーローチ	1回	16R		3	250	3	250	3	300	3			
13H	スーパーローチ	1回	100		5	250	60	350	5	300	3			
14H	スーパーローチ	2回	16R	200	5			500	5					
21H	ノーマルローチ	1回	2R	25		25				25		25		
22H	スーパーローチ	1回	2R	25		25		25		25		25		
23H	スーパーローチ	1回	2R	25		25		25		25		25		
24H	スーパーローチ	2回	2R	25		25		25		25		25		
31H	ノーマルローチ	1回	小当り											
32H	スーパーローチ	1回	小当り											
33H	スーパーローチ	1回	小当り											
34H	スーパーローチ	2回	小当り											

【図 17 A - 17 B】

図17A

T6			最終色	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ	リプレイ
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色	色
			色	色	色	色	色	色	色	色							

図17B

バット	変動がタンの種類	類似回数	最終色	フタが	フタが	合計
			ハズレ	ハズレ	ハズレ	
02H	通常変動	1回	ハズレ			3301
03H	ノーマルリーチ	1回	ハズレ			3301
04H	ノーマルロング	1回	ハズレ			3301
05H	スーパリーチ	2回	ハズレ			3301
06H	スーパリーチ	1回	ハズレ			3301
07H	スーパリーチ	2回	ハズレ			3301
11H	ノーマルロング	1回	16R			3301
12H	スーパリーチ	1回	16R	3	5	3301
13H	スーパリーチ	1回	16R	3	5	3301
14H	スーパリーチ	2回	16R	163		3301
21H	ノーマルロング	1回	2R			3301
22H	スーパリーチ	1回	2R			3301
23H	スーパリーチ	1回	2R			3301
24H	スーパリーチ	2回	2R			3301
31H	ノーマルロング	1回	小当り			3301
32H	スーパリーチ	1回	小当り			3301
33H	スーパリーチ	1回	小当り			3301
34H	スーパリーチ	2回	小当り			3301

【図 18】

図18

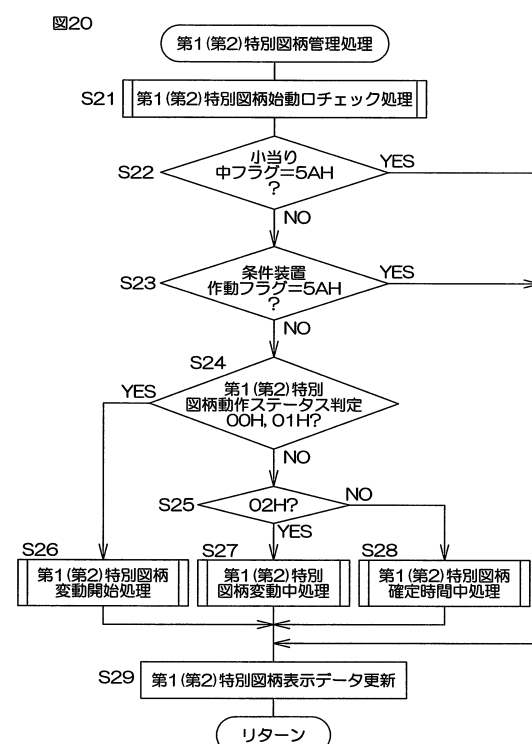
17→

バット	変動がタンの種類	類似回数	図柄	フタがなし	フタが1	フタが2	フタが3	フタが4	フタが5	フタが6	フタが7	フタが8	フタが9	フタが10	フタが11	フタが12	フタが13	フタが14	フタが15	フタが16	フタが17	フタが18	フタが19	フタが20	フタが21	フタが22	フタが23	フタが24	フタが25	フタが26	フタが27	フタが28	フタが29	フタが30	フタが31	フタが32	フタが33	フタが34	フタが35	フタが36	フタが37	フタが38	フタが39	フタが40	フタが41	フタが42	フタが43	フタが44	フタが45	フタが46	フタが47	フタが48	フタが49	フタが50	フタが51	フタが52	フタが53	フタが54	フタが55	フタが56	フタが57	フタが58	フタが59	フタが60	フタが61	フタが62	フタが63	フタが64	フタが65	フタが66	フタが67	フタが68	フタが69	フタが70	フタが71	フタが72	フタが73	フタが74	フタが75	フタが76	フタが77	フタが78	フタが79	フタが80	フタが81	フタが82	フタが83	フタが84	フタが85	フタが86	フタが87	フタが88	フタが89	フタが90	フタが91	フタが92	フタが93	フタが94	フタが95	フタが96	フタが97	フタが98	フタが99	フタが100	フタが101	フタが102	フタが103	フタが104	フタが105	フタが106	フタが107	フタが108	フタが109	フタが110	フタが111	フタが112	フタが113	フタが114	フタが115	フタが116	フタが117	フタが118	フタが119	フタが120	フタが121	フタが122	フタが123	フタが124	フタが125	フタが126	フタが127	フタが128	フタが129	フタが130	フタが131	フタが132	フタが133	フタが134	フタが135	フタが136	フタが137	フタが138	フタが139	フタが140	フタが141	フタが142	フタが143	フタが144	フタが145	フタが146	フタが147	フタが148	フタが149	フタが150	フタが151	フタが152	フタが153	フタが154	フタが155	フタが156	フタが157	フタが158	フタが159	フタが160	フタが161	フタが162	フタが163	フタが164	フタが165	フタが166	フタが167	フタが168	フタが169	フタが170	フタが171	フタが172	フタが173	フタが174	フタが175	フタが176	フタが177	フタが178	フタが179	フタが180	フタが181	フタが182	フタが183	フタが184	フタが185	フタが186	フタが187	フタが188	フタが189	フタが190	フタが191	フタが192	フタが193	フタが194	フタが195	フタが196	フタが197	フタが198	フタが199	フタが200	フタが201	フタが202	フタが203	フタが204	フタが205	フタが206	フタが207	フタが208	フタが209	フタが210	フタが211	フタが212	フタが213	フタが214	フタが215	フタが216	フタが217	フタが218	フタが219	フタが220	フタが221	フタが222	フタが223	フタが224	フタが225	フタが226	フタが227	フタが228	フタが229	フタが230	フタが231	フタが232	フタが233	フタが234	フタが235	フタが236	フタが237	フタが238	フタが239	フタが240	フタが241	フタが242	フタが243	フタが244	フタが245	フタが246	フタが247	フタが248	フタが249	フタが250	フタが251	フタが252	フタが253	フタが254	フタが255	フタが256	フタが257	フタが258	フタが259	フタが260	フタが261	フタが262	フタが263	フタが264	フタが265	フタが266	フタが267	フタが268	フタが269	フタが270	フタが271	フタが272	フタが273	フタが274	フタが275	フタが276	フタが277	フタが278	フタが279	フタが280	フタが281	フタが282	フタが283	フタが284	フタが285	フタが286	フタが287	フタが288	フタが289	フタが290	フタが291	フタが292	フタが293	フタが294	フタが295	フタが296	フタが297	フタが298	フタが299	フタが300	フタが301	フタが302	フタが303	フタが304	フタが305	フタが306	フタが307	フタが308	フタが309	フタが310	フタが311	フタが312	フタが313	フタが314	フタが315	フタが316	フタが317	フタが318	フタが319	フタが320	フタが321	フタが322	フタが323	フタが324	フタが325	フタが326	フタが327	フタが328	フタが329	フタが330	フタが331	フタが332	フタが333	フタが334	フタが335	フタが336	フタが337	フタが338	フタが339	フタが340	フタが341	フタが342	フタが343	フタが344	フタが345	フタが346	フタが347	フタが348	フタが349	フタが350	フタが351	フタが352	フタが353	フタが354	フタが355	フタが356	フタが357	フタが358	フタが359	フタが360	フタが361	フタが362	フタが363	フタが364	フタが365	フタが366	フタが367	フタが368	フタが369	フタが370	フタが371	フタが372	フタが373	フタが374	フタが375	フタが376	フタが377	フタが378	フタが379	フタが380	フタが381	フタが382	フタが383	フタが384	フタが385	フタが386	フタが387	フタが388	フタが389	フタが390	フタが391	フタが392	フタが393	フタが394	フタが395	フタが396	フタが397	フタが398	フタが399	フタが400	フタが401	フタが402	フタが403	フタが404	フタが405	フタが406	フタが407	フタが408	フタが409	フタが410	フタが411	フタが412	フタが413	フタが414	フタが415	フタが416	フタが417	フタが418	フタが419	フタが420	フタが421	フタが422	フタが423	フタが424	フタが425	フタが426	フタが427	フタが428	フタが429	フタが430	フタが431	フタが432	フタが433	フタが434	フタが435	フタが436	フタが437	フタが438	フタが439	フタが440	フタが441	フタが442	フタが443	フタが444	フタが445	フタが446	フタが447	フタが448	フタが449	フタが450	フタが451	フタが452	フタが453	フタが454	フタが455	フタが456	フタが457	フタが458	フタが459	フタが460	フタが461	フタが462	フタが463	フタが464	フタが465	フタが466	フタが467	フタが468	フタが469	フタが470	フタが471	フタが472	フタが473	フタが474	フタが475	フタが476	フタが477	フタが478	フタが479	フタが480	フタが481	フタが482	フタが483	フタが484	フタが485	フタが486	フタが487	フタが488	フタが489	フタが490	フタが491	フタが492	フタが493	フタが494	フタが495	フタが496	フタが497	フタが498	フタが499	フタが500	フタが501	フタが502	フタが503	フタが504	フタが505	フタが506	フタが507	フタが508	フタが509	フタが510	フタが511	フタが512	フタが513	フタが514	フタが515	フタが516	フタが517	フタが518	フタが519	フタが520	フタが521	フタが522	フタが523	フタが524	フタが525	フタが526	フタが527	フタが528	フタが529	フタが530	フタが531	フタが532	フタが533	フタが534	フタが535	フタが536	フタが537	フタが538	フタが539	フタが540	フタが541	フタが542	フタが543	フタが544	フタが545	フタが546	フタが547	フタが548	フタが549	フタが550	フタが551	フタが552	フタが553	フタが554	フタが555	フタが556	フタが557	フタが558	フタが559	フタが560	フタが561	フタが562	フタが563	フタが564	フタが565	フタが566	フタが567	フタが568	フタが569	フタが570	フタが571	フタが572	フタが573	フタが574	フタが575	フタが576	フタが577	フタが578	フタが579	フタが580	フタが581	フタが582	フタが583	フタが584	フタが585	フタが586	フタが587	フタが588	フタが589	フタが590	フタが591	フタが592	フタが593	フタが594	フタが595	フタが596	フタが597	フタが598	フタが599	フタが600	フタが601	フタが602	フタが603	フタが604	フタが605	フタが606	フタが607	フタが608	フタが609	フタが610	フタが611	フタが612	フタが613	フタが614	フタが615	フタが616	フタが617	フタが618	フタが619	フタが620	フタが621	フタが622	フタが623	フタが624	フタが625	フタが626	フタが627	フタが628	フタが629	フタが630	フタが631	フタが632	フタが633	フタが634	フタが635	フタが636	フタが637	フタが638	フタが639	フタが640	フタが641	フタが642	フタが643	フタが644	フタが645	フタが646	フタが647	フタが648	フタが649	フタが650	フタが651	フタが652	フタが653	フタが654	フタが655	フタが656	フタが657	フタが658	フタが659	フタが660	フタが661	フタが662	フタが663	フタが664	フタが665	フタが666	フタが667	フタが668	フタが669	フタが670	フタが671	フタが672	フタが673	フタが674	フタが675	フタが676	フタが677	フタが678	フタが679	フタが680	フタが681	フタが682	フタが683	フタが684	フタが685	フタが686	フタが687	フタが688	フタが689	フタが690	フタが691	フタが692	フタが693	フタが694	フタが695	フタが696	フタが697	フタが698	フタが699	フタが700	フタが701	フタが702	フタが703	フタが704	フタが705	フタが706	フタが707	フタが708	フタが709	フタが710	フタが711	フタが712	フタが713	フタが714	フタが715	フタが716	フタが717	フタが718	フタが719	フタが720	フタが721	フタが722	フタが723	フタが724	フタが725	フタが726	フタが727	フタが728	フタが729	フタが730	フタが731	フタが732	フタが733	フタが734	フタが735	フタが736	フタが737	フタが738	フタが739	フタが740	フタが741	フタが742	フタが743	フタが744	フタが745	フタが746	フタが747	フタが748	フタが749	フタが750	フタが751	フタが752	フタが753	フタが754	フタが755	フタが756	フタが757	フタが758	フタが759	フタが760	フタが761	フタが762	フタが763	フタが764	フタが765	フタが766	フタが767	フタが768	フタが769	フタが770	フタが771	フタが772	フタが773	フタが774	フタが775	フタが776	フタが777	フタが778	フタが779	フタが780	フタが781	フタが782	フタが783	フタが784	フタが785	フタが786	フタが787	フタが788	フタが789	フタが790	フタが791	フタが792	フタが793	フタが794	フタが795	フタが796	フタが797	フタが798	フタが799	フタが800	フタが801	フタが802	フタが803	フタが804	フタが805	フタが806	フタが807	フタが808	フタが809	フタが810	フタが811	フタが812	フタが813	フタが814	フタが815	フタが816	フタが817	フタが818	フタが819	フタが820	フタが821	フタが822	フタが823	フタが824	フタが825	フタが826	フタが827	フタが828	フタが829	フタが830	フタが831	フタが832	フタが833	フタが834	フタが835	フタが836	フタが837	フタが838	フタが839	フタが840	フタが841	フタが842	フタが843	フタが844	フタが845	フタが846	フタが847	フタが848	フタが849	フタが850	フタが851	フタが852	フタが853	フタが854	フタが855	フタが856	フタが857	フタが858	フタが859	フタが860	フタが861	フタが862	フタが863	フタが864	フタが865	フタが866	フタが867	フタが868	フタが869	フタが870	フタが871	フタが872	フタが873	フタが874	フタが875	フタが876	フタが877	フタが878	フタが879	フタが880	フタが881	フタが882	フタが883	フタが884	フタが885	フタが886	フタが887	フタが888	フタが889	フタが890	フタが891	フタが892	フタが893	フタが894	フタが895	フタが896	フタが897	フタが898	フタが899	フタが900	フタが901	フタが902	フタが903	フタが904	フタが905	フタが906	フタが907	フタが908	フタが909	フタが910	フタが911	フタが912	フタが913	フタが914	フタが915	フタが916	フタが917	フタが918	フタが919	フタが920	フタが921	フタが922	フタが923	フタが924	フタが925	フタが926	フタが927	フタが928	フタが929	フタが930	フタが931	フタが932	フタが933	フタが934	フタが935	フタが936	フタが937	フタが938	フタが939	フタが940	フタが941	フタが942	フタが943	フタが944	フタが945	フタが946	フタが947	フタが948	フタが949	フタが950	フタが951	フタが952	フタが953	フタが954	フタが955	フタが956	フタが957	フタが958	フタが959	フタが960	フタが961	フタが962	フタが963	フタが964	フタが965	フタが966	フタが967	フタが968	フタが969	フタが970	フタが971	フタが972	フタが973	フタが974	フタが975	フタが976	フタが977	フタが978	フタが979	フタが980	フタが981	フタが982	フタが983	フタが984	フタが985	フタが986	フタが987	フタが988	フタが989	フタが990	フタが991	フタが992	フタが993	フタが994	フタが995	フタが996	フタが997	フタが998	フタが999	フタが1000	フタが1001	フタが1002	フタが1003	フタが1004	フタが1005	フタが1006	フタが1007	フタが1008	フタが1009	フタが1010	フタが1011	フタが1012	フタが1013	フタが1014	フタが1015	フタが1016	フタが1017	フタが1018	フタが1019	フタが1020	フタが1021	フタが1022	フタが1023	フタが1024	フタが1025	フタが1026	フタが1027	フタが1028	フタが1029	フタが1030	フタが1031	フタが1032	フタが1033	フタが1034	フタが1035	フタが1036	フタが1037	フタが1038	フタが1039	フタが1040	フタが1041	フタが1042	フタが1043	フタが1044	フタが1045	フタが1046	フタが1047	フタが1048	フタが1049	フタが1050	フタが1051	フタが1052	フタが1053	フタが1054	フタが1055	フタが1056	フタが1057	フタが1058	フタが1059	フタが1060	フタが1061	フタが1062	フタが1063	フタが1064	フタが1065	フタが1066	フタが1067	フタが1068	フタが1069	フタが1070	フタが1071	フタが1072	フタが1073	フタが1074	フタが1075	フタが1076	フタが1077	フタが1078	フタが1079	フタが1080	フタが1081	フタが1082	フタが1083	フタが1084	フタが1085	フタが1086	フタが1087	フタが1088	フタが1089	フタが1090	フタが1091	フタが1092	フタが1093	フタが1094	フタが1095	フタが1096	フタが1097	フタが1098	フタが1099	フタが1100	フタが1101	フタが1102	フタが1103	フタが1104	フタが1105	フタが1106	フタが1107	フタが1108	フタが1109	フタが1110	フタが1111	フタが1112	フタが1113	フタが1114	フタが1115	フタが1116	フタが1117	フタが1118	フタが1119
-----	----------	------	----	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

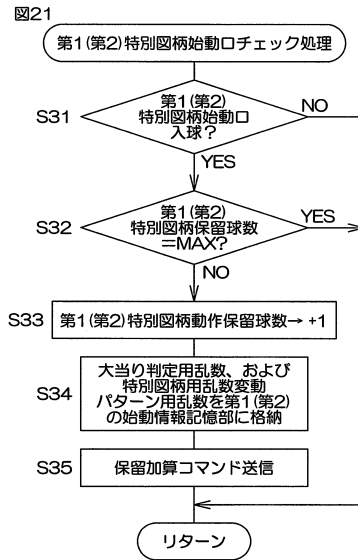
【図 19】



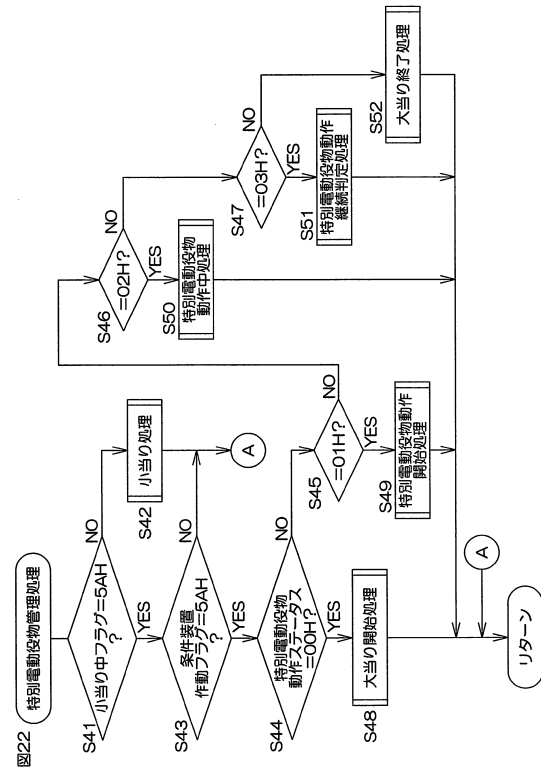
【図 20】



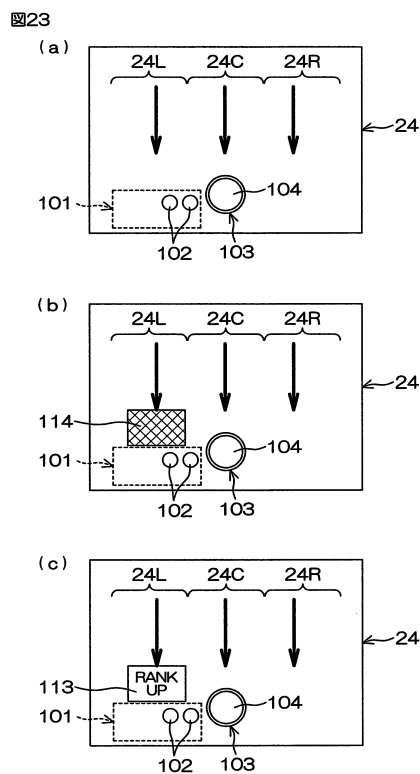
【図 2 1】



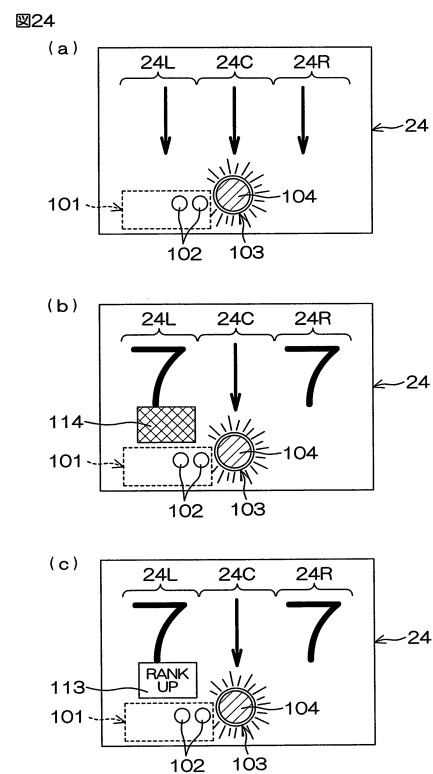
【図 2 2】



【図 2 3】

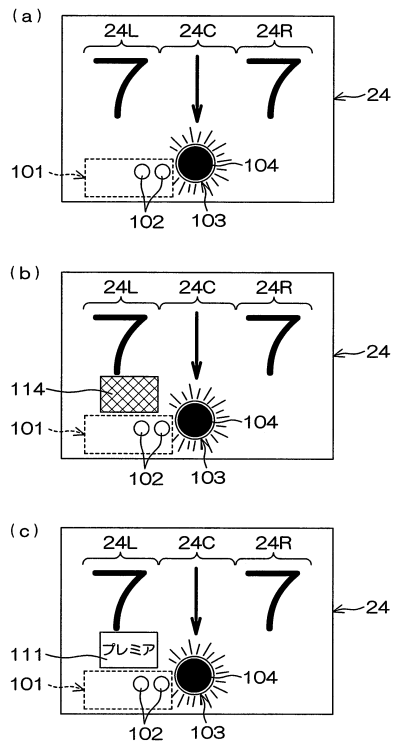


【図 2 4】



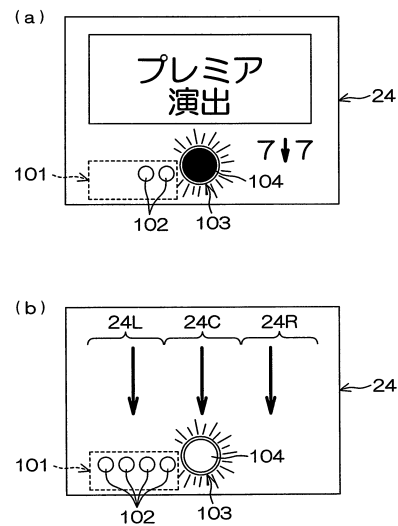
【図 25】

図25



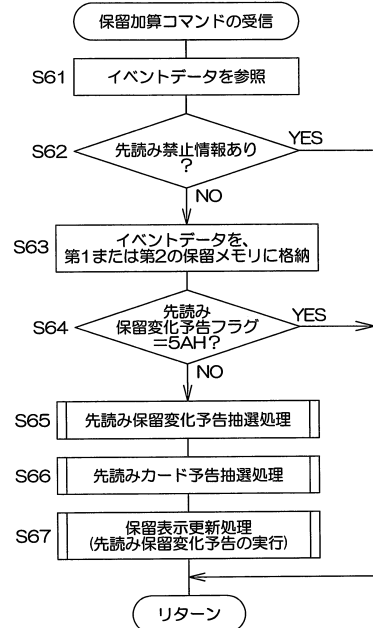
【図 26】

図26



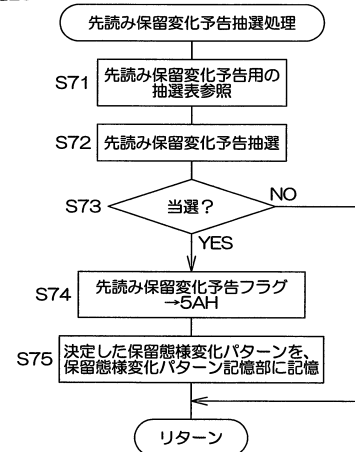
【図 27】

図27

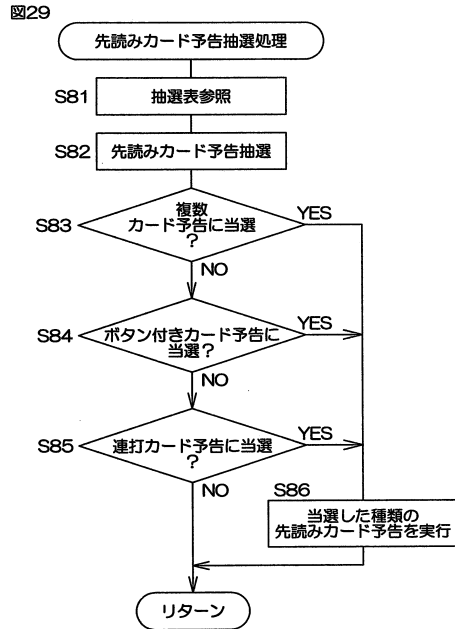


【図 28】

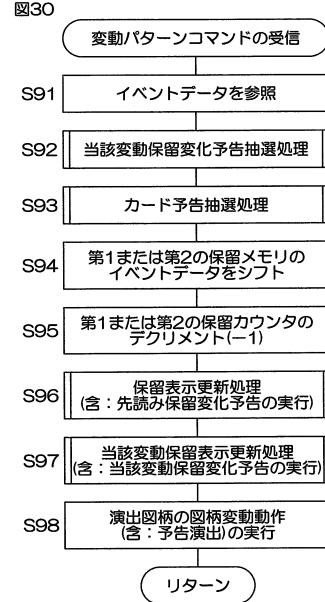
図28



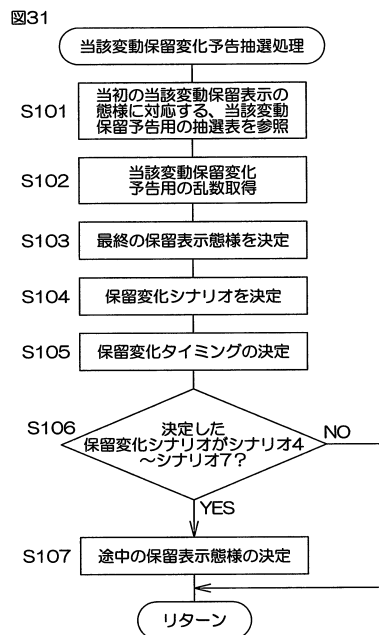
【図 29】



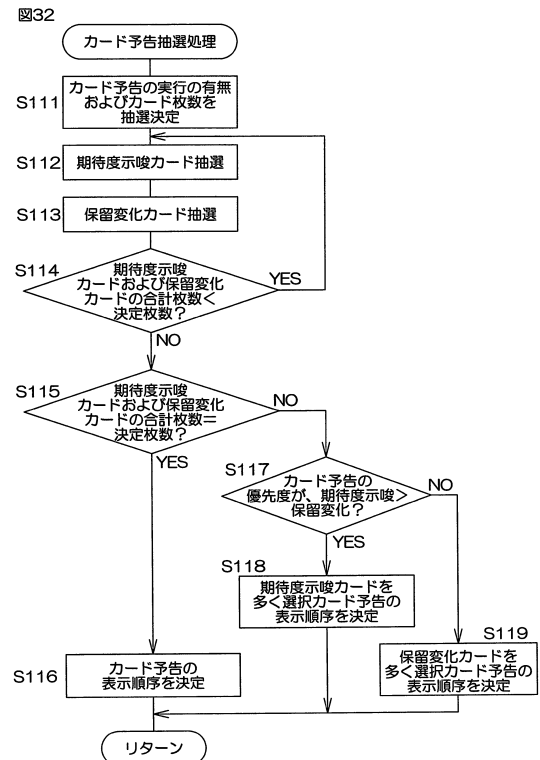
【図 30】



【図 31】

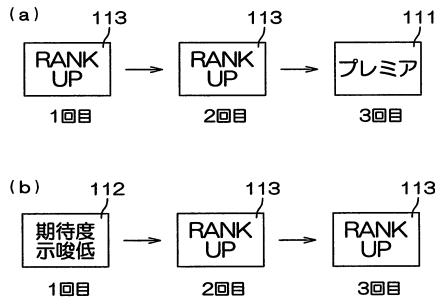


【図 32】



【図 3 3】

図33



【図 3 4 A - 3 4 D】

図34A

保4	保3	保2	保1	先読み 予告なし	白	青 (入賞)	緑 (入賞)	赤 (入賞)	白	青 (入賞)
06H	スベリーチ1	ハズレ	100	100	100	901	800	1300	3301	
07H	スベリーチ2	ハズレ	80	100	100	820	1300	901	3301	
13H	スベリーチ1	16R	100	1300	1800	50	50	1	3301	
14H	スベリーチ2	16R	100	1400	1700	36	40	25	3301	

図34B

最終色	ハナハナなし	赤	デグナ	白	赤	デグナ	白
ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	3301			
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	3301			
13H	スベリーチ1	1回	16R	30	1600	20	5
14H	スベリーチ2	2回	16R	30	1500	20	5

図34C

図34C

代々		変動がタラの種別	繰上回数	図柄	合計	
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ			3301
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ			3301
13H	スベリーチ1	1回	16R	20	1	3301
14H	スベリーチ2	2回	16R	20	1	3301

代々		変動がタラの種別	繰上回数	図柄	合計	
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ			3301
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ			3301
13H	スベリーチ1	1回	16R	20	1	3301
14H	スベリーチ2	2回	16R	20	1	3301

図34D

最終色	デグナ	白	デグナ	白	デグナ	白
ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	3201	50	25
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	3251	15	15
13H	スベリーチ1	1回	16R	0	1000	500
14H	スベリーチ2	2回	16R	0	1000	500

【図 3 5 A - 3 5 D】

図35A

保4	保3	保2	保1	先読み 予告なし	白	青 (入賞)	緑 (入賞)	赤 (入賞)	白	青 (入賞)
06H	スベリーチ1	ハズレ	130	2040	50	51	1000	30	3301	
07H	スベリーチ2	ハズレ	100	2050	50	31	1000	70	3301	
13H	スベリーチ1	16R	101	50	50	2500	300	300	3301	
14H	スベリーチ2	16R	101	50	50	2500	300	300	3301	

図35B

最終色	ハナハナなし	赤	デグナ	白	赤	デグナ	白
ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	2281	500	5	500
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	2281	500	5	500
13H	スベリーチ1	1回	16R	31	15	10	15
14H	スベリーチ2	2回	16R	31	15	10	15

図35C

図35C

T22→		最終色	デグナ	白
		ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ
		黄	ハナハナ	ハナハナ
		ハナハナ	1回ハナ	1回ハナ

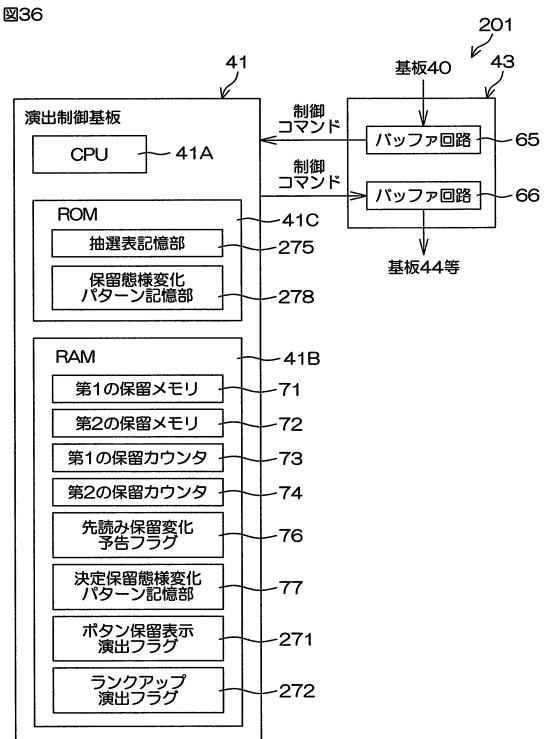
代	変動が 1 回の種別	回数	図柄			合計
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ			3301
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ			3301
13H	スベリーチ1	1回	16R	20	1	3301
14H	スベリーチ2	2回	16R	20	1	3301

図35D

最終色	ハナハナなし	青	緑	赤	デグナ	白
ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ	ハナハナ
06H	スベリーチ1	1回	ハズレ	51	3200	20
07H	スベリーチ2	2回	ハズレ	51	3200	20
13H	スベリーチ1	1回	16R	50	25	2500
14H	スベリーチ2	2回	16R	50	25	2500

【図 3 6】

図36



【図 37】

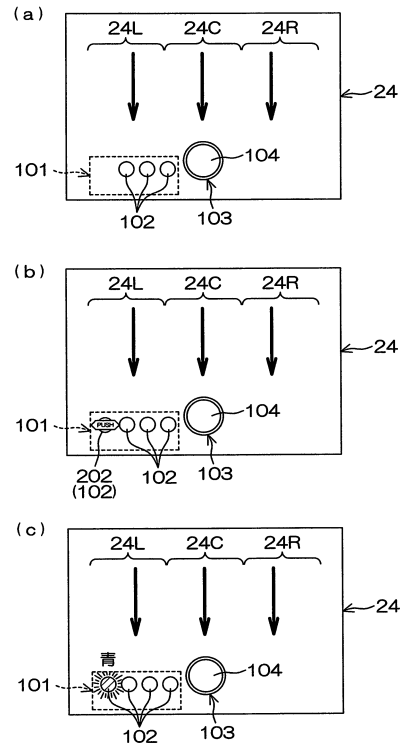
図37

保留4の隠れが白(デフォルト)				保留4の隠れが青				保留4の隠れが緑				保留4の隠れが赤			
番号	保1	保2	保3	番号	保1	保2	保3	番号	保1	保2	保3	番号	保1	保2	保3
No.1	白	白	白	No.12	青	青	青	No.19	緑	緑	緑	No.23	赤	赤	赤
No.2	白	白	白	No.13	青	青	青	No.20	緑	緑	緑				
No.3	白	白	白	No.14	青	青	青	No.21	緑	緑	緑				
No.4	白	白	白	No.15	青	青	青	No.22	緑	緑	緑				
No.5	白	青	青	No.16	青	青	緑				赤				
No.6	白	青	青	No.17	青	緑	緑				赤				
No.7	白	青	緑	No.18	青	緑	緑				赤				
No.8	白	緑	緑								赤				
No.9	白	緑	赤								赤				
No.10	白	緑	赤								赤				
No.11	白	緑	青								赤				

PD

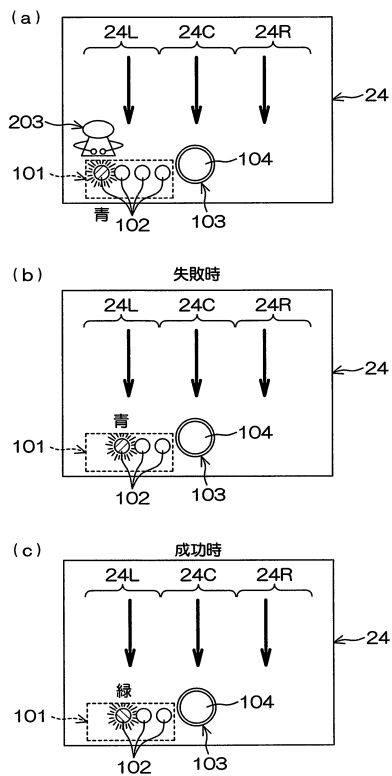
【図 38】

図38



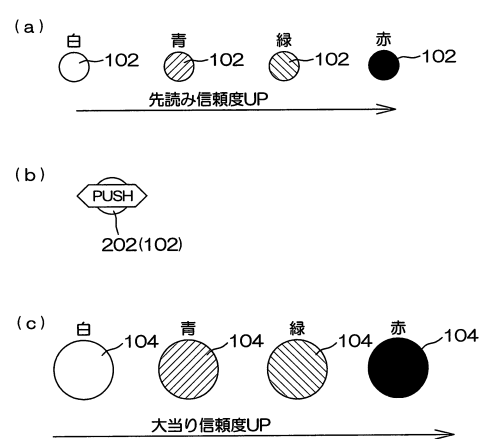
【図 39】

図39



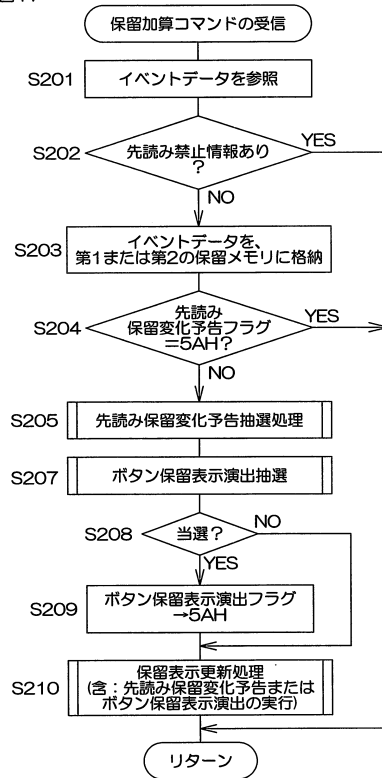
【図 40】

図40



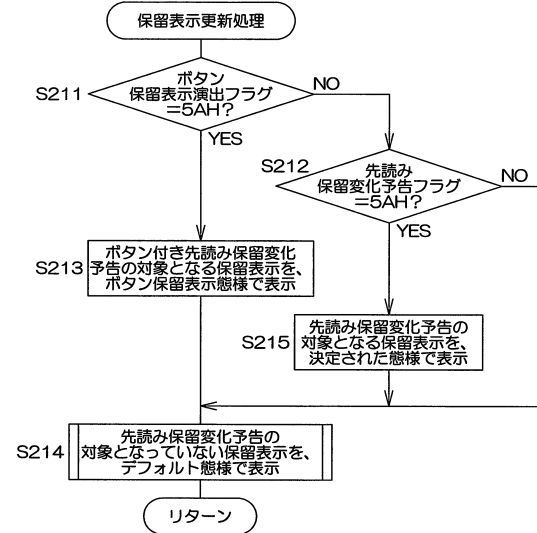
【図 4 1】

図41



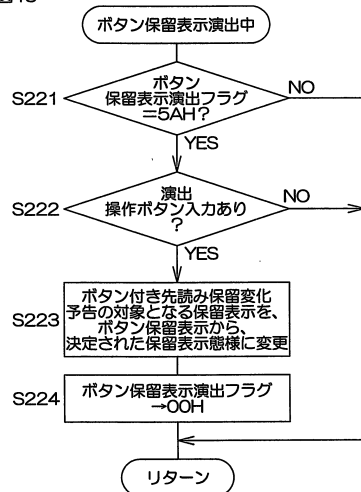
【図 4 2】

図42



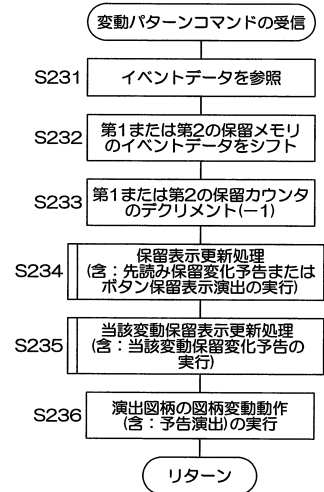
【図 4 3】

図43

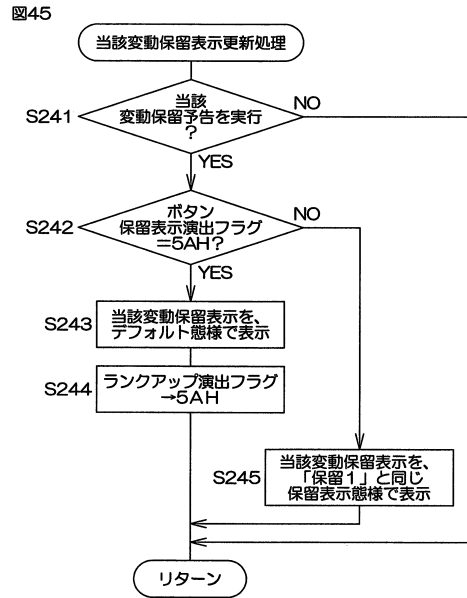


【図 4 4】

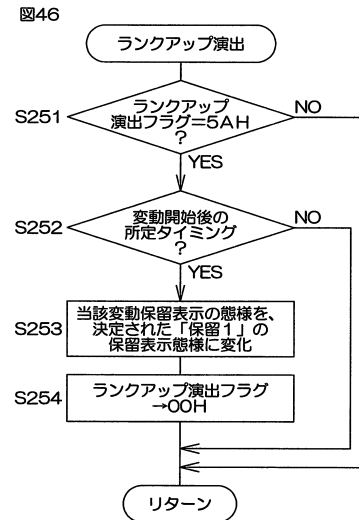
図44



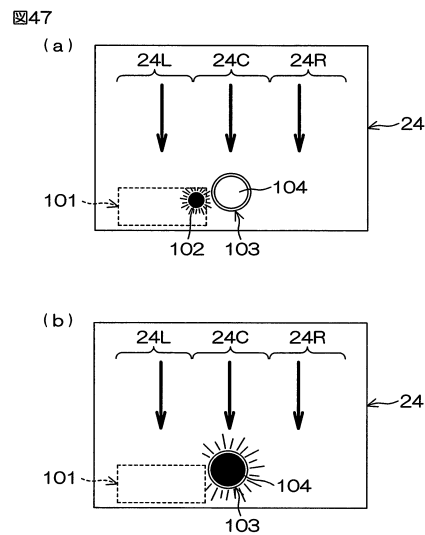
【図45】



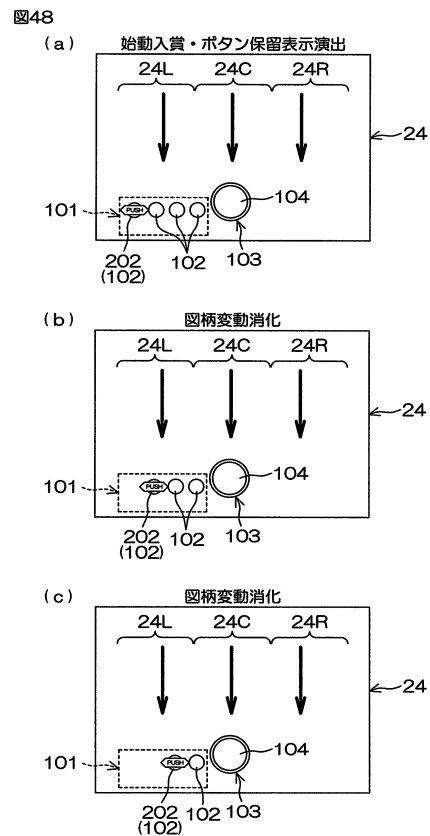
【図46】



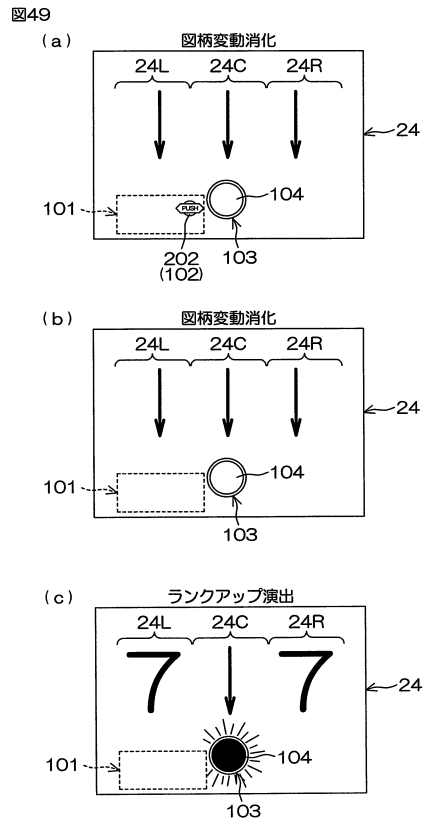
【図47】



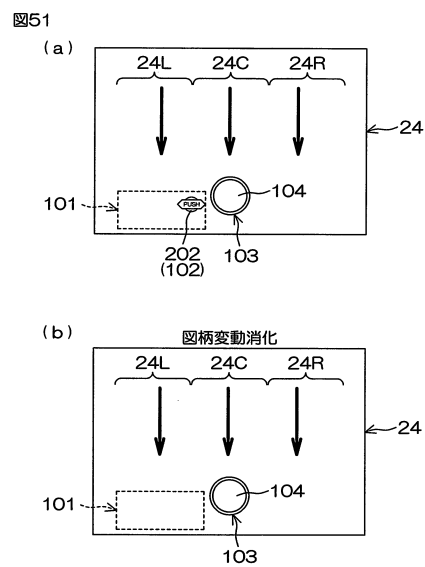
【図48】



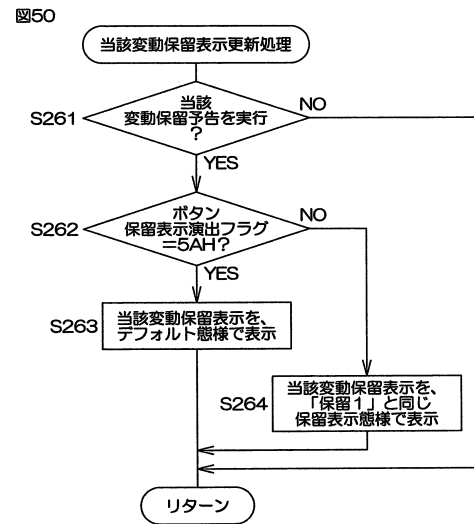
【図49】



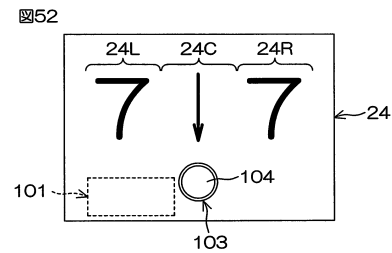
【図51】



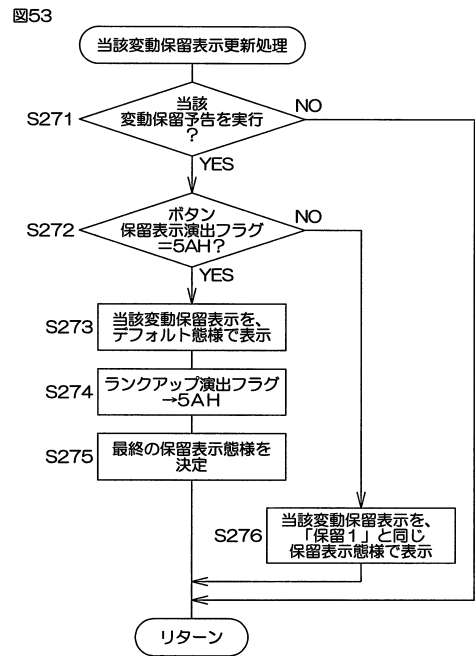
【図50】



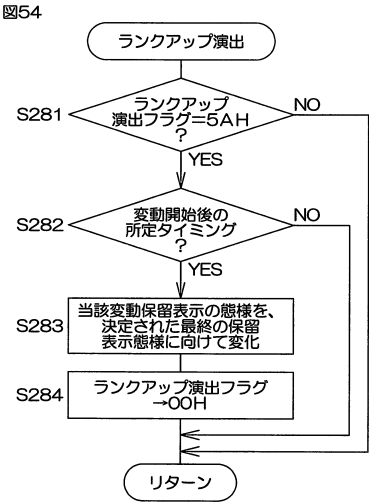
【図52】



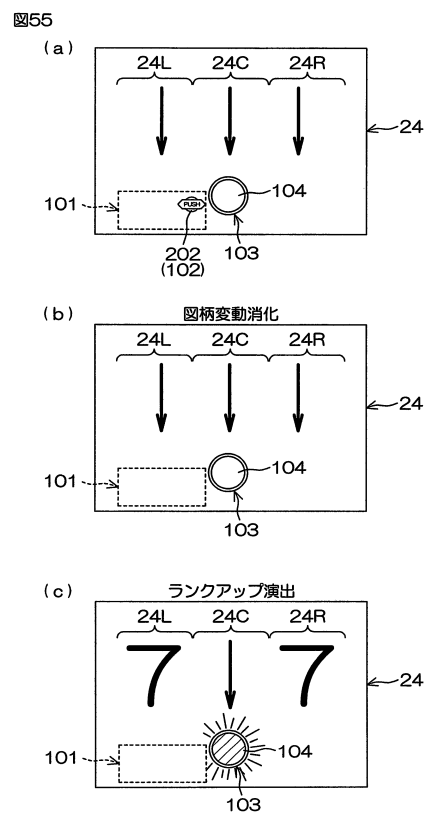
【図 5 3】



【図 5 4】



【図 5 5】

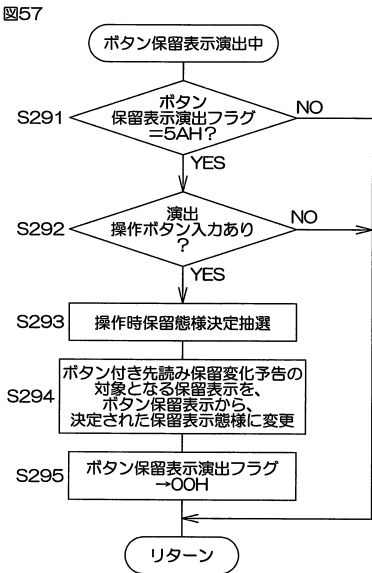


【図 5 6】

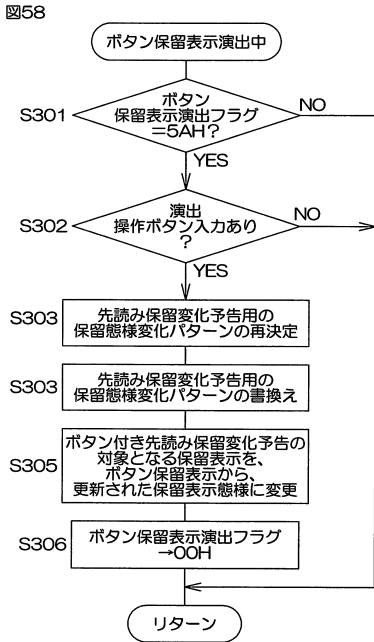
図56

操作タイミング	保4	保3	保2	保1
白	50%	45%	40%	35%
青	35%	30%	25%	20%
緑	10%	15%	20%	25%
赤	5%	10%	15%	20%
合計	100%	100%	100%	100%

【図 5 7】



【図 5 8】



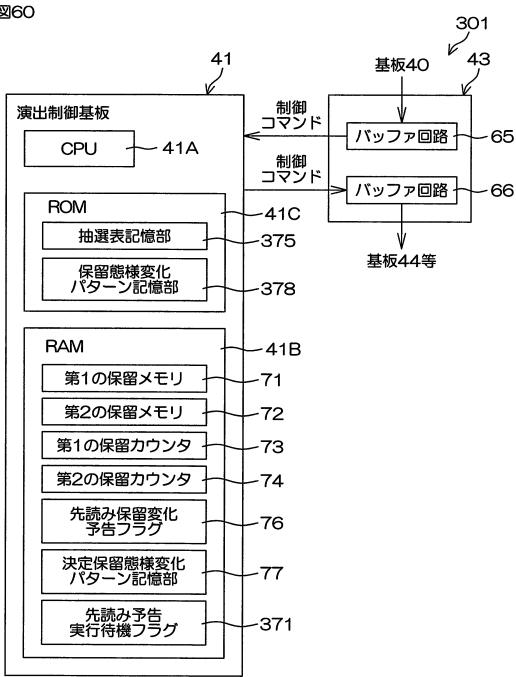
【図 5 9】

図59

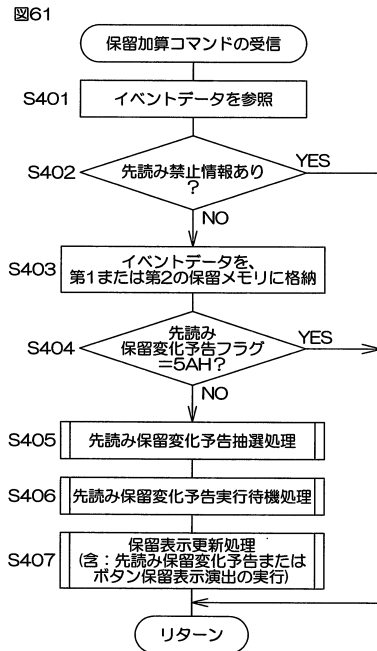
操作タイミング	保1
⇨ 白	35%
⇨ 青	20%
⇨ 緑	25%
⇨ 赤	20%
合計	100%

T41

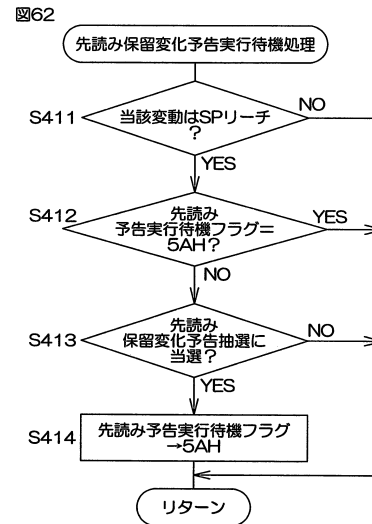
【図 6 0】



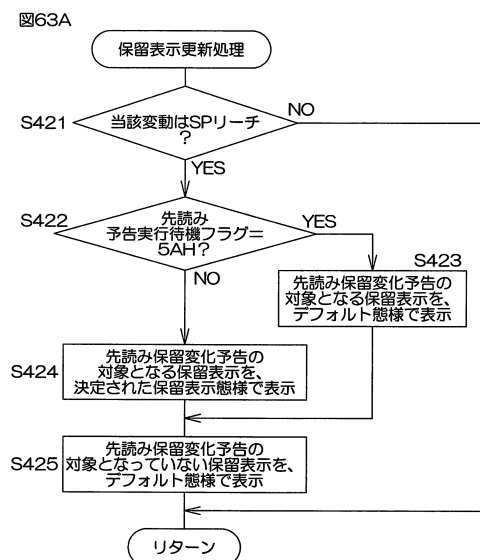
【図 6 1】



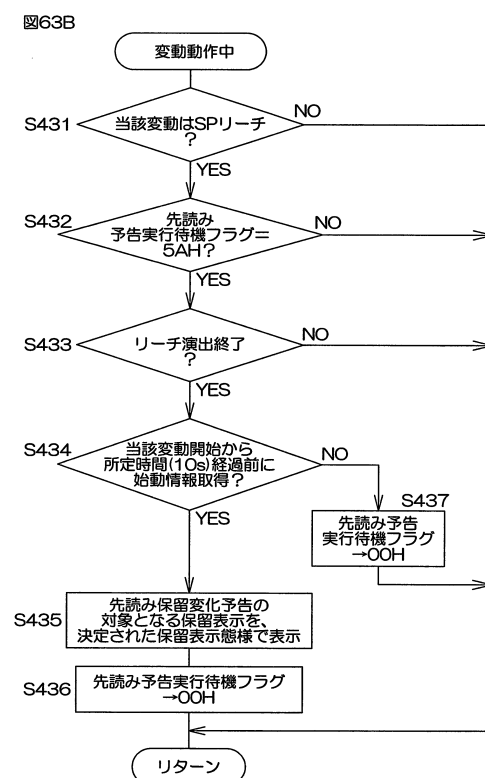
【図 6 2】



【図 6 3 A】

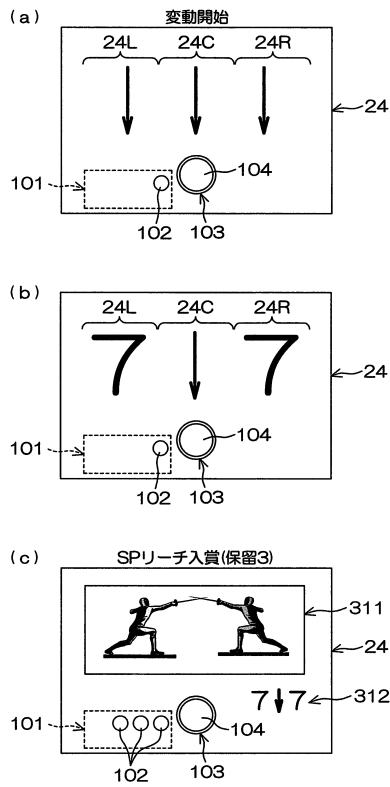


【図 6 3 B】



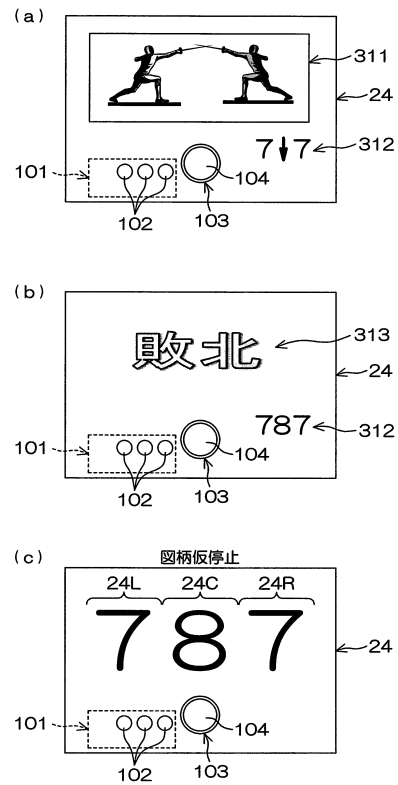
【図 6 4】

図64



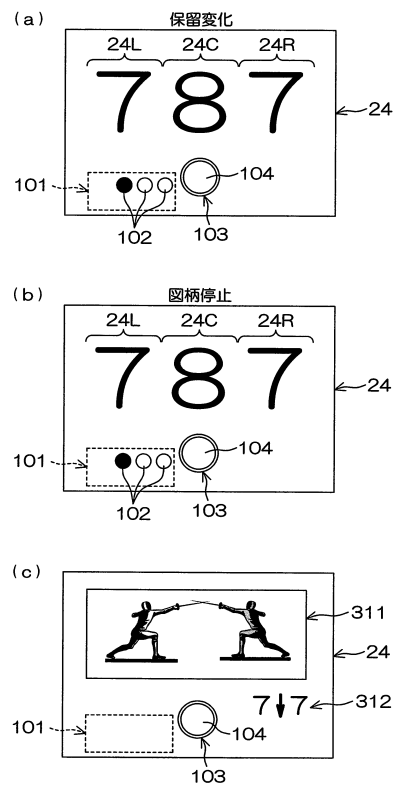
【図 6 5】

図65



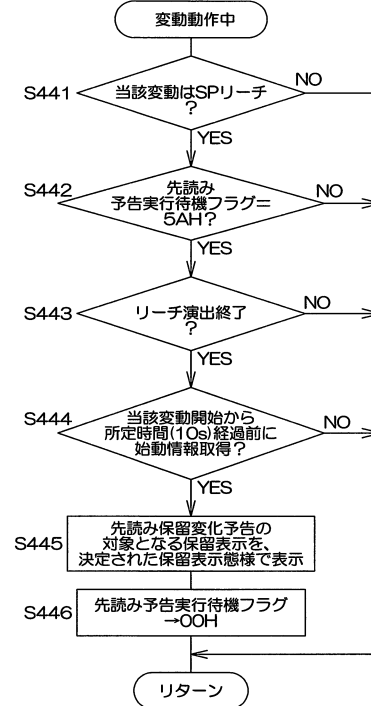
【図 6 6】

図66



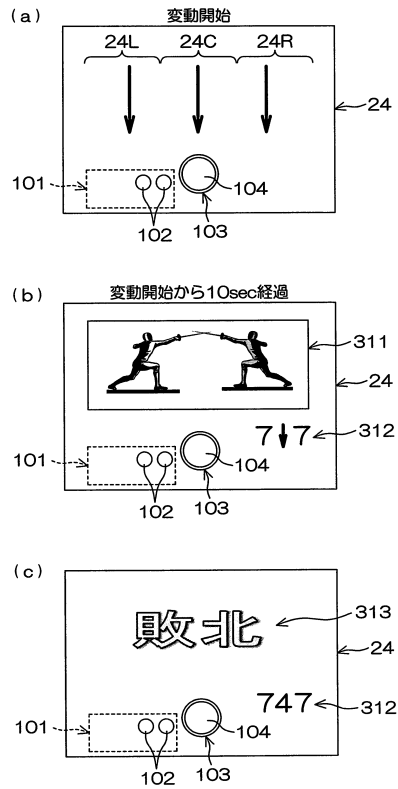
【図 6 7】

図67



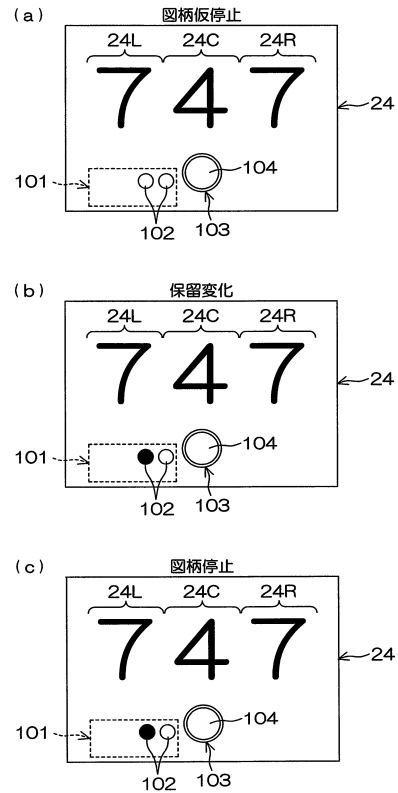
【図68】

図68



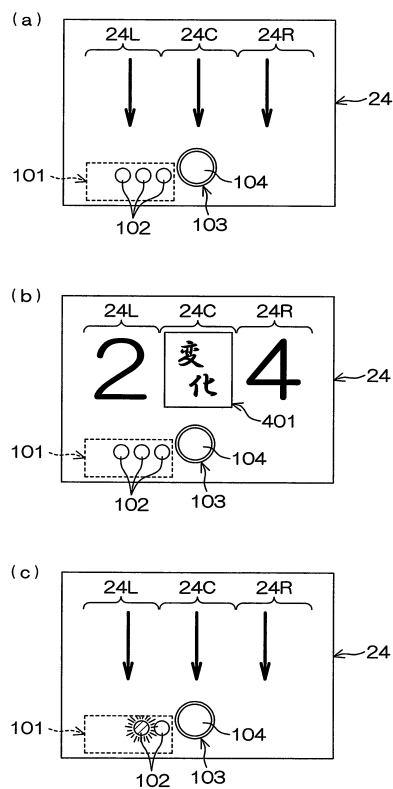
【図69】

図69



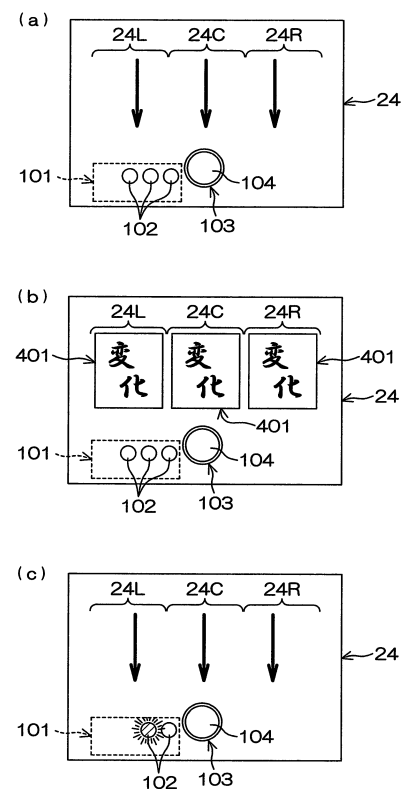
【図70】

図70



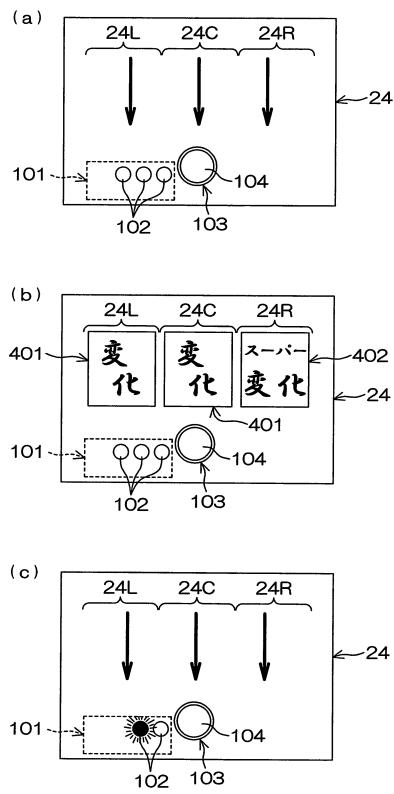
【図71】

図71



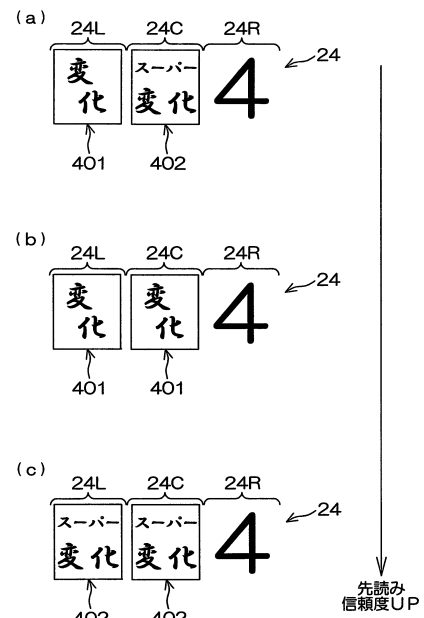
【図 7 2】

図72



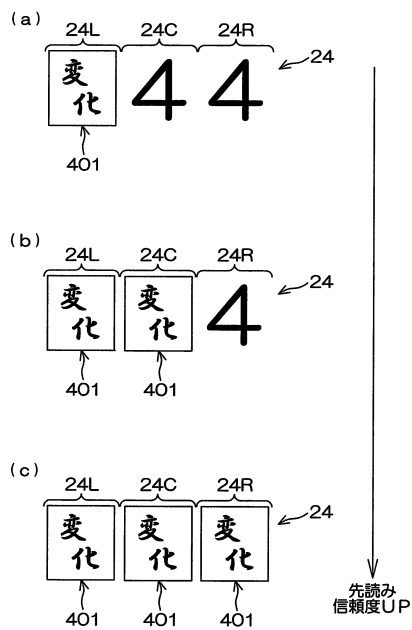
【図 7 3】

図73



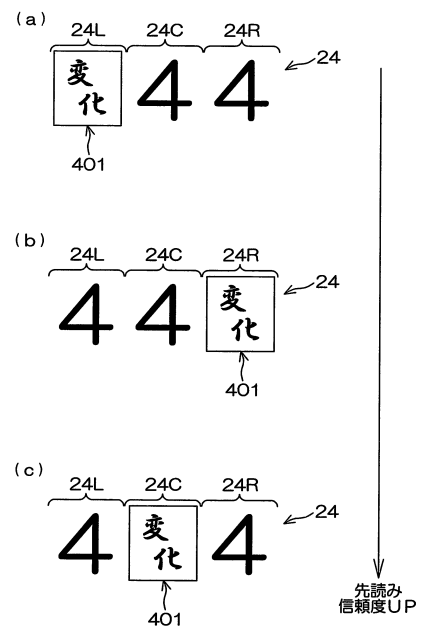
【図 7 4】

図74



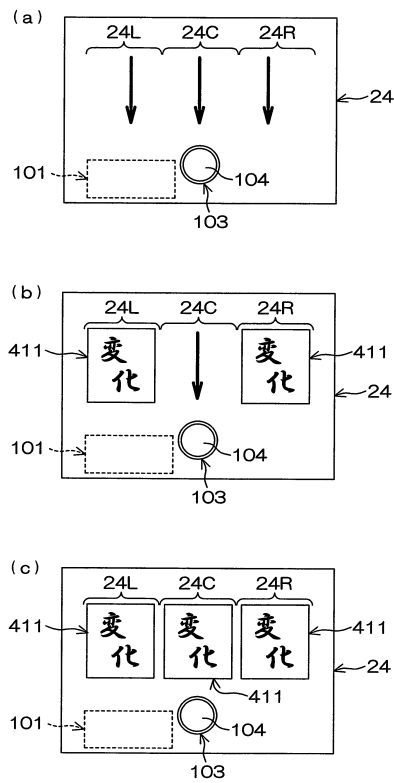
【図 7 5】

図75



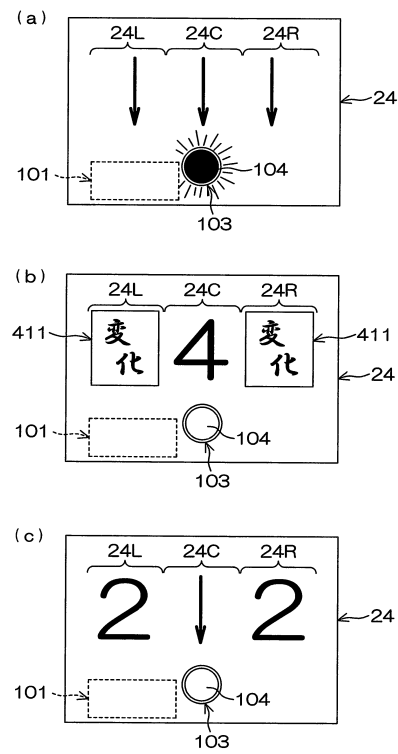
【図76】

図76



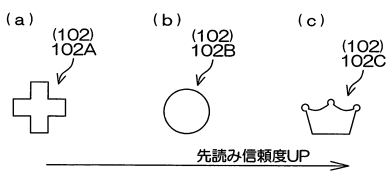
【図77】

図77



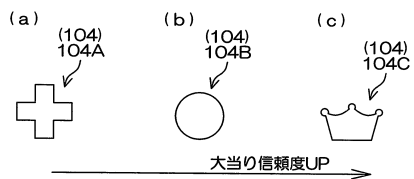
【図78】

図78



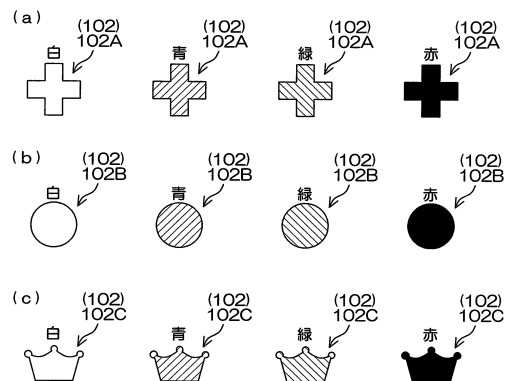
【図81】

図81



【図79】

図79



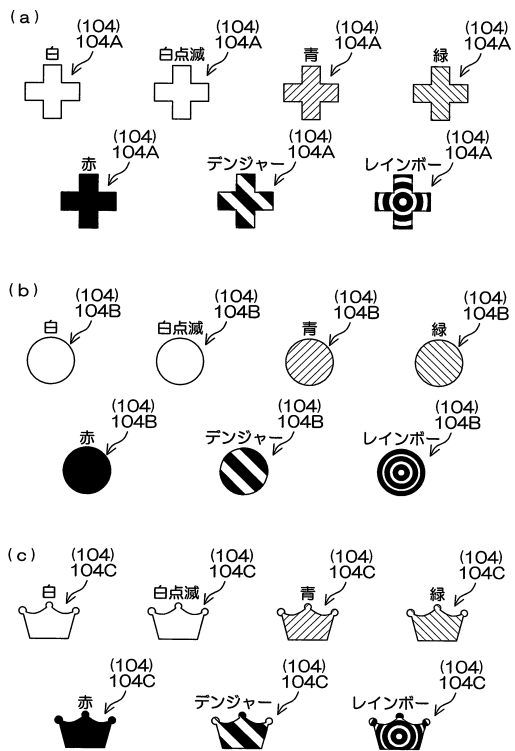
【図80】

図80



【図 8 2】

図82



フロントページの続き

(56)参考文献 特開 2 0 1 3 - 2 5 2 4 5 6 (J P , A)
特開 2 0 1 4 - 0 8 7 4 9 2 (J P , A)
特開 2 0 1 1 - 0 0 0 1 7 1 (J P , A)
特開 2 0 1 5 - 1 0 7 1 3 9 (J P , A)
特開 2 0 1 5 - 1 8 1 5 1 2 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)
A 6 3 F 7 / 0 2